

NEC

P C 9 8 -

NX

PC98-**NX** SERIES

VersaPro NX
LaVie NX

VA23D/TX
LT23/34A

活用ガイド

本機の機能

周辺機器を使う

システムの設定

アプリケーションの削除と追加

他のOSを利用する

マニュアルの 主な内容

このパソコンには、次のマニュアルが用意されています。



●『活用ガイド』

このパソコンの取り扱い方法、添付されているアプリケーションについて説明しています。

- ・キーボード、ハードディスク、CD-ROMドライブなどの取り扱い
- ・周辺機器の接続と利用方法
- ・システム設定について
- ・添付アプリケーションの削除と追加
- ・Windows NT 4.0を利用する場合の設定



●『困ったときのQ&A』

さまざまなトラブルへの対応方法をQ&A形式で説明したマニュアルです。また、再セットアップの方法も説明しています。

- ・トラブル解決Q&A
- ・再セットアップするには



はじめに

このマニュアルは、パソコンの取り扱い方法や、添付されているアプリケーションについて説明するものです。

周辺機器やオプションを接続してパソコンを拡張する場合、パソコンの設定を変更する場合などに、このマニュアルをご利用ください。

1998年 6月 初版
1998年 7月 2 版

対象機種

LaVie NX :LT23/34A
VersaPro NX :VA23D/TX

このマニュアルの表記について

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています。



警告

注意事項を守っていただけない場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。



注意

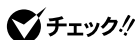
注意事項を守っていただけない場合、人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみの発生が想定されることを示します。



感電注意

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左のマークは感電の可能性が想定されることを示しています。このほかに、毒物注意、破裂注意、高温注意についても、それぞれ記載しています。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



チェック!!

してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性あります。



用語

パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



参照

利用の参考となる補足的な情報をまとめています。

マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

このマニュアルで使用している表記の意味

【 】

【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」

「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップアップメニューから「設定」を選択し、横に現れるサブメニューから「コントロールパネル」を選択する操作を指します。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows、 Windows 95	Microsoft® Windows® 95 Operating System
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0
インターネット エクスプローラ	Microsoft® Internet Explorer 4.01 for Windows® 95 and Windows NT® 4.0 日本語版

このマニュアルで使用しているイラストと画面

- ・本書に記載の画面は、モデルによって異なることがあります。
- ・本書に記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク・ロゴは参加各国の間で統一されています。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■ 漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

■ 瞬時電圧低下について

[バッテリパックを取り付けていない場合]

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

[バッテリパックを取り付けている場合]

本装置にバッテリパック実装時は、社団法人日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しますが、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

■ レーザ安全基準について

この装置には、レーザに関する安全基準（JIS・C-6802、IEC825）クラス1適合のCD-ROMドライブが搭載されています。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じて、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 95および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Active Movie、NetMeeting、Outlook、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

VirusScanは米国Network Associates社および関連会社の商標または登録商標です。

IntelliSync97は米国ブーマテクノロジー社の登録商標です。

PentiumはIntel Corporationの登録商標です。

Cyber9388はTrident社の商標です。

PS/2はIBM社が所有している商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation 1998

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

■輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。

本機の機能	1
各部の名称	2
バッテリーで本機を使う	5
バッテリーの充電	5
バッテリーで本機を使うときの注意	6
バッテリー残量の確認	7
バッテリーパックの交換	9
バッテリーリフレッシュ	11
省電力機能	13
スタンバイモード	13
サスペンド / レジューム機能	14
ハイバネーション機能	16
パワーマネージメント	19
表示ランプ	20
キーボード	22
キーの使い方	22
キーボードを設定する	25
日本語入力の使い方	27
ポインティングデバイス	28
NXパッドの使い方	28
ポインティングデバイスを設定する	30
フロッピーディスクドライブ	34
フロッピーディスクドライブを取り付ける	34
フロッピーディスクのセットのし方と取り出し方	37
内蔵ハードディスク	38
領域の確保とフォーマット	38
ハードディスクのメンテナンス	38
CD-ROMドライブ	40
CD-ROMのセットのし方と取り出し方	41
画面表示機能	44
表示できる解像度と表示色	44
解像度と表示色を変更する	46
セキュリティ機能	48
本機のセキュリティ機能	48

セキュリティ機能の使用例	49
パスワードを設定しているときの電源の入れ方	50
パスワードを設定しているときのレジューム	50
赤外線通信機能	52
赤外線通信	52
赤外線通信機能を使えるようにする	52
機器の配置について	53
サウンド機能	55
周辺機器を使う	59
接続できる周辺機器	60
周辺機器を利用する	62
周辺機器を利用するための知識	62
プリンタを使う	65
プリンタを接続する	65
プリンタを設定する	66
外部ディスプレイを使う	70
CRTディスプレイを接続する	70
プロジェクタを接続する	72
外部ディスプレイの設定	72
PCカードを使う	74
PCカードのセットのし方と取り出し方	75
PCカードの設定	78
メモリ(RAM)の増設	79
増設RAMボードの取り付け方と取り外し方	79
NX ノートベイを使う	84
NX ノートベイで使える機器	84
NX ノートベイから機器を取り外す	85
NX ノートベイに機器を取り付ける	86
ポートバーを使う	87
ポートバーの取り付け方と取り外し方	87
その他の機器を使う	90
シリアルコネクタ	90

PART

3

PART

4

パラレルコネクタ	90
USBコネクタ	91
マウス / テンキーボード用コネクタ	92

システムの設定 93

BIOSセッアップユーティリティ	94
BIOSセッアップユーティリティで設定できること	94
BIOSセッアップユーティリティを使う	94
設定項目一覧	96

添付アプリケーションの削除と追加 105

添付アプリケーションの紹介	106
このPARTの構成について	107
アプリケーションの削除と追加	108
削除について	108
追加について	109
インターネットエクスプローラ	111
最新のコンポーネントを追加する	116
インターネットエクスプローラ関連プログラム	119
Microsoft Chat 2.0	119
Microsoft NetShow プレーヤー	120
RealPlayer 4.0	121
Outlook Express(Mail & News)	123
Microsoft NetMeeting	124
モバイルメール	125
VirusScan for Windows 95	127
IntelliSync97	132
NEC Soft MPEG1.0	139
プレーヤー-NX	142
CyberTrio-NX	144
CyberWarner-NX	148
ログファイルについて	149

PART

5

英語モードフォントを利用する	152
----------------------	-----

他のOSを利用する	155
-----------------	-----

Windows NT 4.0を使う	156
-------------------------	-----

1. Windows NT 4.0のセットアップ	157
2. 内蔵アクセラレータの利用	160
3. 内蔵サウンドの利用	161
4. NXパッドの拡張	162
5. BIOSセットアップユーティリティのセットアップ	163
6. Windows NT 4.0アップデートサービス Service Pack 3の利用...	164

PART

6

付録	165
----------	-----

Windows 95でMS-DOSモードを利用する	166
---------------------------------	-----

MS-DOSモードを利用する	166
CD-ROMドライバ(内蔵CD-ROMドライブ)	167
新しいMS-DOS設定を指定する場合	168

本機のお手入れ	170
---------------	-----

コンピュータウイルス対策	172
--------------------	-----

機能一覧	175
------------	-----

型番の読み方と機能仕様(VersaProシリーズのみ)	175
仕様一覧	176

割り込みレベル・DMAチャネル	180
-----------------------	-----

領域の確保とフォーマット	181
--------------------	-----

領域の確保	181
フォーマット	182

索引	185
----------	-----

本機の機能

本機の各部の名称とさまざまな機能について説明しています。

このPARTの内容

各部の名称

バッテリーで本機を使う

省電力機能

表示ランプ

キーボード

ポインティングデバイス

フロッピーディスクドライブ

内蔵ハードディスク

CD-ROMドライブ

画面表示機能

セキュリティ機能

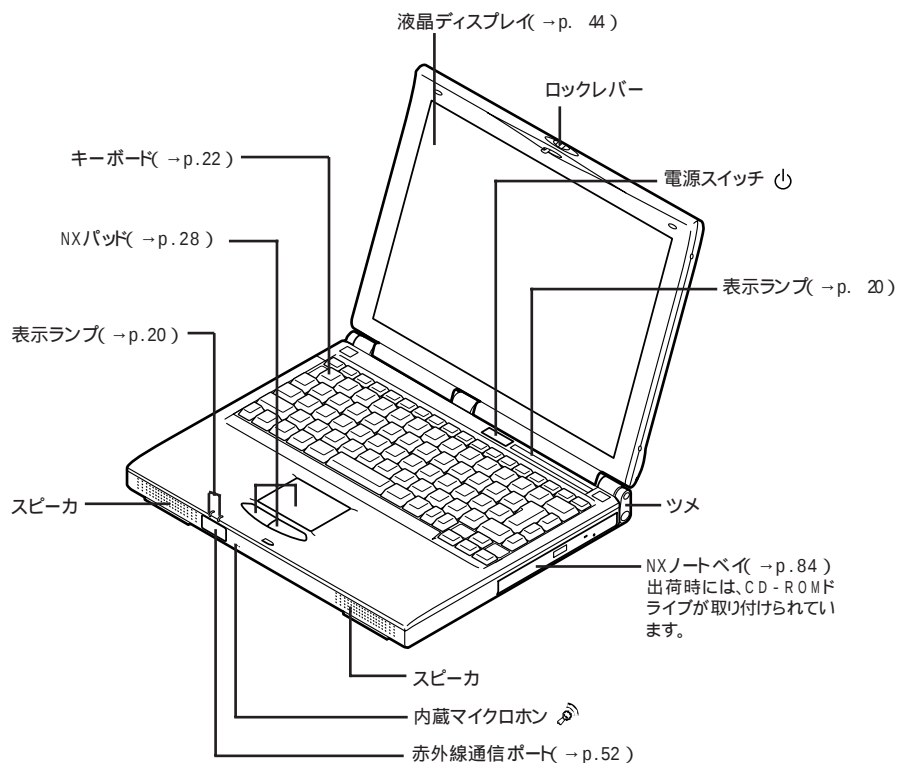
赤外線通信機能

サウンド機能

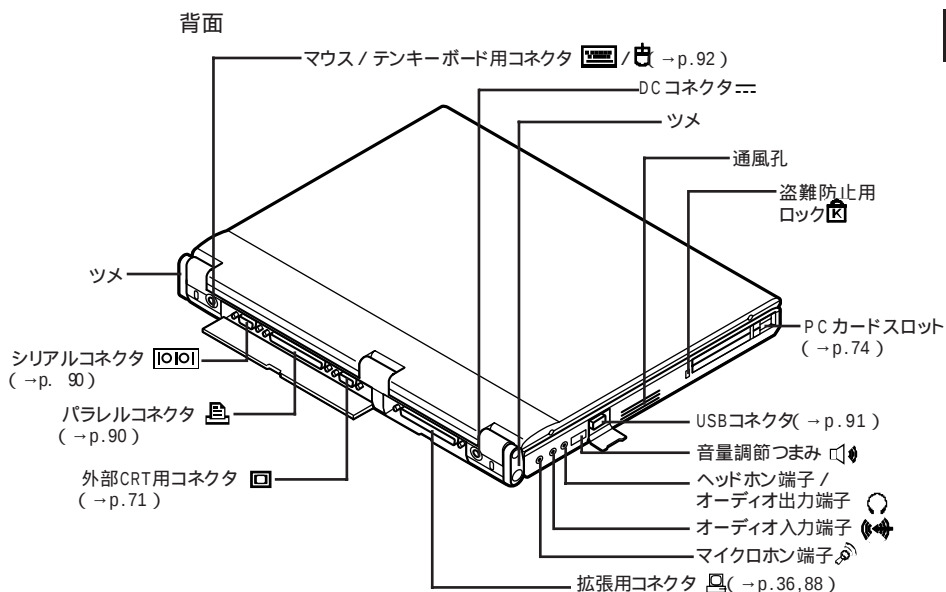
各部の名称

本機の各部の名称と配置について説明しています。それぞれの機能や取り扱い方については、参照ページをご覧ください。

前面



NX ノートベイに添付のNX ノートベイカバーを取り付けると、本機の重量を軽くすることができます。CD-ROMやフロッピーディスクを使わないときや本機を携帯するときに便利です。



盗難防止用ロック

本機の盗難防止用ロックは、Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。

日本国内総販売代理店の連絡先は、次のとおりです(1998年1月現在)

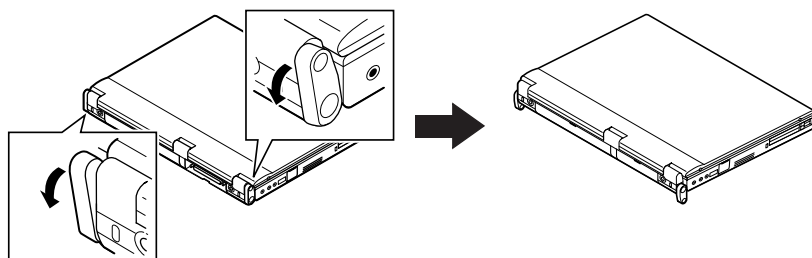
日本ポラロイド株式会社 電子映像営業グループ

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目2番2号 第30森ビル

Tel: 03-3438-8879 Fax: 03-5473-1630

キーボードの高さ調節

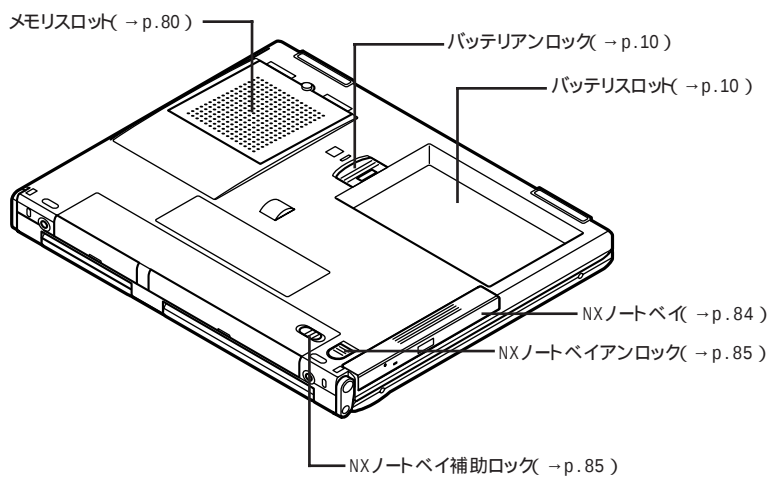
ツメ部を回転させて立てることにより、キーボードの高さを調節することができます。



チェック!!

ツメ部を立てるときは、液晶ディスプレイを閉じて、必ず左右2カ所のツメ部を立ててください。

底面



バッテリーで本機を使う

本機は、ACアダプタを使用せずに、添付のバッテリーパックだけで駆動することができます。

本機のNXノートベイには別売のセカンドバッテリーパック(PC-VP-WP08)を接続して、標準添付のバッテリーパックと併用することができます。

参照 NX ノートベイに別売のバッテリーを接続する → 「NX ノートベイを使う」の「NX ノートベイに機器を取り付ける」(→ p. 86)

バッテリーの充電

本機に添付のバッテリーをはじめて取り付けたときや、別売のバッテリーを購入してきたときは、まずバッテリーを充電する必要があります。

✓チェック!! バッテリーの充電中は、バッテリーパックを本機から取り外さないでください。ショートや接触不良の原因になります。

バッテリーの充電のしかた

本機にバッテリーパックを取り付けてACアダプタをACコンセントに接続すると、自動的にバッテリーが充電されます。

本機の電源を入れて使用していても充電されますが、電源を切った状態の方が充電時間は短くなります。

充電できる電池容量は、周囲の温度によって変わります。高温だと充電が中断することがありますので、18～28℃での充電をおすすめします。

参照 バッテリーの充電時間について → 「機能一覧」(p. 177, 179)

充電状態は表示ランプで確認できます。

充電状態	バッテリー充電ランプ 
標準添付のバッテリー充電中	オレンジ点灯
別売のセカンドバッテリー充電中	緑点灯
充電完了(フル充電)	消灯

バッテリーで本機を使うときの注意

-  **チェック!!** ・バッテリーが十分に充電されているときは、特に必要でないかぎり、バッテリーパックの取り付けや取り外しをしないでください。故障の原因となります。
- ・フロッピーディスクやハードディスクの読み書き中にバッテリー残量がなくなり、電源が切れてしまうと、作成中のデータが失われたり、フロッピーディスクやハードディスクのデータが壊れたりすることがあります。

バッテリーパックを長持ちさせるには

次のような点に気を付けると、バッテリーパックを長持ちさせることができます。

- ・バッテリーの残量をできるだけ少なくしてから充電する
- ・定期的にバッテリーの放電を行う(バッテリーフレッシュ→p.11)
- ・充電はフル充電(バッテリー充電ランプが消灯)になるまで中断しない
- ・本機を1ヵ月以上使わないときは、バッテリーパックを取り外して、涼しいところに保管する

バッテリーの上手な使い方

- ・バッテリーだけで本機を長時間使用する場合は、本機の省電力機能(→p.13)を使用してください。
- ・バッテリーは、自然放電しています。本機を長期間使用しない場合でも、2～3ヵ月に一度は充電することをおすすめします。

バッテリー駆動中にバッテリー残量が少なくなったときは

バッテリーの残量が少なくなると、警告音が3回鳴り、電源ランプが黄色に点灯します。この場合は、次の操作を行ってください。

- ・ACコンセントから電源を供給する
いったん本機の電源を切り、ACアダプタを接続してACコンセントから電源を供給してください。ACコンセントから電源を供給すると、バッテリー充電ランプが点灯し、バッテリーの充電が始まります。
- ・ACコンセントが使えない場合
使用中のソフトウェアを終了して、本機の電源を切ってください。

上記の操作をしないでそのままにしておくと、再度バッテリー残量が少ないというメッセージが表示されます。しばらくすると、自動的にハイバネーション機能(→p.16)が作動し、作業内容がハードディスクに保存され、電源が切れます。

バッテリー残量の確認

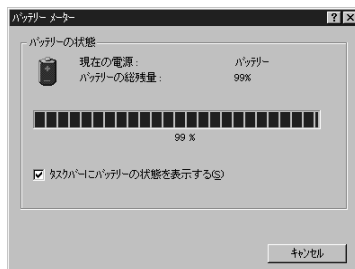
バッテリー残量は、次の4つの方法で確認することができます。

- ・ Windowsのタスクバーにある  の上にマウスポインタを合わせる



(この画面はモデルによって異なることがあります。
また、アイコンはバッテリーの残量により異なります。)

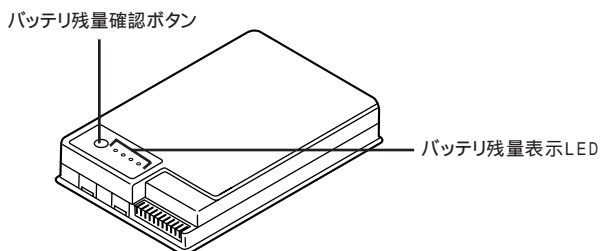
- ・ タスクバーの  をダブルクリックして、表示された「バッテリーメーター」ウィンドウを見る



- ・ 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「パワーマネージメント」アイコンをダブルクリックして、表示された「電源のプロパティ」ウィンドウを見る



- ・ バッテリーパックを取り外し、バッテリーパックのバッテリー残量確認ボタンを押す



LED表示	バッテリーの残量(%)
● ● ● ●	76 ~ 100
● ● ● ○	51 ~ 75
● ● ○ ○	26 ~ 50
● ○ ○ ○	11 ~ 25
* ○ ○ ○	1 ~ 10
○ ○ ○ ○	0

● : LED点灯

○ : LED消灯

* : LED点滅

: 測定不能の場合にも、このような表示になることがあります。

参照 ▶ バッテリーパックの取り外し方 → 「バッテリーパックの交換」 (→ p.9)

ACコンセントから電源を供給しているときは、はに変わります。

Windowsの「スタート」ボタン → 「設定」 → 「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「パワーマネージメント」アイコンをダブルクリックして「Windowsでコンピュータの電源を管理する」をにすると、バッテリー残量は表示されません。

バッテリーパックの交換

交換の目安

バッテリーフレッシュを行った後に、バッテリーをフル充電 充電してバッテリー充電ランプが消灯した状態)にしても使用できる時間が短くなったら、新しいバッテリーパックを購入して交換してください。

本機に取り付けられる交換用バッテリーパックは次のものです。

- ・ PC-VP-TP03(リチウムイオンバッテリーパック)

バッテリーパックの交換のしかた

⚠ 警告



感電注意

- ・ 雷が鳴りだしたら、本機や電源コードに触れないでください。また、機器の接続や取り外しを行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。



破裂注意



毒物注意

- ・ 使用を終えたバッテリーパックを分解したり、火気に投じることは危険です。絶対にしないでください。破裂したり、液漏れしたりすることがあります。

⚠ 注意



感電注意

- ・ 濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



- チェック!!** ・ バッテリスロットの端子部分には絶対に触れないでください。接触不良の原因となります。
- ・ サスペンド状態のときにバッテリーパックを交換すると、保存されていないデータが失われます。電源ランプが点滅しているときには、一度レジュームしてデータを保存してからWindowsを終了し、本機の電源を切ってください。

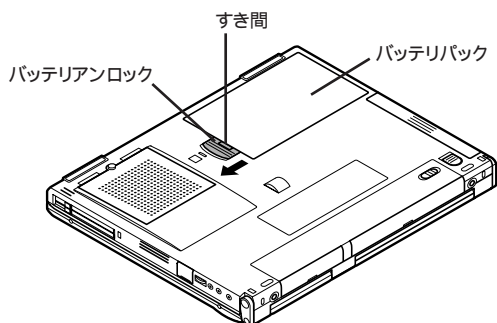
1 本機の電源を切る

2 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタを本機から取り外す

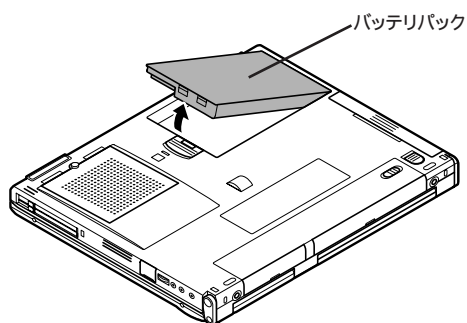
ACアダプタを使用していない場合は、この操作は必要ありません。

3 液晶ディスプレイを閉じて、本機を裏返す

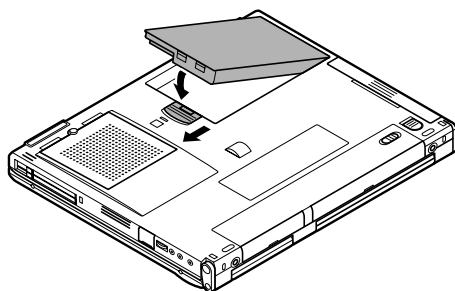
4 図のようにバッテリーアンロックをスライドさせたまま、バッテリーパックとバッテリースロットのすき間に指を入れる



5 図のようにして古いバッテリーパックを持ち上げてから取り外す



6 図のようにして新しいバッテリーパックを入れる



7 カチッと音がするまでバッテリーを押し込む

チェック!! 不要になったバッテリーパックは、地方自治体の条例に従って廃棄してください。

バッテリーリフレッシュ

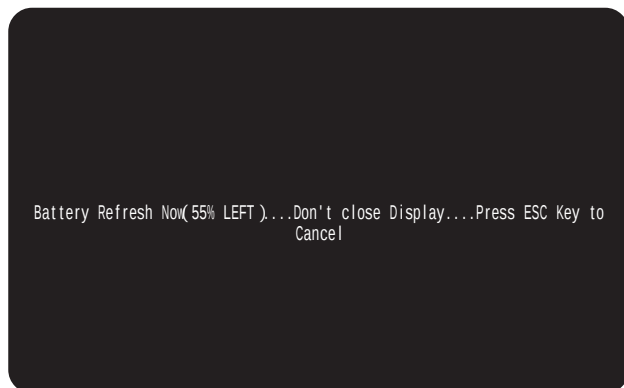
バッテリーは消耗品のため、使用しているうちに充電可能な最大容量が徐々に減少します。このために画面に表示されているバッテリー残量と実際の残量にずれが生じることがあります。このようなときは「バッテリーリフレッシュ」を実行すると、残量表示のずれを解消できます。

バッテリーリフレッシュの実行

- 1 電源コードのプラグをACコンセントから抜き、ACアダプタを本機から取り外す
- 2 本機を使用中の場合は、「スタート」ボタン→「Windowsの終了」で「電源を切れる状態にする」を選んで「はい」ボタンをクリックし、本機の電源を一度切る
- 3 本機にバッテリーパックを取り付ける
すでにバッテリーパックを取り付けている場合は、一度バッテリーパックを取り外してから、もう一度取り付けてください。
- 4 本機の電源を入れ、「NEC」のロゴが表示されたらキーボードの【F2】を押す
「NEC」のロゴの画面下部にキーの説明が表示されます。

5 【F12】を押す

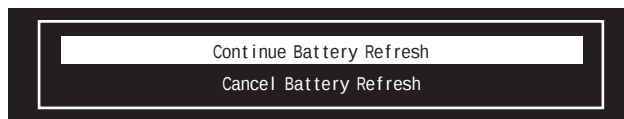
次のような画面が表示され、バッテリーリフレッシュが始まります。
バッテリーリフレッシュが完了し、バッテリー内の電力がなくなると自動的に
本機の電源が切れますので、本機の電源が切れるまでお待ちください。



6 バッテリーリフレッシュが終了し本機の電源が切れたら、ACアダプタを接続する

バッテリーの充電が始まりますので、バッテリー充電ランプ  が消えて
完全に充電されるまでお待ちください。

 **チェック!!** バッテリーリフレッシュ中は、液晶ディスプレイを開いたままにしてください。液晶ディスプレイを閉じると「ビビビ」と警告音が鳴ります。
バッテリーリフレッシュを中断するには、【Esc】を押します。次のメッセージが表示
されますので、【↑】と【↓】で“Cancel Battery Refresh”を選択し、【Enter】を
押すと本機の電源が切れます。



バッテリーリフレッシュ中に電源を切ろうとしたり、ACアダプタを接続したときも、
同様にメッセージが表示されます。“Continue Battery Refresh”を選択し、バッ
テリーリフレッシュを続けてください。“Cancel Battery Refresh”を選択するとバッ
テリーリフレッシュが中断し、本機の電源が切れます。

本機の電源が入っている状態ではバッテリーが完全に充電されない場合が
あります。充電は電源を切った状態で行うことをお勧めします。

省電力機能

本機は、消費電力をおさえて経済的に使用することのできる、次のような省電力機能を搭載しています。

- ・ スタンバイモード
液晶ディスプレイのバックライトをオフにするなど、電力消費の多い部分を節電する機能です。
キーボードやポインティングデバイスを使用するとすぐにもとの状態に戻るので、作業中に少しだけ席を外す場合などに手軽に利用できます。
- ・ サスペンド / レジューム 機能
作業中のデータを一時的にメモリ (RAM) に保存し、消費電力をおさえる機能です。
データをメモリ (RAM) に保存することを「サスペンド」、保存したデータを呼び出すことを「レジューム」といいます。
- ・ ハイバネーション機能
作業中のデータをハードディスクに保存し、電源を切る機能です。
普通に電源を切るのは異なり、次に電源を入れるとすぐに保存した内容を読み出すことができます。
- ・ パワーマネージメント
電力消費状態を自動的に設定する機能です。バッテリー駆動時などに、電力の無駄な消費をおさえるために使います。「フルパワー」「動作性能優先」「動作時間優先」「ユーザー設定」の4種類のモードがあります。

スタンバイモード

スタンバイモードにする

キーボードの【Fn】を押しながら【F4】を押す。

もとの状態に戻す

次のいずれかの方法でもとの状態に戻すことができます。

- ・ キーボードの【Fn】を押しながら【F4】を押す
- ・ キーボードやポインティングデバイスを使う

BIOSセットアップユーティリティで設定しておく、スタンバイモードの開始時間を設定することができます(→p.101)。

サスペンド/レジューム機能

- ✓ **チェック!!** ・サスペンド/レジューム機能を使うときには「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」→「パワーマネージメント」で「電源のプロパティ」ウィンドウの「パワーマネージメント」タブの「Windowsでコンピュータの電源を管理する」を☒ (オン) しておいてください。

- ・サスペンド中にバッテリー残量がなくなるとデータが消えてしまいます。バッテリーのみで使用している場合には、サスペンドする前にバッテリーの残量を確認しておいてください。

サスペンドする

Windowsのスタートメニューから「サスペンド」をクリックするとサスペンドすることができます。サスペンド状態になると、電源ランプ ① が緑色に点滅します。

- ✓ **チェック!!** ・Windowsのスタートメニューに「サスペンド」コマンドが表示されていない場合は、「コントロールパネル」→「パワーマネージメント」→「詳細」で、「スタートメニューのサスペンドコマンドの表示」を☐ にしてください。

- ・次のようなときにはサスペンドしないでください。正しくレジュームできないことがあります。

プリンタへ出力中

赤外線通信をしているとき(赤外線通信アプリケーションを実行中)

電話回線を使って通信中

LANに接続して通信中

音声または動画を再生中

ハードディスク、CD-ROMドライブ、フロッピーディスクドライブにアクセス中

「システムのプロパティ」ウィンドウを表示中

Windows 95の起動/終了処理中

サスペンド機能に対応していないアプリケーションを使用中

サスペンド機能に対応していないPCカードを使用中

- ・サスペンド機能を実行してから本機がサスペンド状態に入るまでの間に、各種ディスクやPCカードの入れ替えなどを行わないでください。正しくサスペンドできなくなることがあります。

- ・サスペンド状態のときにPCカードの入れ替えや、周辺機器の取り付け / 取り外しなどの機器構成の変更をすると、正常にレジュームできなくなることがあります。

BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「スリープ」のモードを「サスペンド」に設定しておく、次のような方法でサスペンドすることもできます。

- ・電源スイッチを押す(電源スイッチの設定 Ⅹ → p.102)
- ・サスペンドする時間を設定する(自動スリープ制御 Ⅹ → p.101)
- ・液晶ディスプレイを閉じるのと同時にサスペンドする(LCD連動スリープ) (→ p.102)



チェック!!

- ・BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「パワーマネージメント」で「スタンバイモード制御」が「使用する」に設定されているときは、自動サスペンドに入るまでの時間にスタンバイモード制御での設定時間が加算されます。
- ・電源スイッチを4秒以上押し続けると、本機の電源が切れます。サスペンドするときは、電源スイッチを4秒以上押し続けしないでください。

レジュームする

電源スイッチを押す



チェック!!

- ・サスペンド状態にしてからすぐにレジュームするときは、本機に負担がかからないよう、電源ランプが点滅してから5秒以上たってからレジュームしてください。
- ・電源スイッチを4秒以上押し続けると、本機の電源が切れます。レジュームするときは、電源スイッチを4秒以上押し続けしないでください。
- ・サスペンド状態のときにPCカードの入れ替えや、周辺機器の取り付け / 取り外しなどの機器構成の変更をすると、正常にレジュームできなくなることがあります。
- ・CD-ROMドライブにフォトCDを入れたままサスペンドした場合、レジュームに時間がかかることがあります。

BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「スリープ」のモードを「サスペンド」に設定しておく、次のような方法でレジュームすることもできます。

- ・レジュームする時間を設定する(→ p.103)

ハイバネーション機能

- ✓ **チェック!!** ハイバネーション機能を使うときには、「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」→「パワーマネジメント」で「電源のプロパティ」ウィンドウの「パワーマネジメント」タブの「Windowsでコンピュータの電源を管理する」を ☒ (オン) にしておいてください。

ハイバネーションする

キーボードの【Fn】を押しながら電源スイッチを押す

- ✓ **チェック!!**
- ・電源スイッチを4秒以上押し続けると、本機の電源が切れます。ハイバネーションするときは、電源スイッチを4秒以上押し続けしないでください。
 - ・次のようなときにはハイバネーションしないでください。正しくデータを復帰できないことがあります。
 - プリンタへ出力中
 - 赤外線通信をしているとき(赤外線通信アプリケーションを実行中)
 - 電話回線を使って通信中
 - LANに接続して通信中
 - 音声または動画を再生中
 - ハードディスク、CD-ROMドライブ、フロッピーディスクドライブにアクセス中
 - 「システムのプロパティ」ウィンドウを表示中
 - Windows 95の起動/終了処理中
 - ハイバネーション機能に対応していない通信用アプリケーションを実行中
 - ハイバネーション機能に対応していないアプリケーションを使用中
 - ハイバネーション機能に対応していないIPCカードを使用中
 - ・ハイバネーション機能を実行してから本機がハイバネーション状態に入るまでの間に、各種ディスクやPCカードの入れ替えなどを行わないでください。正しくハイバネーションできなくなることがあります。
 - ・ハイバネーション状態のときにPCカードの入れ替えや、周辺機器の取り付け/取り外しなどの機器構成の変更をすると、正常にデータを復帰できなくなることがあります。

BIOSセットアップユーティリティの「省電力」の「スリープ」のモードを「ハイバネーション」に設定しておく、次のような方法でハイバネーションすることもできます。

- ・電源スイッチを押す(電源スイッチの設定 Ⅹ → p.102)
- ・Windowsのスタートメニューから「サスペンドする」をクリックする
- ・ハイバネーションする時間を設定する(自動スリープ制御 Ⅹ → p.101)
- ・液晶ディスプレイを閉じるのと同時にハイバネーションする(LCD連動スリープ Ⅹ → p.102)

データを元に戻す

電源スイッチを押す



チェック!!

- ・ハイバネーション状態にしてからすぐにデータを復元するときは、本機に負担がかからないよう、ハイバネーションになってから5秒以上たってから操作してください。
- ・電源スイッチを4秒以上押し続けると、本機の電源が切れます。ハイバネーション状態からデータを元に戻すときは、電源スイッチを4秒以上押し続けしないでください。
- ・ハイバネーション状態のときにPCカードの入れ替えや、周辺機器の取り付け / 取り外しなどの機器構成の変更をすると、データを正常に復元できなくなることがあります。
- ・CD-ROMドライブにフォトCDを入れたままハイバネーションした場合、データの復元に時間がかかることがあります。

ハイバネーション機能を使用しないに設定する

「ハイバネーション設定ユーティリティ」を使用して設定を解除します。このユーティリティでは、ハードディスク内に作成されているハイバネーションのためのファイルを削除します。



チェック!!

「ハイバネーション設定ユーティリティ」は、MS-DOSモードで起動します。Windows 95の「MS-DOSプロンプト」ウィンドウでは実行することはできません。必ず次の手順で操作してください。

- 1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」で「MS-DOSモードで再起動する」を選び、「OK」ボタンをクリックする
本機がMS-DOSモードで再起動します。

2 MS-DOSモードで再起動したら、HIBEROFFと入力し【Enter】を押す

3 次のようなメッセージが表示されたら、本機の電源を切って、5秒以上待ってから再度電源を入れる

ハイバネーション用ファイルを削除しました。
電源を切って5秒以上たってから再び電源を入れてください。

すでにハイバネーション用ファイルが削除されている状態で「ハイバネーション設定ユーティリティ」を実行すると、「ハイバネーション用ファイルは存在しません。」と表示されます。

ハイバネーション機能を使用するに設定する

ハイバネーション用の一時待避ファイルを削除した場合は、次の手順1～3で設定してください。メモリの取り付け / 取り外しをした場合は、まず、「ハイバネーション機能を使用しない」に設定する(→p.17)の操作を行ってから、次の手順1～3の設定をしてください。

✓チェック!! この操作は、MS-DOSモードで行います。Windows 95の「MS-DOSプロンプト」ウィンドウでは行えません。必ず次の手順で操作してください。

1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」で「MS-DOSモードで再起動する」を選び、「OK」ボタンをクリックする
本機がMS-DOSモードで再起動します。

2 MS-DOSモードで再起動したら、キーボードからHIBERONと入力し【Enter】を押す

✓チェック!! ハードディスクの空き容量が不足しているというメッセージが表示された場合は、不要なファイルを削除するなどしてハードディスクの空き容量を確保した後、手順1からやり直してください。必要なハードディスクの空き容量の目安は、本機に搭載されているメモリ容量 + 8Mバイトです。

3 次のようなメッセージが表示されたら、本機の電源を切り、5秒以上待ってから再度本機の電源を入れる

本機の起動時に、次のようなメッセージが表示されなくなれば、ハイバネーション機能が使用できます。

ハイバネーションファイルを作成しました。
電源を切って5秒以上たってから再び電源を入れてください。

すでにハイバネーション用のファイルがある状態で実行すると、「ハイバネーションファイルはすでに存在します」と表示されます。

パワーマネジメント

モードの種類と切り替え方

パワーマネジメントには次の各モードがあります。

キーボードの【Fn】を押しながら【F7】を押すごとにモードが切り替わり、ピープ音が鳴ります。

モード	機能	ピープ音の回数
フルパワー	パワーマネジメントなし。	1
ユーザー設定	節電する機能を自分で選ぶことができるモードです。どの機能を使うかは、BIOSセットアップユーティリティで設定します(→p.101)。	2
動作性能優先	節電をしながら高性能で使いたいときに選びます。 節電効果はやや低めです。	3
動作時間優先	性能を抑えることにより節電効果を高めたいときに選びます。	4

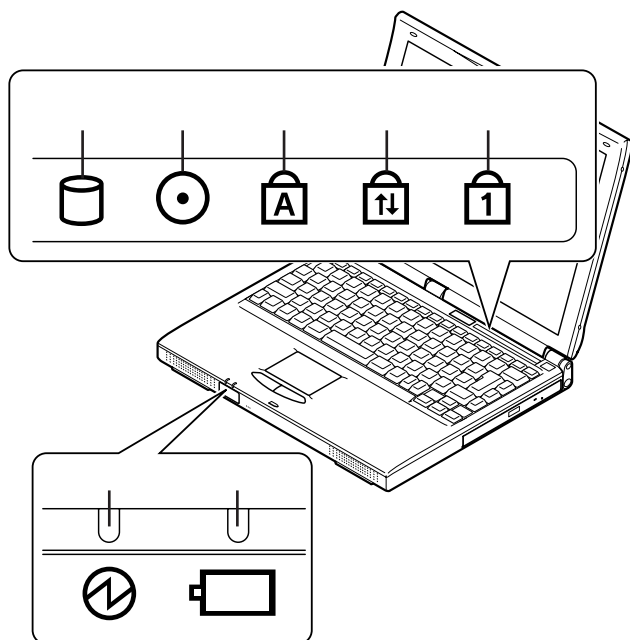
:ご購入時の設定(ご購入時の設定では、バッテリー駆動時のみ有効です)



チェック!!

- ・【Fn】を押しながら【F6】を押してピープ音の音量を「なし」に設定していると、モードの識別音が鳴りません。音量を「なし」以外に設定してください。
- ・パワーマネジメントは、バッテリー駆動の場合に有効になります。AC電源駆動時にパワーマネジメントを使用する場合は、BIOSセットアップユーティリティで「AC電源時のパワーマネジメント」を「使用する」に設定してください(→p.102)。

表示ランプ



電源ランプ

- ・ 緑色点灯 電源が入っている
(AC電源で動作中、またはバッテリー残量が十分な状態)
- ・ 緑色点滅 サスペンド
- ・ 黄色点灯 バッテリー残量が少ない
- ・ 黄色点滅 バッテリー残量が少ない (サスペンド時)
- ・ オレンジ色点灯 . バッテリー残量が残わずか
- ・ オレンジ色点滅 . バッテリー残量が残わずか (サスペンド時)
- ・ 消灯 電源が切れている

バッテリー充電ランプ

- ・ オレンジ色点灯 . バッテリー充電中
(バッテリスロットのバッテリー)
- ・ 緑色点灯 バッテリー充電中
(別売のセカンドバッテリーパック)
- ・ 消灯 充電完了

ハードディスクアクセスランプ

- ・ 緑色点灯 アクセス中
- ・ 消灯 アクセスしていない

NX ノートベイアクセスランプ

- ・ 緑色点灯 アクセス中
- ・ 消灯 アクセスしていない

キャップスロックキーランプ

- ・ 緑色点灯 【Caps Lock】がロックされている
英字を入力すると大文字になります。
- ・ 消灯 【Caps Lock】がロックされていない
英字を入力すると小文字になります。

スクロールロックランプ

- ・ 緑色点灯 【Scr Lock】がロックされている
- ・ 消灯 【Scr Lock】がロックされていない

ニューメリックロックキーランプ

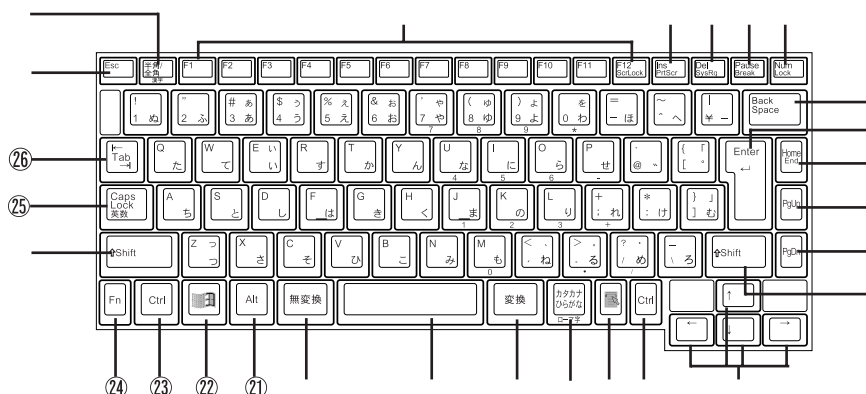
- ・ 緑色点灯 【Num Lock】がロックされている
キーを押すとキー前面の文字が入力されます。
- ・ 消灯 【Num Lock】がロックされていない
キーを押すとキー上面の文字が入力されます。

キーボード

キーボードの基本的な使い方を説明します。

キーの使い方

キーの名称



【Esc】: エスケープキー

【半角 / 全角】: 半角 / 全角キー

【F1】~【F12】: ファンクションキー

【Ins】: インサートキー

【Del】: デリートキー

【Pause】: ポーズキー

【Num Lock】: ニューメリックロックキー

【Back Space】: バックスペースキー

【Enter】: エンターキー(リターンキー)

【Home】: ホームキー

【PgUp】: ページアップキー

【PgDn】: ページダウンキー

【Shift】: シフトキー

【↑】【↓】【→】【←】: カーソル移動キー

【Ctrl】: コントロールキー

【】: アプリケーションキー
Windows 95、Windows NT 4.0使用時に
使うことができます。

【カタカナ ひらがな】: かなキー

【変換】: 変換キー

スペースキー

【無変換】: 無変換キー

②① 【Alt】: オルトキー

②② 【】: Windowsキー
Windows 95、Windows NT 4.0使用時に
使うことができます。

②③ 【Ctrl】: コントロールキー

②④ 【Fn】: エフエヌキー

②⑤ 【Caps Lock】: キャップスロックキー

②⑥ 【Tab】: タブキー

特殊なキーの使い方

キー操作	説 明
【Num Lock】	一度押すとニューメリックロックキーランプが点灯し、キー前面に青で表示されている数字や記号を入力できるようになります。 もう一度押すとニューメリックロックキーランプが消灯し、キー上面の文字が入力できるようになります。
【Shift】+【Caps Lock】	一度押すとキャップスロックキーランプが点灯し、ローマ字を入力すると大文字が入力されます。 もう一度押すとキャップスロックキーランプが消灯し、ローマ字を入力すると小文字が入力されます。
【Alt】+【半角 / 全角】	一度押すと日本語入力システムがオンになり、日本語が入力できるようになります。 もう一度押すと日本語システムがオフになり、日本語が入力できなくなります。
【Alt】+【カタカナ ひらがな】 (MS-IME97使用中のみ)	日本語入力システムがオンになっているとき、一度押すとかな入力モードになり、キー上面のかな文字で日本語を入力できるようになります。もう一度押すとローマ字入力モードになり、キー上面のローマ字の組み合わせで日本語を入力できるようになります。
【Caps Lock】	日本語入力システムがオンになっているとき、一度押すと英数字が入力されるようになります。
【カタカナ ひらがな】	日本語入力システムがオンになっているとき、一度押すとひらがなやカタカナを入力できるようになります。
【Fn】	他のキーと組み合わせて機能を実行します (→P.24)。

ホットキー機能【Fn】の使い方)

【Fn】と他のキーを組み合わせることで、本機の設定をキー操作で簡単に調整することができます。これをホットキー機能といいます。

組み合わせが可能なキーとその機能は【Fn】と同じ色（ブルー）でキー上面に印字されています。

機 能	キー操作	説 明
ハイバネーション	【Fn】+ 電源スイッチ	ハイバネーションします。
ディスプレイ切り替え 	【Fn】+【F3】	別売のCRTディスプレイが接続されているとき、キーを押すごとに、「両方表示」→「内蔵液晶ディスプレイ」→「外部モニター」の順に切り替わります。
スタンバイモード 	【Fn】+【F4】	スタンバイモードにします。
ビープ音量調節 	【Fn】+【F6】	ビープ音の音量を調節します。 (なし、小、中、大)
節電レベル選択	【Fn】+【F7】	パワーマネジメントレベルを変更して、望みの節電レベルを選択します(4段階 ↓ → P.19)。
輝度を上げる 	【Fn】+【F8】	キーを押すごとに、液晶ディスプレイの輝度が増加します(8段階)。
輝度を下げる 	【Fn】+【F9】	キーを押すごとに、液晶ディスプレイの輝度が低下します(8段階)。
画面の伸縮	【Fn】+【F10】	低解像度時に、ディスプレイの画面を拡大表示するよう切り替えます。
スクロールロック	【Fn】+【F12】	【Scr Lock】の役割
プリントスクリーン	【Fn】+【Ins】	【Prt Scr】の役割
システムリクエスト	【Fn】+【Del】	【Sys Req】の役割
右Alt	【Fn】+【Alt】	右【Alt】の役割
右Windows	【Fn】+ 	右  の役割
Break	【Fn】+【Pause】	【Break】の役割
End	【Fn】+【Home】	【End】の役割

キーボードを設定する

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「キーボード」アイコンをダブルクリックする
「キーボードのプロパティ」が表示されます。

「キーボードのプロパティ」ウィンドウでは、ウィンドウ左上の「速度」「言語」「情報」の各タブを選択すると、次のような設定を行うことができます。

- ・ 文字入力時の繰り返し入力タイミング調節
- ・ カーソルの点滅速度の調節
- ・ 日本語入力システムの選択
- ・ レイアウトの設定

「速度」タブでの設定

表示までの待ち時間

一つのキーを押し続けたときに、入力の繰り返しが始まるまでの時間を調節します。

表示の間隔

一つのキーを押し続けたときに、文字の入力が繰り返される間隔を調節します。

カーソルの点滅速度

カーソルの点滅する間隔を調節します。

「言語」タブでの設定

言語

よく使う日本語入力システムを一覧から選び、「標準に設定」をクリックすると、その日本語入力システムが「標準の言語」欄に表示され、登録されます。

追加

「追加」ボタンをクリックして「言語の追加」ウィンドウを表示させ、追加したい言語を選びます。

プロパティ

日本語入力システムを一覧から選んで、「プロパティ」ボタンをクリックすると、環境設定のウィンドウが表示されます。「ローマ字 / かな入力」₁「入力モード / 方式」₂「句読点の種類」などを設定できます。

削除

削除したい言語を一覧から選んで、「削除」ボタンをクリックすると、その言語が一覧から削除されます。

言語の切り替え

言語の切り替えを行うキーの組み合わせを選択できます。

タスクバー上に状態を表示

「タスクバー上に状態を表示」をクリックして ☒ にすると、日本語や日本語入力システムを簡単に切り替えることができるメニューがタスクバーに表示できます。

「情報」タブでの設定

キーボードの種類

現在使用しているキーボードの種類が表示されます。本機以外の別売のキーボードを使用する場合の設定を行うこともできます。

別売のキーボードを使うには

別売のテンキーボードやキーボードを接続して使用することができます。テンキーボードは本機背面のマウス / テンキーボード用コネクタに接続します。キーボードはUSB対応のキーボードを本機のUSBコネクタに接続することができます。

参照▶ 別売のテンキーボードやキーボードの接続 → 「その他の機器を使う」(p.90)

日本語入力の使い方

日本語入力のオン、オフの仕方

オンの仕方

- 1 タスクバーの右にある  をクリックする
- 2 表示されたメニューの「日本語入力-オン」をクリックする
これで日本語入力がオンになりました。

オフの仕方

- 1 タスクバーの右にある  をクリックする
- 2 表示されたメニューの「日本語入力-オフ」をクリックする
これで日本語入力がオフになりました。

本機には日本語入力システムとして、MS-IME97が組み込まれています。
入力方法や操作方法については「ヘルプ」をご覧ください。

MS-IME97の「ヘルプ」を参照するには

- 1 MS-IME97のツールバーから「ヘルプ」ボタンをクリックする
- 2 表示されたヘルプ画面で調べたい項目をダブルクリックする
- 3 「ヘルプ」を終了したいときは  をクリックする

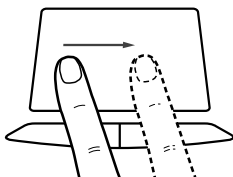
ポインティングデバイス

本機には、ポインティングデバイスとしてNXパッドが内蔵されています。NXパッドは、コントロールパネルを使ってより使いやすいように設定できます。

NXパッドの使い方

ポインタ(カーソル)の移動

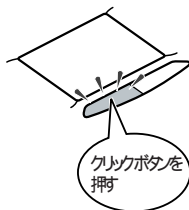
パッド上で指を動かすと、指の動きに合わせて画面上のポインタ(カーソル)が動きます。



クリックとダブルクリック

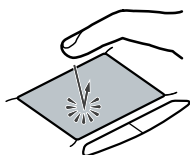
左または右のクリックボタンを押します。

1回押すことを「クリック」、2回すばやく押すことを「ダブルクリック」と言います。



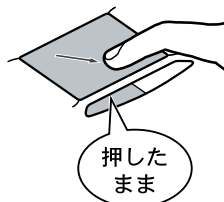
タップ

クリックボタンを押す代わりに、指先でパッドを軽くたたいてクリックする方法をタップといいます。1回たたくことをタップ、2回連続してたたくことをダブルタップといいます。それぞれクリック、ダブルクリックするのと同じことです。

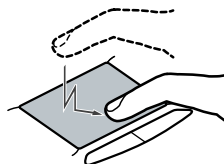


ドラッグ

アイコンやフォルダの上にポインタを合わせ、左クリックボタンを押したまま指をパッド上で軽くすべらせると、ドラッグできます。



アイコンやフォルダの上にポインタを乗せた状態で、パッドに2回続けて触れ、2回目に触れたときにパッドから指を離さずにスライドさせてもドラッグできます。



✔ **チェック!!** 「コントロールパネル」→「パワーマネージメント」→「電源のプロパティ」→「パワーマネージメント」で、「Windowsでコンピュータの電源を管理する」を□にしないでください。NXパッドが正常に動かなくなります。

ポインティングデバイスを設定する

Windowsでポインティングデバイスをより使いやすく設定することができます。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックする
「マウスのプロパティ」が表示されます。



タスクバーの  をダブルクリックしても同じ画面が表示されます。

「マウスのプロパティ」ウィンドウでは、ウィンドウの左上の各タブを選択すると、次のような設定を行うことができます。

- ・ボタンの設定
- ・ポインタデザインの選択
- ・ポインティングデバイスの動作の調節
- ・方向の調節
- ・オートジャンプの設定
- ・タッピングの調節
- ・ジェスチャーの設定(NXパッド使用時のみ設定可能)

「ボタン」タブの設定

ボタン設定

右きき用、左きき用、それぞれに合わせて左右のクリックボタンの設定ができます。

ダブルクリック速度

ダブルクリックのクリック間隔の調節を行います。

Mボタンの設定

「ボタン設定」欄で「3ボタンモードを使用する」を ☒ (オン) にするとMボタンの設定ができます。

Mボタンの機能を使うと、対応アプリケーションでパン機能などを使うことができます。

「ポインタ」タブの設定

デザイン

ポインタのデザインを変更することができます。

「動作」タブの設定

アクセラレーション

パッド上で指を素早く動かすことで、ポインタの移動速度を「速度」欄で設定した以上に速くすることができます。パッド上でゆっくり指を動かしたときは「速度」で設定した速度で動きます。

速度

ポインタの動作速度を調節します。

軌跡

「表示する」を ☒ (オン) にすると、ポインタの軌跡が表示されます。

「方向」タブの設定

方向設定

パッド上で指を動かした方向と、画面上のポインタの移動方向とを調整します。

「オートジャンプ」タブの設定

オートジャンプ

ウインドウやダイアログボックスを開いたときに、ポインタをボタンの上やウインドウ左上のコントロールメニューボックス、ウインドウの中央などに自動的に合わせるように設定できます。

「タッピング」タブの設定

タッピングon/off設定

「タッピング」を☐ オフ)にするとタップを効かないように設定できます。

タッピング速度

タップする速度を調節します。タップ(指をパッドに触れてから離すまで)の間隔を調整することで、まちがって触れただけではタップにならないように設定できます。

ドラッグロックの設定

タッピングによるドラッグをしている場合のドラッグロックの設定ができます。ドラッグしている途中で、指を離してもドラッグしたままの状態を保つことができます。

タイピング

キーボードからキー入力しているときに、タップの機能が働かないように設定できます。キー入力時にまちがってタップされるのを防ぐことができます。キー入力が終わったら、タップは有効になります。

「ジェスチャー」タブの設定

コーナータップ

パッド部の左上角や右上角をタップする動作に、右ボタンやMボタンの役割を割り当てることができます。

イージースクロール

「イージースクロールを使う」を ☒ (オン) にして「オプション」ボタンを選ぶと、次の各機能を使うように設定できます。

・オートスクロール

スクロールバーが表示されているウィンドウにポインタを合わせ、パッドの左下または右下の角に指を置くと、画面をスクロールさせることができます。

・スクロール領域

パッド部のうち、イージースクロール機能で使用する領域を「スクロール領域」といいます。数字を大きくするほどスクロール領域がひろがります。

・クイックスクロール

スクロールバーが表示されているウィンドウにポインタを合わせて、パッド上のスクロール領域を指でなぞると、画面をスクロールさせることができます。ただし、スクロールバーが隠れているときや、一部のアプリケーションでは動作しないことがあります。

・ホイールエミュレーション

「ホイールエミュレーションを使う」を ☒ (オン) にすると、パッドの右端を指でなぞったときに、ホイール付きマウスのホイールを動かしたのと同じ操作ができるようになります。

フロッピーディスクドライブ

本機には3.5インチフロッピーディスクドライブが用意されており、次の形式のフロッピーディスクを使うことができます。

作業内容 フォーマット	データの読み書き	フォーマット	ディスクコピー
640Kバイト	-	-	-
720Kバイト	○	○	○
1.44Mバイト	○	○	○
1.2Mバイト	○	-	-

✓チェック!! 1.2Mバイトのフロッピーディスクは、Windows 95の「ディスクのコピー」でバックアップが取れません。また、「ディスクのコピー」のコピー先のフロッピーディスクは、コピー元のフロッピーディスクと同じ容量でフォーマットされたフロッピーディスクを使用してください(これはMS-DOSプロンプトのDISKCOPYコマンドでも同様です)。

フロッピーディスクドライブを取り付ける

本機でフロッピーディスクドライブを使用する場合は、添付のフロッピーディスクドライブを取り付けます。取り付け方法には次の3つがあります。

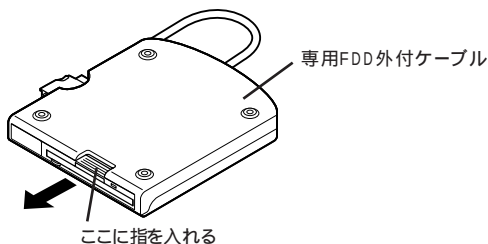
- ・NX ノートベイに取り付ける
- ・専用FDD外付ケーブルを使って拡張用コネクタに取り付ける
- ・別売のポートバー(PC-VP-TU01)に取り付ける

NX ノートベイに接続する

NX ノートベイでフロッピーディスクドライブを使用するときは、NX ノートベイにすでに取り付けられている機器(出荷時はCD-ROMドライブ)を取り外してから取り付けます。

また出荷時にフロッピーディスクドライブは、専用FDD外付ケーブルに取り付けられています。NX ノートベイにフロッピーディスクドライブを取り付ける際には、まず次の手順で専用FDD外付ケーブルからフロッピーディスクドライブを取り外してください。

- 1** 図のように、フロッピーディスクドライブと専用FDD外付ケーブルのすきまに指を入れて、手前に引きながら取り外す



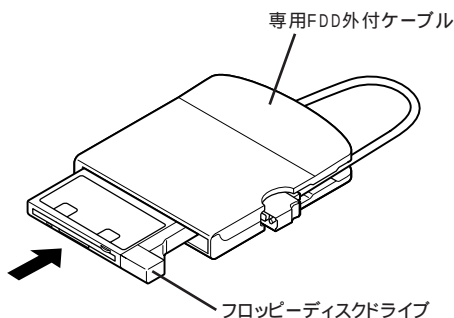
- 2** 取り外したフロッピーディスクドライブをNX ノートベイに取り付ける

参照 NX ノートベイにフロッピーディスクドライブを取り付けるには→「NX ノートベイに機器を取り付ける」(p. 86)

拡張用コネクタに接続する

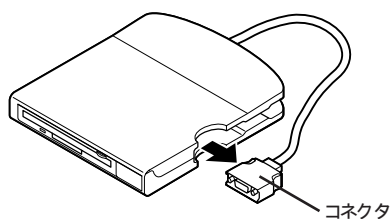
- 1** 専用FDD外付ケーブルよりフロッピーディスクドライブを取り外している場合は、専用FDD外付ケーブルにフロッピーディスクドライブを取り付ける

出荷時には、フロッピーディスクドライブが専用FDD外付ケーブルに取り付けられています。

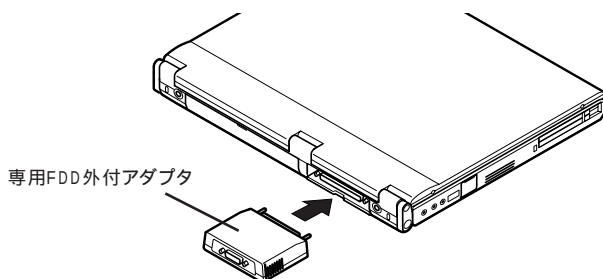


- 2** 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」で本機の電源を切る

3 専用FDD外付ケーブルに収納されているコネクタを取り出す

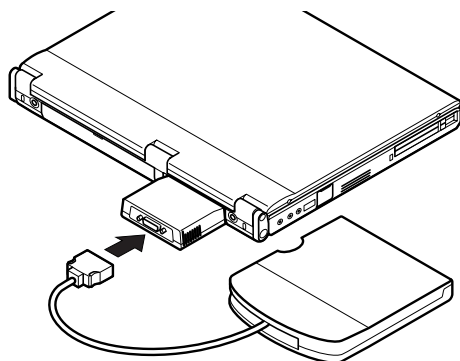


4 本体背面の拡張用コネクタに専用FDD外付アダプタを取り付ける



チェック!! 専用FDD外付アダプタを取り付ける向きが間違っている場合は、うまく取り付けられません。無理に押し込むと、本体のコネクタや機器の故障の原因となります。

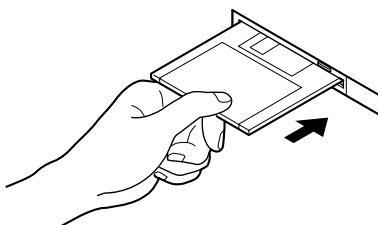
5 手順1で取り付けした専用FDD外付ケーブルのコネクタを専用FDD外付アダプタに図のように取り付ける



フロッピーディスクのセットのし方と取り出し方

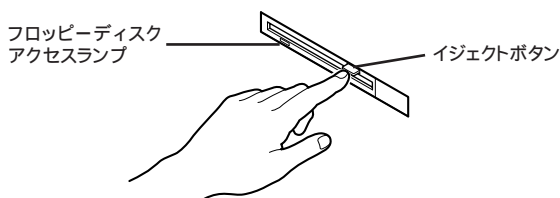
フロッピーディスクのセットのし方

- 1 カチッと音がするまでフロッピーディスクをゆっくりと水平に差し込む
フロッピーディスクがセットされるとイジェクトボタンが少し飛び出します。



フロッピーディスクの取り出し方

- 1 イジェクトボタンを押す
フロッピーディスクが少し飛び出します。



- 2 フロッピーディスクをゆっくりと水平に引き出す

- ✓チェック!!** ・フロッピーディスクを書き込み、または読み取り中は、NXノートベイアクセスランプ(●)およびフロッピーディスクアクセスランプが点灯します。(フロッピーディスクドライブを外付けにした場合は、フロッピーディスクアクセスランプのみ点灯します)アクセスランプ点灯中は、絶対にフロッピーディスクを取り出さないでください。ドライブの故障やデータの不具合の原因となります。
- ・本機ではPC-9800シリーズでフォーマットされたフロッピーディスクでシステム起動することはできません。PC-9800シリーズでフォーマットされたフロッピーディスクで起動しようとしても、エラーメッセージなどは表示されないので注意してください。



内蔵ハードディスク

ハードディスクは高速で回転する円盤（ディスク）上に、Windows 95やアプリケーションなどのソフトウェアや、それらで作成したファイルを磁気的に記録して、読み出すための精密装置です。強い衝撃や過度の重量などが加わらないよう、取り扱いにご注意ください。

また、大切なデータを保護するため、定期的にデータのバックアップをとるようおすすめします。

領域の確保とフォーマット

VersaProで、2Gバイトを超えるハードディスクドライブが搭載されているモデルでは、ご購入時には約2Gバイト（2047Mバイト）のみが使用できるようになっています。残りの容量を使用するには、ハードディスクの領域の確保とフォーマットが必要です。

参照 ハードディスクの領域確保とフォーマットの手順 → PART6の「領域の確保とフォーマット」

ハードディスクのメンテナンス

Windows 95には、ハードディスクの障害を検出したり、アクセス速度を保つためのメンテナンスソフトが組み込まれています。

スキャンディスク

ハードディスクそのものやハードディスクに保存されているデータに、障害がないかどうかを調べるためのWindowsのツールです。もし障害があった場合は、可能な範囲で修復することができます。次の手順で操作します。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」で「スキャンディスク」をクリックする
「スキャンディスク」ウインドウが表示されます。
- 2 「エラーチェックをするドライブ」の一覧から、チェックするドライブをクリックする
ここではハードディスクドライブを選びます。
- 3 「開始」ボタンをクリックする
チェックが始まります。

チェックには数分から数十分かかることがあります。チェックが終了すると、「結果レポート」が表示されます。

デフラグ

ハードディスクは長い間使っていると断片化がおこります。断片化とは、データがハードディスクにばらばらに保存されることで、データの読み書きのスピードの低下につながります。デフラグを実行すると、ばらばらに記録されたデータが最適化されます。

デフラグを実行するには、次の手順で操作します。

用語 デフラグ

「フラグメンテーション(断片化)を解消する」の意味の省略語。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」で「デフラグ」をクリックする
- 2 表示された「ドライブ選択」ウィンドウのリストからデフラグするハードディスクを選ぶ

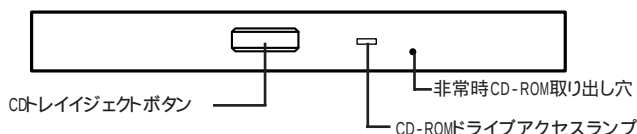


- 3 「OK」ボタンをクリックする
「ディスクの最適化」ウィンドウが表示されます。
- 4 最適化を行う場合は、「開始」ボタンをクリックする
「ディスクの最適化」が終了したら、画面の指示に従い、デフラグを終了します。

チェック!! デフラグの実行中は、絶対に電源を切ったり、再起動したり、サスペンドやハイパネーションしたりしないでください。

CD-ROMドライブ

ここではCD-ROMドライブの取り扱いについて説明しています。



CD-ROMドライブのボタンやアクセスランプ、非常用CD-ROM取り出し穴の位置や形状はイラストと多少異なることがあります。

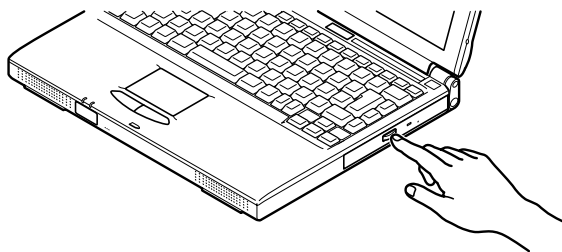
使用上の注意

- ・ CD-ROMドライブ内のレンズには触れないでください。指紋などの汚れによってデータが正しく読み取れなくなるおそれがあります。
- ・ NXノートベイアクセスランプ④とCD-ROMドライブアクセスランプが点灯しているときは、CD-ROMを絶対に取り出さないでください。本機の故障の原因となります。
- ・ ラベルなどが貼ってあるなど、重心バランスの悪いCD-ROMを使用すると、本機の操作中に手に振動を感じる場合があります。これは故障の原因となるため、CD-ROMの盤面にはラベルやテープなどを貼らないでください。

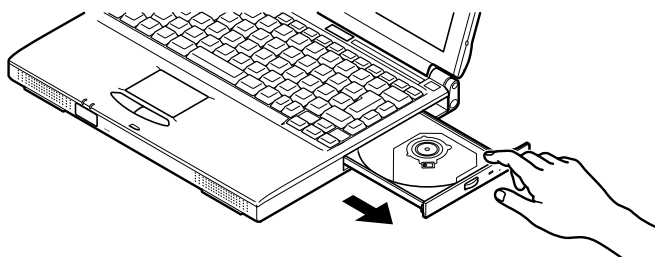
CD-ROMのセットのし方と取り出し方

CD-ROMのセットのし方

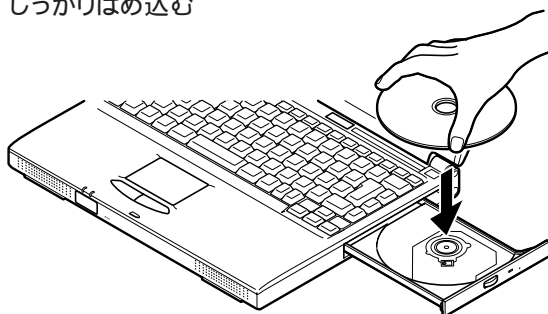
- 1** CDトレイジェクトボタンを押す
CDトレイが少し飛び出します。



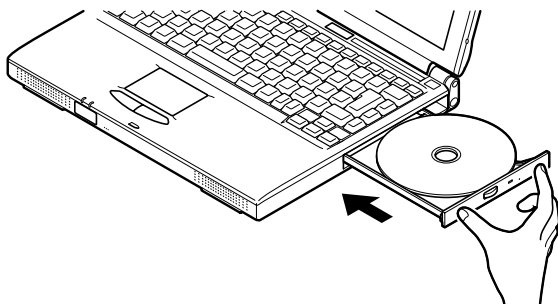
- 2** 手でCDトレイを静かに引き出す



- 3** CD-ROMのデータ面（文字などが印刷されていない面）を下にして、傷など付けないようCDトレイの中央に置き、ディスクを軸にしっかりとめ込む

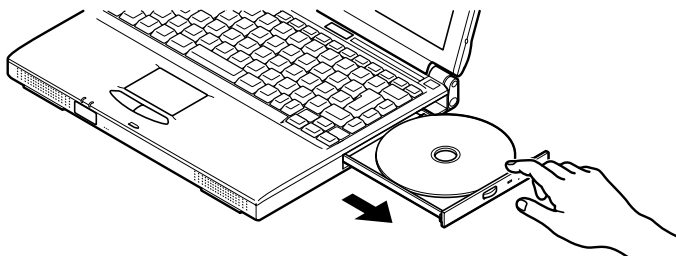


- 4** CDトレイジェクトボタンに触れないようにCDトレイ前面を押して、CDトレイを元の位置に戻す

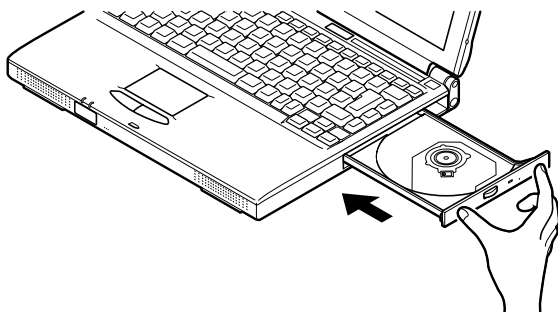


CD-ROMの取り出し方

- 1** CDトレイジェクトボタンを押す
CDトレイが少し飛び出します。
- 2** 手でCDトレイを静かに引き出してから、CD-ROMを取り出す

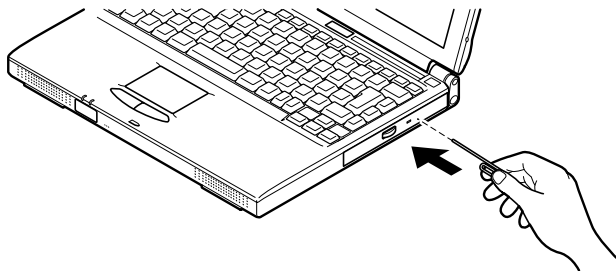


- 3** CDトレイジェクトボタンに触れないようにCDトレイの前面を押して、CDトレイを元の位置に戻す



非常時のCD-ROMの取り出し方

ソフトウェアの暴走など不慮の原因で、CDトレイジェクトボタンを押してもCDトレイが出てこなくなった場合は、非常時CD-ROM取り出し穴に太さ1.3mm程の針金を押し込むと、トレイを手動で引き出すことができます。



■ 針金は太めのペーパークリップなどを引き伸ばして代用できます。

✔ **チェック!!** CDトレイジェクトボタンを押してもトレイが出てこない、といった非常時以外は非常時CD-ROM取り出し穴を使って取り出さないようにしてください。

画面表示機能

本機の液晶ディスプレイで表示できる解像度と表示色について説明しています。

本機は、液晶ディスプレイだけでなく、別売のCRTディスプレイ、プロジェクタなどに画面を表示することもできます。

参照 別売のディスプレイ、プロジェクタについて→「外部ディスプレイを使う」(p.70)

チェック!! スクリーンセーバーを設定しているときに、液晶ディスプレイを閉じてもう一度開くと、まれに本機の液晶ディスプレイに画面が表示されない場合があります。この場合は、【Fn】+【F3】を1回押すことで画面を表示することができます。

表示できる解像度と表示色

本機のカラー液晶ディスプレイは、標準で次の解像度と表示色を表示できます。

解像度	表示色	本機の液晶ディスプレイのみに表示	別売のディスプレイのみに表示	本機の液晶ディスプレイと別売のディスプレイの同時表示 ¹
640×480ドット	26万色中256色	●		●
	65,536色	●		●
	1,677万色 ²	●		●
800×600ドット	26万色中256色	●		●
	65,536色	●		●
	1,677万色 ²	●		●
1,024×768ドット	26万色中256色			
	65,536色 ³			
1,280×1,024	26万色中256色			
1,600×1,200	26万色中256色			

●：画面のまわりが黒く表示される(拡大表示可能)

- ：フルスクリーン表示可能
- ：バーチャルスクリーンモードで表示可能

1：別売CRT未接続時は本機の液晶ディスプレイのみ

2：本機の液晶ディスプレイでは、ウィンドウアクセラレータのディザリング機能により実現

3：出荷時の設定

 用語 解像度

解像度とは、ディスプレイの画面上に表示できる文字や図面などの情報量を表すものです。この数字が大きくなるほど、画面上に一度に多くの情報を表示することができ、より細かな表現ができます。

 用語 バーチャルスクリーン

バーチャルスクリーンとは、液晶ディスプレイに物理的に表示可能な解像度より先高解像度でディスプレイの画面上に表示するための仮想画面のことです。バーチャルスクリーンでは画面全体のサイズが大きくなり、ディスプレイには常に仮想画面の一部が表示されている状態となります。画面をスクロールさせることにより、画面上で見えない部分を表示することができます。

バーチャルスクリーンでは、「スタート」ボタンが画面から外れて表示されないことがあります。画面上で見えない部分を見るには、マウスポインタを画面のへりの部分へ移動させます。そうすると、移動させた方向にスクロールし、見えなかった部分が表示されます。

バーチャルスクリーンモードの設定方法

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする
- 2 「ディスプレイの詳細」タブをクリックする
- 3 「カラーパレット」を256色に変更する（画面の解像度が1280 × 1024ドット、または1600 × 1200ドットのとき）
- 4 「OK」ボタンをクリックする
- 5 「新しい設定でコンピュータを再起動する」にチェックを付けて、「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。
- 6 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする
- 7 「表示デバイス」タブをクリックする

- 8 「デスクトップ領域」の「デスクトップ」側にあるつまみを目的の解像度までスライドさせる
- 9 「適用」ボタンをクリックする
- 10 「表示の設定を表示します。変更には数秒かかります。その間、画面がちらつくことがあります。」と表示されるので「OK」ボタンをクリックする

解像度と表示色を変更する

ディスプレイの解像度と表示色の変更はコントロールパネルで設定します。

本機の画面の設定を変更する

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「ディスプレイの詳細」タブをクリックする



3 解像度または表示色を変更する

解像度の変更:

「デスクトップ領域」でつまみを「大」の方向へドラッグすると高解像度に、「小」の方向へドラッグすると低解像度になります。

表示色の変更:

「カラーパレット」で▼をクリックし、選択一覧から変更します。この選択一覧には、使用している液晶ディスプレイとディスプレイアダプタが対応しているカラーパレットが一覧表示されます。

High Color(16ビット)とは65,536色のことで、True Color(24ビット)は1,677万色のことです。

4 設定が終了したら、「OK」ボタンをクリックする このあとは、画面の指示に従って操作してください。

セキュリティ機能

本機には、本機の不正使用やデータなどの盗難を予防するため、次のようなセキュリティ機能が搭載されています。

- ・パスワード機能
- ・I/Oロック

✓チェック!! セキュリティ機能を使用している場合でも、「絶対に安全」ということはありません。重要なデータなどの管理、取り扱いには十分注意してください。

本機のセキュリティ機能

本機のセキュリティ機能には、次のようなものがあります。セキュリティ機能は、BIOSセットアップユーティリティの「セキュリティ」の「パスワード」または「I/Oロック」の項目で設定します(→p.97, 98)。

- ・ユーザーパスワード

日常的に本機を使用する人のためのパスワードです。

- ・スーパーバイザーパスワード

システム管理者など、本機の運用を管理する人のためのパスワードです。

✓チェック!! パスワードを忘れてしまった場合には解除処置が必要です。Bit-INN、NECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。

参照▶ NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』または『メンテナンス&サポートのご案内』

- ・パスワード解除処置は保証期限内でも有償です。
- ・パスワード解除処置は原則としてお客様のお持ち込みによる対応となります。また、機密保持のため、お客様ご本人からのご依頼に限り処置をお受けいたします。
- ・パスワード解除処置を依頼されるときには、次のものをすべてご用意ください。
 1. 本機の購入を証明するもの(保証書など)
 2. 身分証明書(お客様ご自身を確認できるもの)
 3. 印鑑

- ・パスワード解除処置をご依頼の際、受付にてお客様ご自身により専用の用紙に必要事項を記入・捺印していただくことが必要です。専用紙の記載事項にご同意いただけない場合には、処置のご依頼に対応しかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

I/Oロック

シリアルポートや赤外線ポート、パラレルポートなどを使用できないように設定できます。この機能により、プログラム、データなどが不正に流出するのを予防できます。I/Oロックは、BIOSセットアップユーティリティで設定します。

参照 I/Oロックを設定する「セキュリティの設定」の「I/Oロック」(p.98)

セキュリティ機能の使用例

セキュリティ機能は、本機の使用状況に合わせて次のように利用できます。

日常的な使用者以外が本機の設定を管理したい場合

本機を日常的に使用している人とは別の人が本機の設定をしたい場合、はじめに管理者がユーザーパスワードとスーパーバイザーパスワードの両方を設定しておき、ユーザーパスワードのみを各利用者に通知します。この機能を使うと、管理者以外はBIOSセットアップユーティリティのパスワードに関する設定を変更することができなくなります。

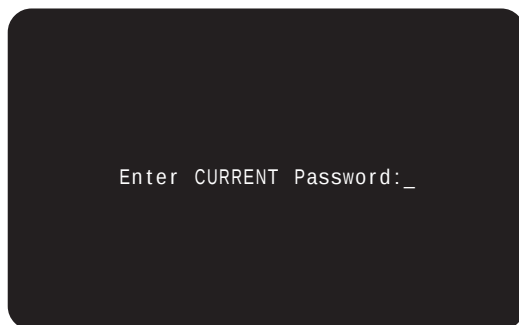
使用者が本機の設定を管理したい場合

本機を日常的に使用する人がBIOSセットアップユーティリティのパスワードに関する設定も自由に行いたい場合、使用者がスーパーバイザーパスワードを設定します。この機能を使うと、使用者以外には本機の起動やBIOSセットアップユーティリティの設定変更ができなくなります。

パスワードを設定しているときの電源の入れ方

BIOSセットアップユーティリティの「セキュリティ」の「パスワード」の「パスワード確認タイミング」が「システム・セットアップ起動時」に設定されている場合は、次の手順で電源を入れます。

1 本機の電源を入れるとパスワードを入力する画面が表示される



2 設定されているパスワードをキーボードから入力する

3 【Enter】を押す

正しいパスワードが入力されると、Windowsが起動します。

- ✔ **チェック!!** ・パスワードの入力中に、キーボードの【Back Space】などを押しても文字を修正することはできません。
- ・ 誤ったパスワードが入力されると、「×」と表示されます。パスワードの入力に3回失敗すると、パスワードが入力できなくなります。このときは、電源スイッチを押して電源を切ったあと、再度手順1からやり直してください。

パスワードを設定しているときのレジューム

パスワードが設定されているときには次の手順でレジュームすることができます。

1 電源スイッチを押す

キャップスロックキーランプ  とスクロールロックランプ  が交互に点灯します。このとき画面には何も表示されません。

2 設定されているパスワードをキーボードから入力する

-  **チェック!!** ユーザーパスワードとスーパーバイザーパスワードの両方が設定されている場合、前回、電源を入れたときに入力したパスワードでないとレジュームできません。

3 【Enter】を押す

正しいパスワードが入力されると、レジュームされサスペンド前の内容が表示されます。

-  **チェック!!**
- ・パスワードの入力中に、【Back Space】を押しても文字を修正することはできません。
 - ・誤ったパスワードが入力されると、レジュームされません。

赤外線通信機能

赤外線通信とは、パソコンとパソコンの間をケーブルで接続せずに赤外線
でデータの交換を行う通信方法です。

赤外線通信

本機では、IrDA SIR Data Link Std.に準拠した赤外線通信ができます。
本機には、赤外線通信用のアプリケーションとして、「IntelliSync97」が添付
されています。「IntelliSync97」をお使いになる場合には、「アプリケーション
CD-ROM」を使って追加する必要があります。

参照 ▶ IntelliSync97の使いかた、およびIntelliSync97の追加→「IntelliSync97」
(p.132)

赤外線通信機能を使えるようにする

- 1** BIOSセットアップユーティリティを起動する(→p.94)
- 2** 「セットアップ」メニュー→「デバイス」→「通信」の「赤外線ポート」
タブで、「設定方法」を「自動設定」または「手動設定」にする
自動設定を選ぶと自動的に設定が行われますが、手動設定を選んだ
ときは、BIOSセットアップユーティリティでCOM番号を設定する必要
があります(→p.98)
- 3** BIOSセットアップユーティリティを終了し、システムを再起動す
る
- 4** 「デバイスドライバウィザード」の画面が表示されたら「次へ」ボタ
ンをクリックする
- 5** 「このデバイス用の更新されたドライバが見つかりました」と表示
されたら「完了」ボタンをクリックする
- 6** 「赤外線デバイスウィザード」の画面が表示されたら「キャンセル」
ボタンをクリックする

7 「IntelliSync97」を起動し「IntelliSyncランチャー」で設定を行う

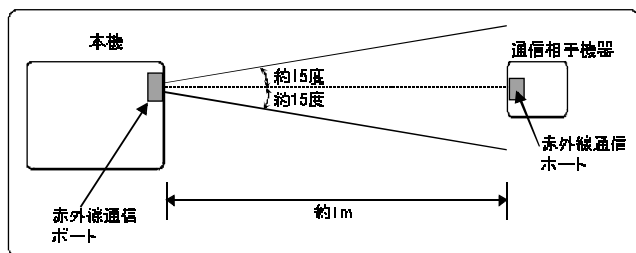
チェック!! 異なる機器との通信には、両装置間の通信に対応したソフトウェアが必要です。

こんなときはうまく通信できないことがあります。

- ・異なる機器と接続した場合(相手の機器の性能に依存するため)
- ・通信相手機器がIrDA規格に準拠していない場合

機器の配置について

赤外線通信を行う機器は次の範囲内に配置してください。



- ・互いの機器の赤外線通信ポートが真正面に向き合うようにする
- ・互いの機器の赤外線通信ポートの距離を約1m以内にする

機器を配置するときの注意

- ・赤外線通信ポートを汚したり、傷つけたりしない
- ・通信相手機器と本機との間に赤外光を遮るような物を置かない
- ・互いの機器どうしを接続させない

チェック!! 通信相手の赤外光が本機の赤外線通信ポートまで届かないときや通信相手機器の通信可能距離が本機より短い(本機の場合は約1m以内)ときは、通信相手の機器が本機の通信可能範囲にあっても通信できないことがあります。このようなときは、お互いの赤外線通信ポートを真正面で向き合わせて、できる限り近くに置いてください。このとき、お互いの装置が接触しないようにしてください。

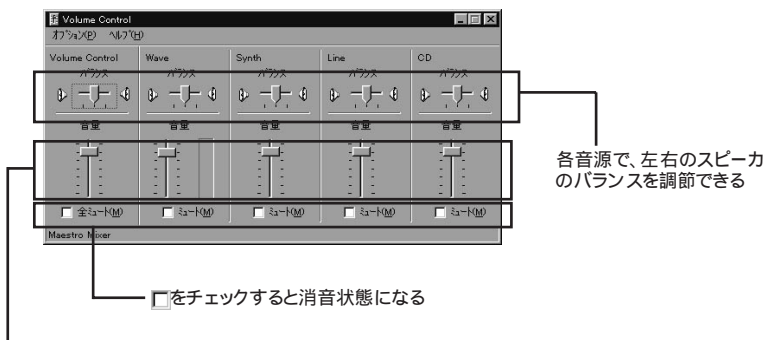
こんなときは通信可能距離が短くなってしまうことがあります。

- ・ 直射日光や蛍光灯の直下
- ・ 機器どうしが正しく向き合っていない
- ・ 他の赤外線通信機器やノイズを発生する機器の近くにある
- ・ 本機の赤外線通信ポートの指向性(約15度程度)の範囲を越えているとき

サウンド機能

ボリュームコントロールを使うと、内蔵音源の再生音量や録音時の入力レベルを調節することができます。

ボリュームコントロール画面を表示するには、「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」→「ボリュームコントロール」をクリックします。



つまみを上下すると、音量調節ができる

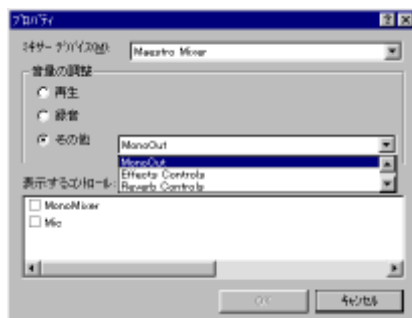
メニューバーの「オプション」→「プロパティ」で「プロパティ」ウィンドウを開き、「再生」「録音」「その他」のどれかを選択すると、表示項目を切り替えることができます。



表示できる項目と各項目の説明は次のようになります。

項目名	音量調整の種類		機能
	再生	録音	
Volume Control	○		スピーカから出力されるすべての音量を調整します。
Wave	○		WAVEデータなどのPCM音源の音量を調整します。
Synth	○		シンセサイザーの音量を調整します。
Line	○	○	LINE IN端子に接続した機器から入力される音をスピーカから出力するとき、または録音するときの音量を調整します。
C D	○	○	CDオーディオを再生または録音する音量を調整します。
Aux	○	○	本機では使用できません。
Video	○	○	本機では使用できません。
Microphone	○	○	マイクロホン端子から入力される音をスピーカから出力するとき、または録音するときの音量を調整します。
Monoin	○	○	Voiceモデムの音量を調整します。
IIS	○	○	ZVポートなどからの音量を調整します。
Mixer		○	スピーカから出力されるすべての音を録音するときの音量を調整します。

音量の調整で「その他」を選択すると、横にあるプルダウンメニューから次のような項目を選択できるようになります。



項 目	機 能	
MonoOut	通常は使用しません。	
Effects Controls	Reverb Level	リバーブ効果を調整します。
	Chorus Level	コーラス効果を調整します。
	3DSpreader	音の広がりを調整します。
	Treble Level	高音部を調整します。
	Bass Level	低音部を調整します。
Reverb Controls	Depth	リバーブ効果をさらに詳細に調整します。
	Delay	
Chorus Controls	Feedback	コーラス効果をさらに詳細に調整します。
	Frequency	
	Depth	
Voice Commands	通常は使用しません。	

周辺機器を使う

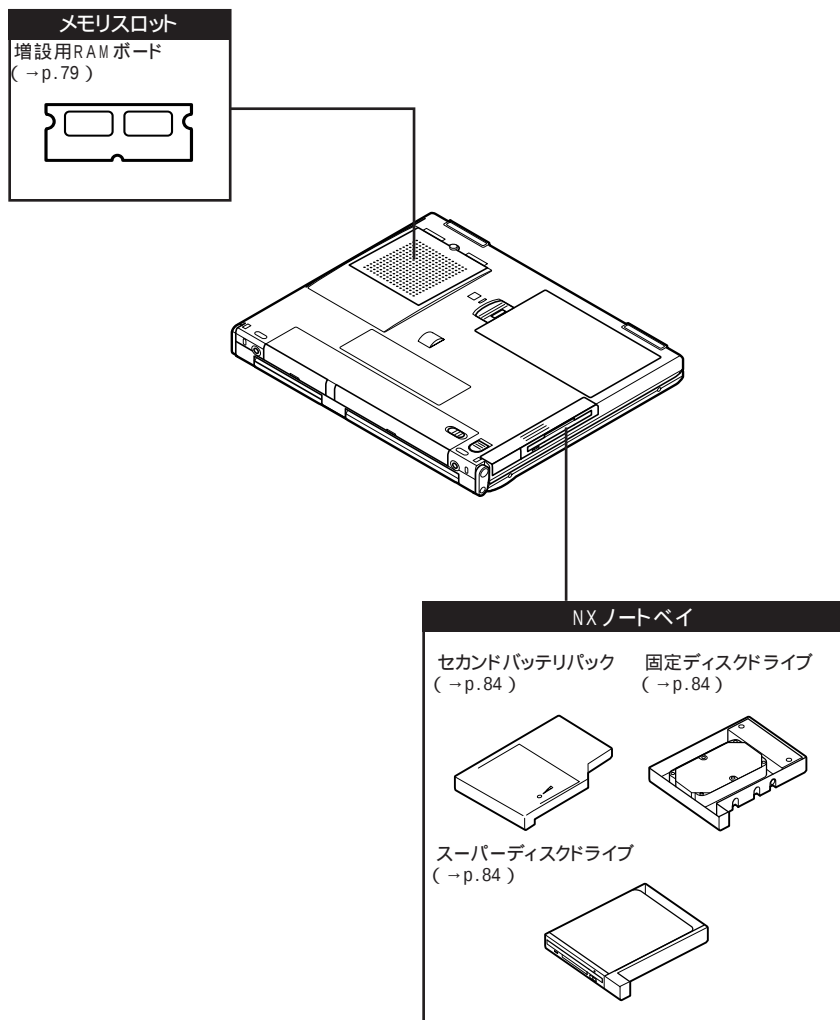
別売の周辺機器の接続方法や注意事項などを説明しています。

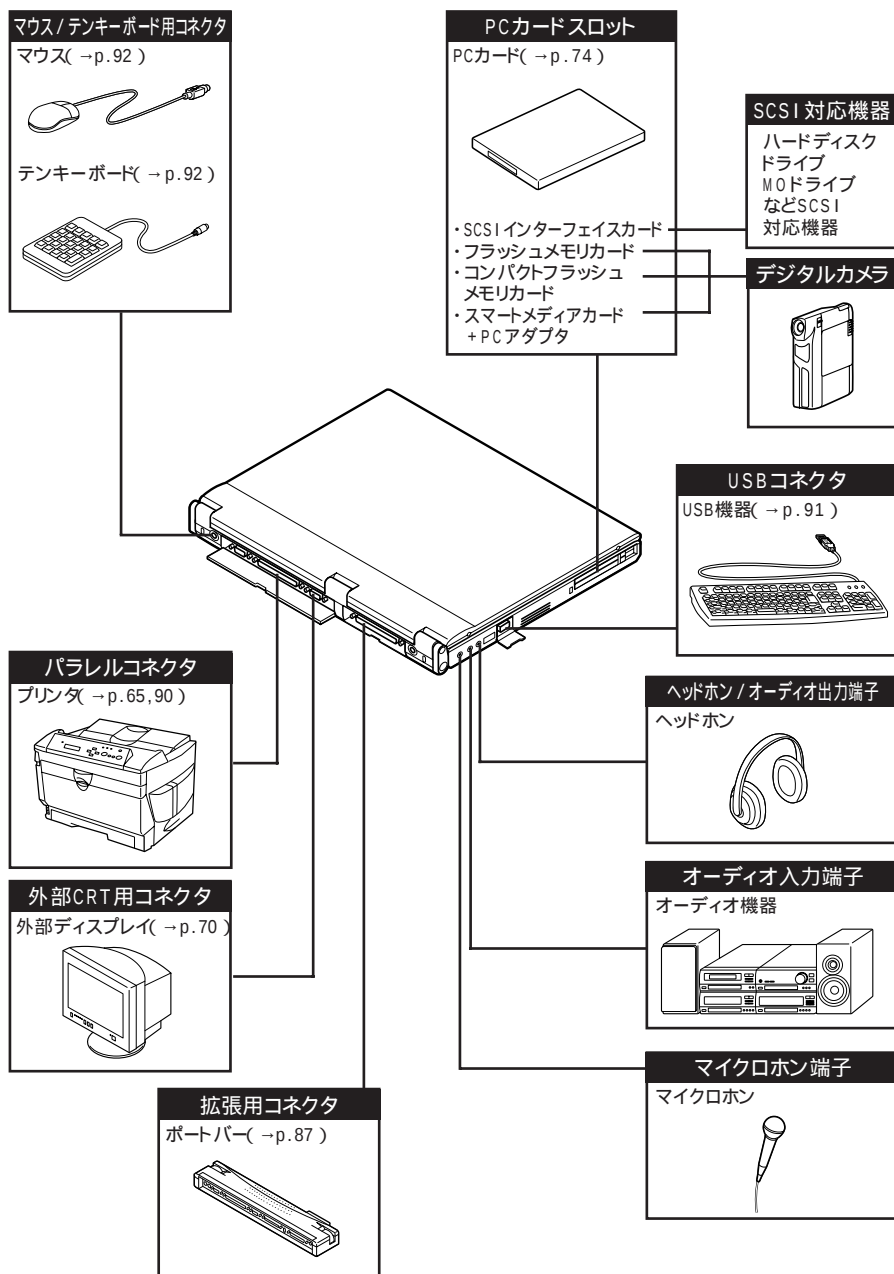
このPARTの内容

接続できる周辺機器
周辺機器を利用する
プリンタを使う
外部ディスプレイを使う
PCカードを使う
メモリ(RAM)の増設
NX ノートベイを使う
ポートバーを使う
その他の機器を使う

接続できる周辺機器

本機には、次のような別売の周辺機器を接続できます。





周辺機器を利用する

プリンタや外部ディスプレイなど、本機に接続して使用する機器全般を、周辺機器といいます。本機には、さまざまな周辺機器を接続するためのコネクタやポートが用意されています(→p.3)。

用語 ポート

周辺機器や外部のコンピュータと本機との間で信号(データ)をやり取りするための「窓口」となるのがポートです。やり取りする信号(データ)を船荷に例え、それらを積み降ろしする港(ポート)に例えてこの名前が付いています。Windows 95のCOM1ポートは本機のシリアルコネクタ(ポート)に、LPT1はパラレルコネクタ(ポート)にあたります。

周辺機器を利用するための知識

警告



感電注意

- 雷が鳴りだしたら、本機や電源コードに触れないでください。また、機器の接続や取り外しを行わないでください。落雷による感電のおそれがあります。

注意



感電注意

- 周辺機器の取り付け/取り外しをするときは、本機と周辺機器の電源を切り、電源コードを抜いてください。電源コードがACコンセントに接続されたまま、周辺機器の取り付け/取り外しをすると、感電の原因となります。
- 濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

周辺機器の取り付け/取り外し時の注意



チェック!!

- 本機がサスペンド状態やハイバネーション状態のときは、周辺機器を取り付けたり取り外したりしないでください。本機がサスペンド状態やハイバネーション状態のときは、本機を元の状態に戻し、データを保存してから電源を切り、周辺機器の取り付けや取り外しを行ってください。

- ・別売の周辺機器を取り付けるときには、その周辺機器が本機に対応していることを確認してください。また、周辺機器によっては使用上の制限事項がある場合がありますので、周辺機器の説明書などをよくお読みになり使用してください。当社製以外の周辺機器を使用する場合は、機器の製造元 / 発売元などに上記の事項を確認してください。
- ・周辺機器の取り付けや取り外しは、取扱説明書に従って正しく行ってください。
- ・周辺機器によっては、専用のケーブルが必要な場合があります。接続する前に確認のうえご用意ください。

周辺機器のドライバについて

周辺機器を使うには、本機と周辺機器の仲介をする「デバイスドライバ」と呼ばれる周辺機器専用のソフトウェアを、本機にセットアップする(組み込む)必要があります。

このセットアップは次の2つの場合があります。

- ・「プラグ&プレイ機能」対応の周辺機器の場合

機器を本機に接続してWindowsを起動すると自動的にドライバの設定が行われ、機器が使用可能な状態になります。

- ・「プラグ&プレイ機能」に対応していない周辺機器の場合

機器を本機に接続したあと、ドライバの設定が必要な場合があります。設定の詳細は、本機やドライバに添付のREADMEファイルや周辺機器のマニュアルをご覧ください。



チェック!!

ドライバが正しく組み込めなかった場合は、周辺機器が使用できないばかりか、本機の動作が不正になることがあります。その場合は、周辺機器のマニュアルに従って、再度ドライバを正しく組み込んでください。

READMEファイルは、「ワードパッド」というアプリケーションで簡単に見ることができます。

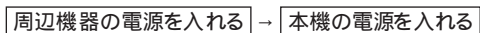
プラグ&プレイ(PnP)セットアップについて

本機にインストールされているWindows 95には、プラグ&プレイ機能用に多くの周辺機器のドライバがあらかじめ添付されています。接続しようとする周辺機器がプラグ&プレイ機能に対応しており、かつ添付されたドライバの中に該当するものがあれば、周辺機器の検出と設定が自動的に行われます。

電源を入れる / 切るときの順序

本機に周辺機器を接続しているときには、次の順番で電源を入れたり、切ったりするようにしてください。

電源を入れるとき

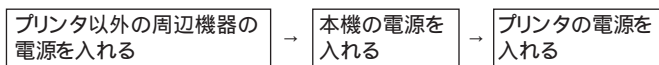


電源を切るとき



プリンタを接続しているときには次の順序で行ってください。

電源を入れるとき



電源を切るとき



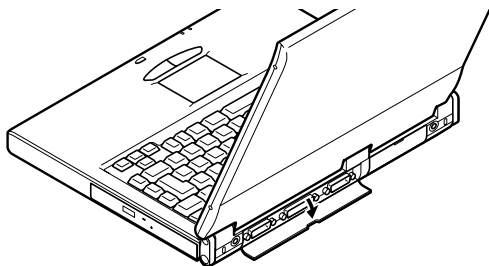
プリンタを使う

プリンタを使用するには、そのプリンタ機種に対応した専用のドライバが必要です。ドライバは通常フロッピーディスクなどの形でプリンタに添付されています。また、本機にも代表的なプリンタのドライバが数多く添付されています。

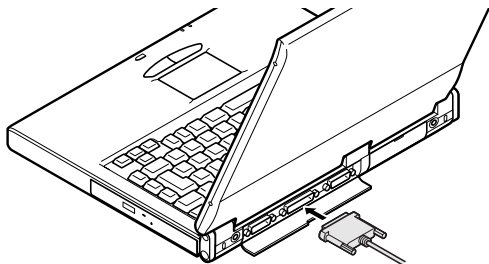
プリンタを接続する

本機とプリンタとを接続するには、25ピンパラレルインターフェイスに対応したプリンタケーブルが必要です。

- 1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」で本機の電源を切る
- 2 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタを本機から取り外す
- 3 本機背面のコネクタカバーを開ける



- 4 本機の平行コネクタにプリンタケーブルの小さいほうのコネクタを向き(上下)に注意して差し込む



5 プリンタケーブルの大きい方のコネクタをプリンタのコネクタに差し込む

接続についてはプリンタのマニュアルもご覧ください。

6 プリンタの電源ケーブルと本機の電源コードをACコンセントに接続する

プリンタの機種によっては、本機のUSBコネクタに接続できるものもあります。

プリンタを設定する

プリンタの設定は、使用するプリンタの機種ごとに、Windowsの「プリンタ」ウィンドウで行います。例えば、会社で使うプリンタと家庭で使うプリンタの機種が異なる場合は、それぞれの機種に対して設定を行う必要があります。

1 プリンタが正しく接続され、プリンタの電源がONになっていることを確認する

2 「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」をクリックする

「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

すでに設定済みのプリンタがある場合は、その機種のアイコンが表示されています。

3 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックする

「プリンタウィザード」ウィンドウが開きます。



- 4 「プリンタウィザード」ウィンドウの「次へ」ボタンをクリックする
「プリンタはどこに接続されていますか?」というメッセージが表示されます。
- 5 「ローカルプリンタ」を選択して「次へ」ボタンをクリックする
「使用するプリンタの製造元」と「使用するプリンタの機種(または互換性のある機種)」のリストが表示されます。
- 6 表示されたリストの中から、使用するプリンタの製造元とプリンタ機種(または互換性のある機種)を選択する



プリンタにインストールディスク/ドライバディスクが添付されている場合は、「ディスク使用」ボタンをクリックして、インストールディスクのデータをインストールします。

- 7 「次へ」ボタンをクリックすると、プリンタを使用できるポートのリストが表示されるので、LPT1を選ぶ



8 「次へ」ボタンをクリックし、表示された画面の「プリンタ名」欄に使用するプリンタの名前を付ける

この欄には手順6で選択したプリンタの機種名がプリンタ名として表示されるので、特に名前を付け直す必要がなければ、そのまましておきます。

このプリンタを通常使用するプリンタとして登録する場合は、下欄の「はい」をクリックしてください。

9 「次へ」ボタンをクリックすると、テスト印刷を行うかどうかを選択する画面が表示される

「はい(推奨)」を選択すると、テストページの印刷によってプリンタの接続や設定が正常に行われたかどうか確認することができます。この場合は、あらかじめプリンタのマニュアルに従って用紙などをセットしておいてください。



10 設定が終了したら「完了」ボタンをクリックする

もし、今までの設定を変更したい場合は、「戻る」ボタンをクリックして前の設定画面に戻り、設定をやり直します。

手順6でプリンタドライバをインストールしなかった場合やインストールが必要な場合は、ここで「ディスクの挿入」画面が表示されますので、プリンタのマニュアルをご覧になり、指定されたディスクをセットしてください。設定がすべて終了すると、設定したプリンタのアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されます。

ネットワーク上の共有プリンタを使うには

ネットワークに接続されているプリンタを使用する場合は、次のように設定します。設定するには、あらかじめプリンタのパスを調べておく必要があります。プリンタのパス名など、ネットワークプリンタについては、ネットワークの管理者にお問い合わせください。

1 「プリンタを設定する(→p.66)」の手順1～4を行う

2 「ネットワークプリンタ」をクリックして、「次へ」ボタンをクリックする
次の画面が表示される



3 ネットワークパス名を入力する
「参照」ボタンをクリックすると、ネットワークに接続されているプリンタが表示されるので、そこから選ぶこともできます。

4 「次へ」ボタンをクリックし、あとは画面の指示に従ってプリンタの設定を行う

外部ディスプレイを使う

本機にCRTディスプレイやプロジェクタを接続することができます。CRTディスプレイの大画面で作業したり、プロジェクタを使ったプレゼンテーションなどが可能になります。

CRTディスプレイを接続する

CRTディスプレイ接続時の解像度と表示色

市販のCRTディスプレイでは、次の解像度と表示色を表示できます。

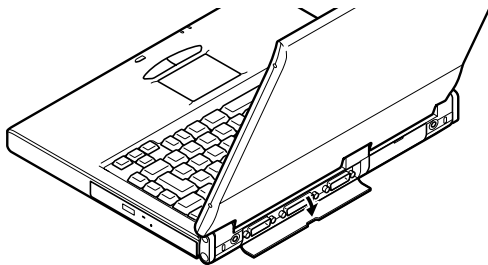
表示解像度 (ドット)	水平走査 周波数 (kHz)	垂直走査 周波数 (Hz)	表示色		
			256色	65,536色	1,677万色
640 × 480	31.5	60	○	○	○
	37.9	72	○	○	○
	37.5	75	○	○	○
	43.3	85	○	○	○
800 × 600	37.9	60	○	○	○
	46.9	75	○	○	○
	53.7	85	○	○	○
1,024 × 768	35.5	43	○*	○	-
	48.4	60	○	○	-
	56.5	70	○	○	-
	60.0	75	○	○	-
	68.7	85	○	○	-
1,280 × 1,024	46.9	43	○*	-	-
	64.0	60	○	-	-
	80.0	75	○	-	-
1,600 × 1,200	62.5	48	○*	-	-
	75.0	60	○	-	-

○ : 表示可能

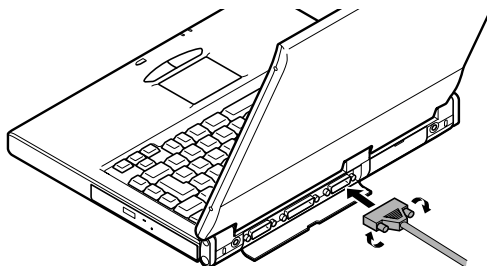
- : 表示不可能

* : インターレース表示

- 1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」で本機の電源を切る
- 2 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタを本機から取り外す
- 3 本機背面のコネクタカバーを開ける



- 4 ディスプレイ用ケーブルを本機のCRT用コネクタに差し込み、ネジを回して固定する



- 5 CRTディスプレイの電源ケーブルを、ディスプレイ背面の電源コネクタに差し込む
詳しくはCRTディスプレイのマニュアルをご覧ください。
- 6 CRTディスプレイの電源ケーブルのプラグをACコンセントに接続する
CRTディスプレイを接続した場合、本機はACアダプタでお使いください。

프로젝터를接続する

液晶 프로젝터と解像度について

別売の液晶 프로젝터를 사용하는場合は、接続する前に次の表を参考にして表示解像度などを確認してください。

表示解像度 (ドット)	走査周波数		프로젝터모델		
	水平 (kHz)	垂直 (Hz)	ViewLightX1020	ViewLight S820/MB800	ViewLight V620
640 × 480	31.5	60	○	○	○
	37.5	75	○	○	○
800 × 600	37.9	60	○	○	○ *
	46.9	75	○	○ *	○ *
1,024 × 768	48.4	60	○	○ *	○ *
	60.0	75	○	○	○ *
1,280 × 1,024	64.3	60	○ *	-	-
	80.0	75	○ *	-	-

○ : 表示可能。ただし、ユーザー調整が必要な場合があります。

* : 簡易表示です。なお、表示画素数はViewLight X1020は1,024 × 768ドット

外部ディスプレイの設定

表示ディスプレイの切り替え(ホットキー)

キーボードの【Fn】を押しながら【F3】を押すと、キー操作で簡単に画面の出力先の切り替えを行うことができます。



参照 ホットキー機能について →「キーボード」(→p.22)

ディスプレイに合わせて本機を設定する

別売のCRTディスプレイを使用したとき、表示されたメッセージが適切でなかったり、プラグ&プレイに対応していないディスプレイの場合には、次の操作を行ってください。

- 1** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする
「画面のプロパティ」が開きます。
- 2** 「ディスプレイの詳細」タブをクリックし、「詳細プロパティ」ボタンをクリックする
- 3** 「モニター」タブをクリックし、「変更」ボタンをクリックする
- 4** 「すべてのデバイスを表示」がある場合はクリックする
- 5** 表示した「デバイスの選択」ウィンドウで「製造元」と「モデル」を選択する
ディスプレイ一覧に、接続したディスプレイのモデルが表示されない場合は、「製造元」で「(スタンダードモニター)」、「モデル」では接続したディスプレイに対応した解像度を選んでください。
- 6** 「OK」ボタンをクリックし、「閉じる」ボタンをクリックする
- 7** 再び「OK」ボタンをクリックする
- 8** 画面のメッセージに従って、Windowsを再起動する
これでディスプレイの設定が完了しました。

PCカードを使う

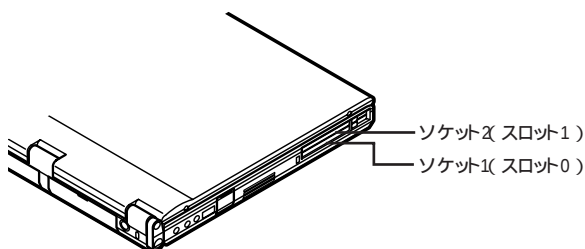
本機ではPC Card Standard準拠のPCカードを使用できます。PCカードを使うことで、本機の機能を拡張したり、さまざまな周辺機器を接続することができます。

用語 PCカード

PCカードとは、社団法人日本電子工業振興協会(JEIDA)とPCMCIAとの間で共同で標準化を進めているカードの名称のことです。PCカードにはさまざまな種類があり、用途も幅広く使われています。メモ리카ードやモデムカード、SCSI インターフェイス対応機器をつなげるためのSCSI カードなどがあり、ハードディスクとして使われるカードもあります。

PCカードスロットについて

- ・ TYPE IかTYPE IIのPCカードを上下のスロットに1枚ずつ2枚まで、または上下のスロットを合わせて1枚のTYPE IIIのPCカードを使用できます。
- ・ Card Bus対応のPCカードは両方のソケットのどちらでも使え、同時に両方のソケットで使うことができます。
- ・ ZVポート対応のPCカードはソケット1(スロット0)またはソケット2(スロット1)のどちらでも使えますが、同時に両方のソケットを使うことはできません。



PCカードの取り扱いについて

PCカードは精密にできています。PCカードやスロットの故障を防ぐため、次の点に注意してください。

- ・高温多湿あるいは低温の場所に放置しないでください。
- ・濡らさないでください。
- ・重いものを乗せたり、ねじ曲げたりなどしないでください。
- ・ぶつけたり、落としたりして衝撃を与えないでください。
- ・PCカードの端子部分に金属などを差し込まないでください。
- ・本機のPCカードスロットでは、PC Card Standardに準拠していないPCカードは使用できません。対応していないPCカードを無理に押し込むと、故障の原因となります。

PCカードのセットのし方と取り出し方

△注意



高温注意

- 本機の使用途中や使用直後はPCカードが熱くなっていますので、出し入れにご注意ください。

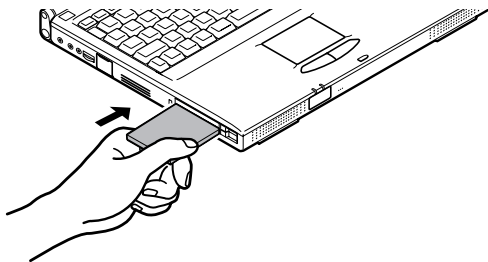


チェック!!

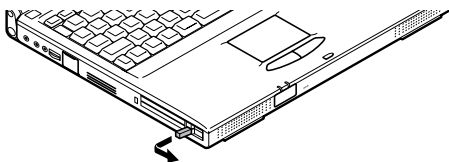
- ・PCカードには表と裏があり、スロットへ差し込む方向も決まっています。まちがった向きで無理やり差し込むと、コネクタやスロットを破損するおそれがあります。
- ・本機がサスペンド状態やハイバネーション状態のときは、PCカードをセットしたり、取り出したりしないでください。本機の機器構成が変更されると、データが消失してしまうことがあります。
- ・アプリケーションを使用中は、PCカードをセットしたり、取り出したりしないでください。

PCカードのセットのし方

- 1 PCカードの差し込む向きを確認し、ラベル面を上にして、水平に静かに差し込む



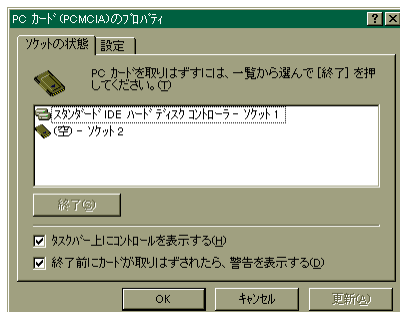
- 2 セットするとPCカードスロットのイジェクトボタンが少し飛び出すので、イジェクトボタンを手前に引き出してから右に倒す



✓チェック!! PCカードイジェクトボタンを完全に引き出さずに無理に倒そうとすると、破損の原因となります。

PCカードの取り出し方

- 1 タスクバーにあるPCカードのアイコンをダブルクリックする
「PCカード(PCMCIA)のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

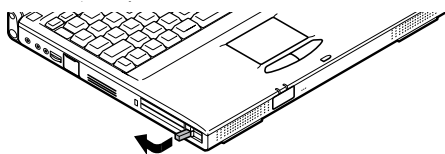


2 取り外したいPCカードをクリックする

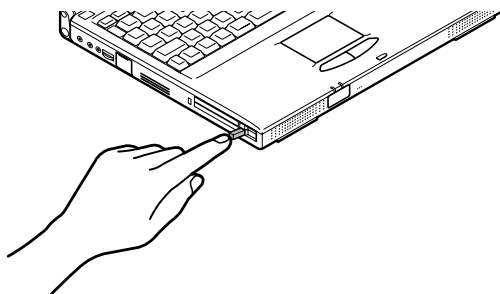
3 「終了」ボタンをクリックする
しばらくすると、「このデバイスは安全に取り外せます」と表示されます。

4 「OK」ボタンをクリックする

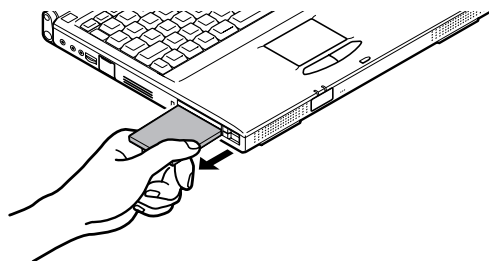
5 イジェクトボタンを図のように起こす



6 起こしたイジェクトボタンを押す



7 PCカードが少し出てくるので、水平に静かに引き抜く



PCカードの設定

PCカードを使用するときには、次のような設定が必要な場合があります。

割り込みレベルの設定

PCカードによっては、割り込みレベルの設定が本機の他の設定と重なる場合があります。PCカードのマニュアルと、このマニュアルのp.180をご覧になって、割り込みレベルが重なっていないか確認してください。割り込みが重なる場合は、重ならないように設定を変更してください。

メモリ(RAM)の増設

オプションの増設RAMボードを付加することで、より多くのアプリケーションを同時に立ち上げたり、大きなデータをより高速に扱うことができます。

本機に使用できる増設RAMボードは次のとおりです。

型名	メモリ容量
PK-UG-M012	32Mバイト
PK-UG-M013	64Mバイト
PK-UG-M014	128Mバイト

本機にはメモリスロットが2つあり、最大256Mバイトまでメモリを増設することができます。

メモリ容量を最大の256Mバイトに増設するときは、あらかじめ取り付けられているRAMボードを取り外して、別売のRAMボード(128Mバイト)を2枚取り付けてください。

増設RAMボードの取り付け方と取り外し方

⚠注意



- 増設RAMボードの取り付け / 取り外しをするときは、本体の電源を切ったあと、電源コードとバッテリーパックを取り外してください。電源コードやバッテリーパックが取り付けられたまま増設RAMボードの取り付け / 取り外しをすると、感電の原因となります。



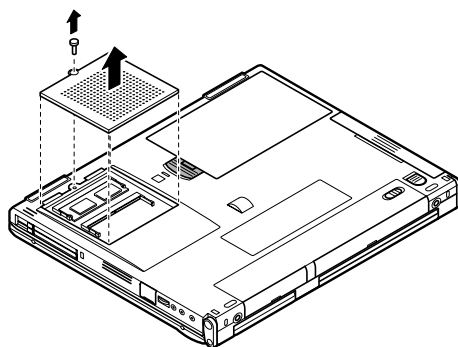
チェック!!

- 増設RAMボードは静電気に大変弱く、身体に静電気を帯びた状態で増設RAMボードを扱うと破損する原因となります。増設RAMボードに触れる前に、アルミサッシやドアのノブなど身近な金属に手を触れて、静電気を取り除いてください。
- 増設RAMボードのコネクタ部分には手を触れないでください。接触不良など、故障の原因となります。
- ボード上の部品やハンダ付け面には触れないよう注意してください。

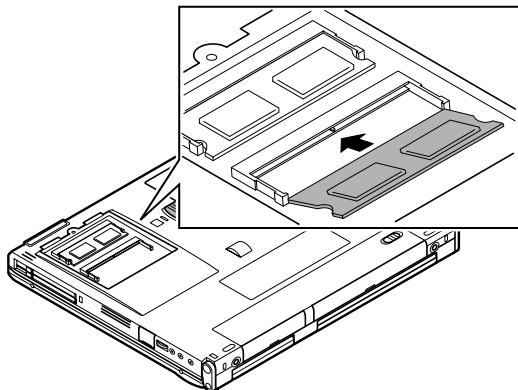
- ・増設RAMボードを間違った向きで無理に取り付けようとすると、本機のコネクタ部や増設RAMボードが故障する原因となります。取り付け方向に注意してください。
- ・本機にはメモリスロットが2つありますが、モデルによってはご購入時にあらかじめ両方のメモリスロットにRAMボードが実装済みになっていることがありますので、増設の際には手順にしたがってRAMボードを取り外してから別売のRAMボードを取り付けてください。

増設RAMボードの取り付け方

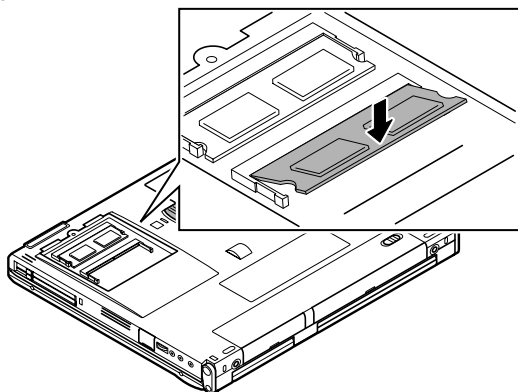
- 1** 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」で本機の電源を切る
- 2** 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタを本機から取り外す
- 3** 液晶ディスプレイを閉じて、本機を裏返す
- 4** バッテリーパックを本機から取り外す(→p.9)
- 5** メモリスロットカバーのネジをコインなどで回して取り外す



- 6** 増設RAMボードの切り欠き部分を本機コネクタの突起部に合わせ、本機コネクタに対して約30度の挿入角度で、増設RAMボードの端子が当たるまで挿入する
(実物はイラストと多少異なる場合があります)



- 7** カチッと音がする位置まで増設RAMボードを本機コネクタに強く倒し込む



- 8** 開いたカバーを元に戻し、本機底面に外したネジを取り付ける

- 9** バッテリーパックとACアダプタを取り付けます。

メモリ増設後は、「増設したメモリ(RAM)の確認」に従って、増設が正しく行われたかどうか確認してください。

チェック!! 増設RAMボードの取り付けや取り外しを行ったときは、ハイバネーション機能の再設定が必要です。(→p.16)

増設したメモリ(RAM)の確認

増設が正常に行われ、メモリが本機に認識されているかどうかを確認します。

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックする

2 表示された「システムのプロパティ」の「情報」タブで確認する

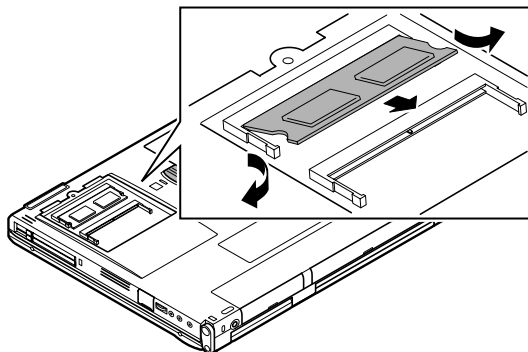
メモリ容量が増えていない場合は、次のことを確認してください。

- ・ 増設RAMボードが正しく取り付けられているか
- ・ 本機で使用できる増設RAMボードを取り付けているか

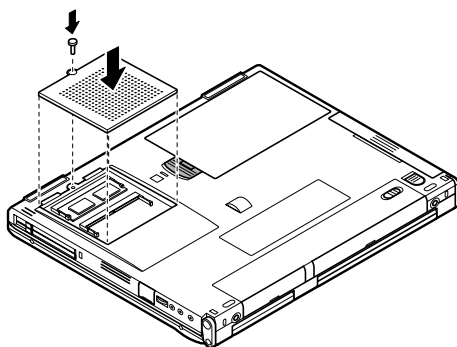
増設RAMボードの取り外し方

1 「増設RAMボードの取り付け方」の手順1～6に従って、本機のカバーを開く

2 コネクタの両端部分を左右に押し広げながら、増設RAMボードを斜めに引き抜く



3 開いたカバーを元に戻し、本機底面に外したネジを取り付ける



チェック!! 増設RAMボードの取り付けや取り外しを行ったときは、ハイバネーション機能の再設定が必要です。(→p.16)

NX ノートベイを使う

本機では、NX ノートベイに別売の機器を接続して使うことができます。

NX ノートベイに一度に接続できる機器は、1台限りです。すでにNX ノートベイに機器が接続されている場合、他の機器を接続するためには、NX ノートベイに接続されている機器を取り外す必要があります。

NX ノートベイで使える機器

本機のNX ノートベイには、次のような機器を接続して使うことができます。

- ・セカンドバッテリーパック(種類:リチウムイオンバッテリー)(PC-VP-WP08)
- ・固定ディスクドライブ(5GB)(PC-VP-WU01)
- ・スーパーディスクドライブ(PC-VP-WU02)

上記のほかにも、添付のフロッピーディスクドライブやCD-ROMドライブ、NX ノートベイカバーを取り付けることができます。

セカンドバッテリーパック(PC-VP-WP08)

本機に添付されているバッテリーパックに加えて、さらにNX ノートベイにバッテリーパックを接続すると、バッテリーでの駆動時間を長くすることができます。

参照 バッテリーの駆動時間や充電時間について →「機能一覧」(p.177,179)

固定ディスクドライブ(5GB)(PC-VP-WU01)

本機に内蔵されているハードディスクに加えて、さらにNX ノートベイにハードディスクを接続すると、ハードディスクの容量を増やすことができます。

スーパーディスクドライブ(PC-VP-WU02)

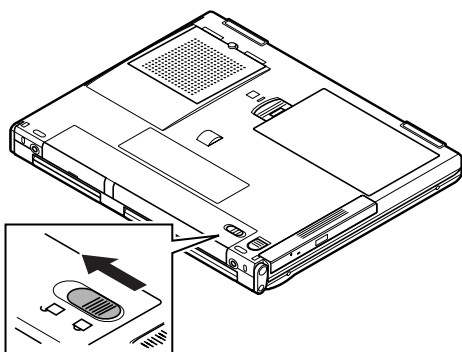
用語 スーパーディスク

スーパーディスクは、3.5インチフロッピーディスクと同等の外形ながら、120Mバイトの大記録容量を実現した磁気記録媒体です。また、従来のMS-DOS形式のフロッピーディスクでの書き込み/読み込み方式と互換性を持っています。また、スーパーディスクはフロッピーディスク以上の高速データ転送やアクセスが可能になっています。

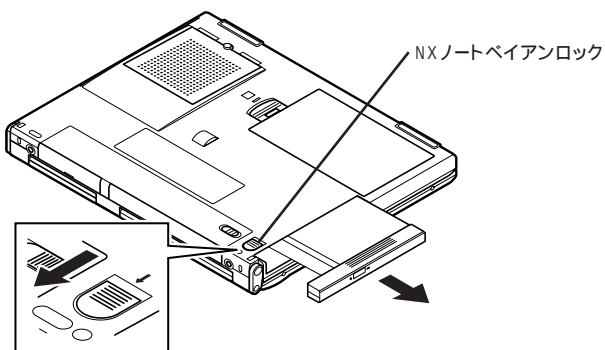
スーパーディスクドライブでは、スーパーディスクだけでなく、従来のフロッピーディスクも使用することができます。スーパーディスクドライブおよびスーパーディスクの取り扱いについては、スーパーディスクドライブおよびスーパーディスクに添付の説明書をご覧ください。

NX ノートベイから機器を取り外す

- 1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」で本機の電源を切る
- 2 液晶ディスプレイを閉じて、本機を裏返す
- 3 NX ノートベイ補助ロックを矢印の方向にスライドさせる

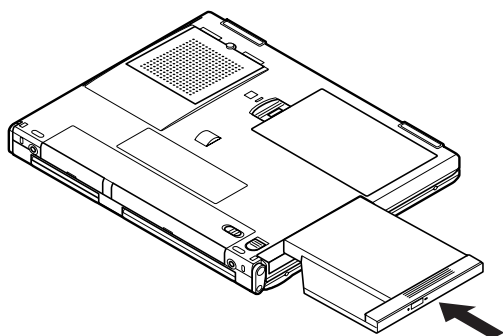


- 4 NX ノートベリアンロックを矢印の方向にスライドさせながら機器を引き抜く



NX ノートベイに機器を取り付ける

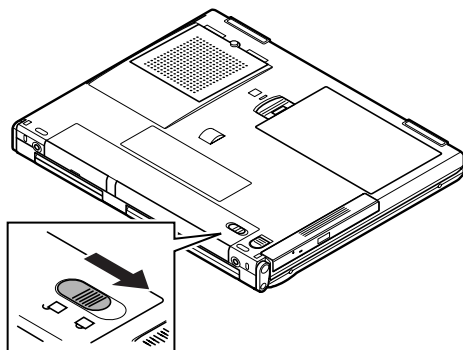
- 1 「NX ノートベイから機器を取り外す (→p.85) の手順で機器を取り外す
- 2 挿入する方向を確認して、NX ノートベイに機器を挿入する



- 3 カチッと音がするまで機器を押し込む

チェック!! 挿入する方向が間違っている場合は、うまく挿入できません。無理矢理に押し込むと、本体のコネクタや機器の故障の原因となります。

- 4 NX ノートベイ補助ロックを矢印の方向にスライドさせる



ポートバーを使う

別売のポートバー(PC-VP-TU01)を利用すると、本機を携帯して使用するときに毎回、接続してあるすべての周辺機器の取り付け/取り外しを行わなくても、ポートバーの取り付け/取り外しのみで済むので便利です。

ポートバーの取り付け方と取り外し方

⚠注意



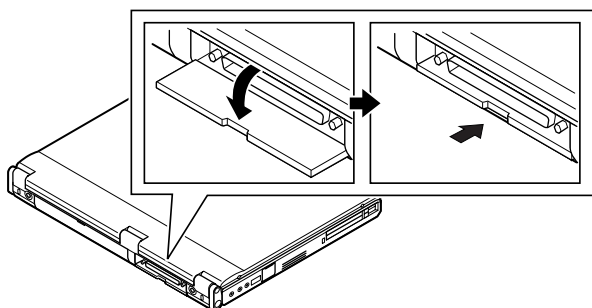
- ポートバーの取り付け/取り外しをするときは、本機の電源を切るか、スリープ状態にしてください。電源が入ったままポートバーの取り付け/取り外しをすると、感電の原因となります。

✓チェック!! ポートバーを接続するためのコネクタは、添付のフロッピーディスクドライブの専用FDD外付アダプタを接続するためのコネクタと同じです。ポートバーを使用しているときにフロッピーディスクドライブを利用したい場合は、ポートバーのフロッピーディスクドライブ用コネクタを使用してください。

ポートバーの取り付け方

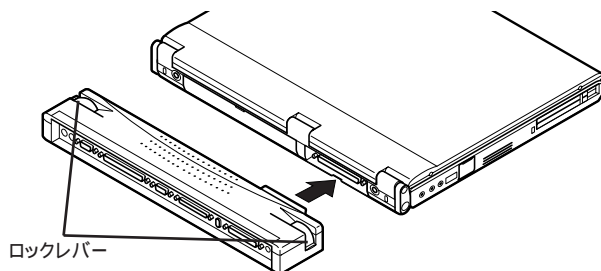
- 1** 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」で本機の電源を切る
- 2** 電源コードのプラグをACコンセントから抜いてから、ACアダプタを本機から取り外す
- 3** 拡張用コネクタに専用FDD外付アダプタが接続されている場合は取り外す

4 拡張用コネクタのフタを開け、収納する

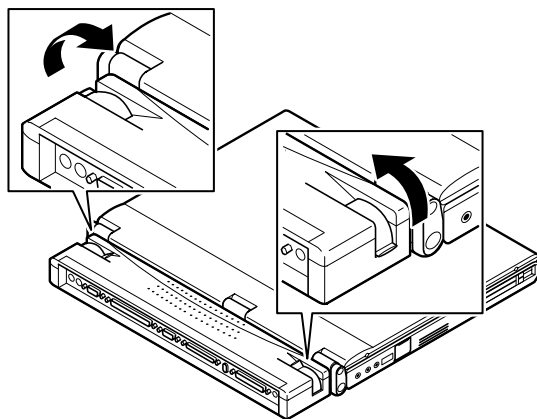


5 ポートバーをコネクタの向きに注意して、本体の拡張用コネクタに取り付ける

このときに、ロックレバーが図の位置(外側)にあることを確認してください。



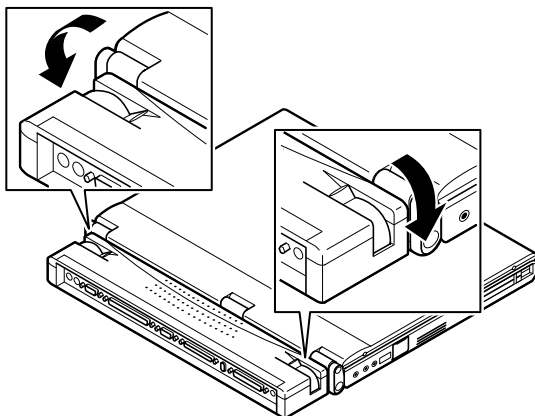
6 ポートバーの両端にあるロックレバーを図のように内側に倒す



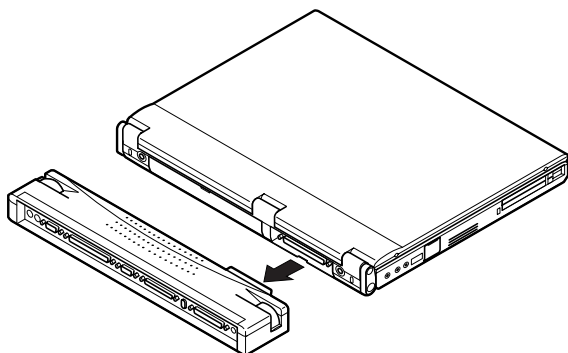
7 ACアダプタを取り付ける

ポートバーの取り外し方

- 1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」で本機の電源を切る
- 2 ポートバーの両端にあるロックレバーを図のように外側に倒す



- 3 ポートバーを本体の拡張用コネクタから取り外す



その他の機器を使う

本機では、次のような別売の機器を使用することができます。

種類	機器
オーディオ機器	ヘッドホン、マイクロホン、オーディオ装置など
入力装置	マウス、外付けキーボード、テンキーボード、デジタルカメラ、イメージスキャナなど
通信機器	外付けモデム、ターミナルアダプタなど

本機のどのコネクタに機器を接続するかは、機器が使用しているインターフェイスによって異なります。また、機器によってインターフェイスが決まっている訳ではありません。詳しくは、各機器のマニュアルをご覧ください。

シリアルコネクタ

シリアル対応機器を接続するためのコネクタです。一般的なコンピュータ用語ではこれをシリアルポートと呼び、WindowsではCOM1やCOM2の名称で呼ばれています。

パラレルコネクタ

別売のプリンタを取り付けるためのコネクタです。
パラレル対応機器であればプリンタ以外の機器も接続することができます。
なお、WindowsではプリンタポートまたはLPT1と呼んでいます。

 **チェック!!** 本機がサスペンド状態やハイバネーション状態のときは、シリアルコネクタ、パラレルコネクタに機器の取り付け / 取り外しをしないでください。本機の機器構成が変更されると、データが消失してしまうことがあります。

USBコネクタ

USB対応機器を取り付けるためのコネクタです。

USBとはUniversal Serial Busの略称で、シリアルポートよりはるかに高速なデータ転送が可能なインターフェイスです。

USB対応機器は、コネクタの形状が統一されており、127台までの機器を接続することができます。また、電源を切らずにプラグの抜き差しが可能で、プラグ&プレイ機能にも対応しています。

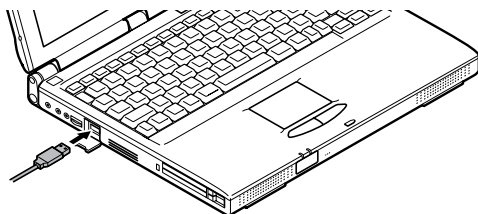
- ✓ **チェック!!**
- ・コントロールパネルの「システム」アイコンをダブルクリックして表示される「デバイスマネージャ」の画面にある「ユニバーサルシリアルコントローラ」の記述は削除しないでください。
 - ・USBコネクタは、すばやく差したり斜めに差したりすると信号が読みとれず、不明なデバイスとして認識されることがありますので、その場合はUSBコネクタを本体から抜いて、もう一度正しく接続し、アプリケーションを再起動してください。
 - ・本機がサスペンド状態やハイバネーション状態のときは、USBコネクタに機器の取り付け / 取り外しをしないでください。本機の機器構成が変更されると、データが消失してしまうことがあります。

別売の外付けキーボード(PK-KB001またはPK-KB002)の接続

別売の外付けキーボードは、USBコネクタに取り付けます。別売の外付けキーボードには、マウス用コネクタが用意されており、別売のマウスを取り付けることができます。

- ✓ **チェック!!**
- Windows 95のSafeモードやMS-DOSモードで起動したときは、外付けのキーボードを使うことはできません。

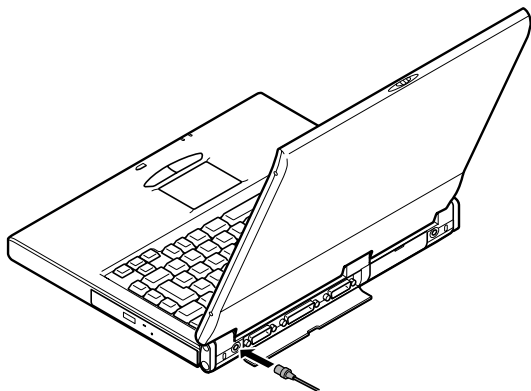
外付けキーボードの設定は、本機のキーボードと同じように、Windowsで設定することができます。



マウス / テンキーボード用コネクタ

別売のマウスやテンキーボードなどのPS/2タイプのオプションを取り付けるためのコネクタです。

✓チェック!! マウスやテンキーボードを接続するときは、必ず本機の電源を切ってから接続してください。



マウスとテンキーボードの両方を同時に接続したいときは、別売のYアダプタ PK-KB012 を使ってください。

システムの設定

セキュリティや省電力など、本機の使用環境を設定できるBIOSセットアップユーティリティの使い方について説明しています。

このPARTの内容

BIOSセットアップユーティリティ

BIOSセットアップユーティリティ

BIOSセットアップユーティリティは、セキュリティ、省電力、周辺機器など本機の使用環境を設定することができます。

BIOSセットアップユーティリティで設定できること

- ・ セキュリティ
パスワード、I/Oロックの設定
- ・ デバイス
通信、ポート、システムデバイスなどの設定
- ・ 省電力
パワーマネージメント、スリープ、レジュームなどの設定
- ・ 起動
起動デバイスの起動優先順位の設定



チェック!!

- ・ BIOSセットアップユーティリティの設定を初期化する場合は、本機の電源を入れた直後に表示される「NEC」のロゴ画面で【F2】を押します。キーの説明が表示されたら【F9】を押して「F9: 全ての設定値を出荷時の状態にして元に戻る」を選択します。なお、セットアップ起動時の「スーパーバイザーパスワード」「ユーザーパスワード」の設定は、初期化を実行しても解除されません。
- ・ BIOSセットアップユーティリティを使用中に「BIOS設定情報が不正です」と表示された場合は、BIOSセットアップユーティリティの設定を上記の手順で初期化してから、もう一度「BIOSセットアップユーティリティ」で設定を変更してください。
- ・ 「スーパーバイザーパスワード」「ユーザーパスワード」が設定されている場合、BIOSセットアップユーティリティ起動時にパスワード入力が必要になります。

BIOSセットアップユーティリティを使う

BIOSセットアップユーティリティを起動する

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「BIOSセットアップユーティリティ」を選ぶ
「BIOSセットアップユーティリティ」が起動します。

設定画面を表示する

アイコンを操作して表示する場合

- 1 アイコンをポイントする
項目名が表示されます。
- 2 項目名をクリックする
各項目の設定画面が表示されます。

メニューから表示する場合

- 1 「セットアップ」メニューから項目を選ぶ
各項目の設定画面が表示されます。

設定を変更する

- 1 設定画面が表示されたら、各項目の設定を変更する
設定を変更すると、変更した項目名やタブ名称、アイコンの右側に、
“ * ”のマークが表示されます。
また、変更する設定によっては、関連する他の項目の設定も自動的に
変更されることがあります。その場合は、関連する項目の項目名、タブ
名称、アイコンにも“ * ”のマークが表示されます。

参照 各項目の設定について→このPARTの「設定項目一覧」(→p.96)

- 2 変更したい項目すべて変更したら「ファイル」メニューをクリックして「設定の保存」または「アプリケーションの終了」をクリックする
設定を有効にするために再起動が必要な場合は、「システムを再起動しますか？」とメッセージが表示されますので、すぐに再起動する場合は「はい」ボタンをクリックしてください。

チェック!! BIOSセットアップユーティリティで設定した内容は、青色で表示されている項目を除き、本機を再起動したあと有効になります。

各設定項目に関する詳しい説明は、説明ウインドウをご覧ください。

BIOSのレビジョンを調べるには

- 1 「ヘルプ」メニューをクリックし、「バージョン情報」をクリックする
「BIOSレビジョンXXXXXXXX」と、現在お使いになっているコンピュータのBIOSレビジョンが表示されます。

省電力設定ファイル

使用する環境ごとに省電力の設定を変更する場合、省電力設定ファイルを利用します。

省電力設定ファイルを利用するときは、次の操作を行います。

- 1 「ファイル」メニューの「省電力設定ファイルの作成」をクリックし、省電力設定ファイルプロファイルを作成する
- 2 省電力設定ファイルの名称を付けて登録する
現在の省電力設定の情報を省電力設定ファイルに保存します。
- 3 保存した省電力設定ファイルを使用する場合、「ファイル」メニューの「省電力設定ファイルの読み込み」をクリックして省電力設定ファイルを読み込む
- 4 読み込んだ設定で問題ない場合、「ファイル」メニューの「設定保存」をクリックする
読み込んだ省電力設定の情報が反映されます。ただし、省電力の黒色で表示されている項目が変更された場合は、本機を再起動したあと有効になります。

設定項目一覧

 **チェック!!** 各アイコンで設定できる項目は次のとおりです。  はご購入時の設定です。



セキュリティ(セットアップ - セキュリティ)

 **チェック!!** スーパーバイザーパスワードが設定してあるときに、ユーザーパスワードで起動すると、表中に()マークのついている項目は変更できなくなります。

パスワード

項目名	選択肢	備考
ユーザーパスワード	設定値：0～9、 a～z、 A～Z	ユーザーパスワードを設定します。スーパーバイザーパスワードが設定されていないときは設定できません。
スーパーバイザーパスワード ()	設定値：0～9、 a～z、 A～Z	スーパーバイザーパスワードを設定します。
パスワード確認タイミング ()	セットアップ起動時 / システム・セットアップ起動時	起動時にパスワードを確認するかどうかを設定します。スーパーバイザーパスワードが設定されていないときは使用できません。

・パスワードに使用できる文字

半角英字	A～Z(a～zはA～Zと同じ)
半角数字	0～9
字数	6文字以内

・パスワードの設定方法

「設定」ボタンをクリックすると、パスワードを設定する画面が表示されます。「新しいパスワード」に設定したいパスワードを入力し、確認のため「新しいパスワードの確認入力」にもう一度同じように入力します（入力した文字は*で表示されます）。

・パスワードの変更方法

「設定」ボタンをクリックすると、パスワードを設定する画面が表示されます。「古いパスワード」に現在設定されているパスワードを入力し、「新しいパスワード」に新しいパスワードを入力します。確認のため、「新しいパスワードの確認入力」にもう一度同じように入力します。

・パスワードの取り消し方法

「設定」ボタンをクリックすると、パスワードを設定する画面が表示されます。「古いパスワード」に現在設定されているパスワードを入力し、「新しいパスワード」のボックスにカーソルを合わせてから【Enter】を押します。



チェック!! スーパーバイザーパスワードを設定せずにユーザーパスワードのみを設定することはできません。

I/Oロック

項目名	選択肢	備考
FDDインターフェース	ロックする / ロックしない	FDDインターフェースをロックするかどうかを設定します。
シリアルポート(A)	ロックする / ロックしない	シリアルポート(A)をロックするかどうかを設定します。
赤外線ポート	ロックする / ロックしない	赤外線ポートをロックするかどうかを設定します。
パラレルポート	ロックする / ロックしない	パラレルポートをロックするかどうかを設定します。



通信(セットアップ - デバイス - 通信)

シリアルポート(A)

項目名	選択肢	備考
設定方法	使用しない / 手動設定 / 自動設定	3つの選択肢から1つを選択します。「手動設定」を選択した場合のみCOM番号の設定が必要です。
COM番号	COM1(IRQ4)/COM2(IRQ3)/COM3(IRQ4)/COM4(IRQ3)	COM番号を設定します。

お使いの環境によっては、割り込みが上記以外の設定に変更されることがあります。

赤外線ポート

項目名	選択肢	備考
設定方法	自動設定 / 使用しない / 手動設定	3つの選択肢から1つを選択します。「手動設定」を選択した場合のみCOM番号の設定が必要です。
COM番号	COM2(IRQ3)/COM3(IRQ4)/COM4(IRQ3)	COM番号を設定します。

お使いの環境によっては、割り込みが上記以外の設定に変更されることがあります。



パラレルポート(セットアップ - デバイス - パラレルポート)

パラレルポート

項目名	選択肢	備考
設定方法	使用しない / 手動設定 / 自動設定	3つの選択肢から1つを選択します。「手動設定」を選択した場合のみ詳細設定が必要です。
LPT番号	LPT1 / LPT2	LPTの番号を指定します。
モード	ECP / EPP / 双方向 / 出力のみ	出力モードを指定します。



キーボード(セットアップ - デバイス - キーボード)

キーボード

項目名	選択肢	備考
起動時のNum Lock	使用しない / 使用する / 自動設定	起動時にNum Lockするかどうかを設定します。「自動設定」を選択した場合、外付けテンキーボードが接続されているときのみ、外付けテンキーボードがNum Lockされます。



ポインティングデバイス(セットアップ - デバイス - ポインティングデバイス)

ポインティングデバイス

項目名	選択肢	備考
N X パッドインターフェース	使用しない / 使用する	外付のマウスを接続している場合に、内蔵のNXパッドを使用するかどうかを設定します。



システムデバイス(セットアップ - デバイス - システムデバイス)

日付と時刻

項目名	選択肢	備考
時刻設定	-	時刻を設定します。
日付設定	-	日付を設定します。

メモリ

項目名	選択肢	備考
総メモリ容量(KB)	-	総メモリ容量を確認 できます。

 省電力(セットアップ - 省電力)

パワーマネージメント

項目名	選択肢	備考
パワーマネージメント	使用しない / 使用する	省電力(パワーマネージメント)機能を使用するかしないかを設定します。「使用する」を選択したときのみ以降の設定が可能になります。
設定方法	ユーザー設定 / 動作時間優先 / 動作性能優先	パワーマネージメントを選択します。「ユーザー設定」を選択した場合のみ、以降の項目を設定します。その他は自動設定されます。
スタンバイモード制御 / 開始時間 2	使用しない / 使用する → スタンバイモード開始時間: 1分/2分/4分/6分/8分/10分/15分	「使用する」を選択した場合、開始時間を設定します。コンピュータが動作しない状態になってから設定した時間が経過すると、自動的にスタンバイモードになります。
自動スリープ制御 / 開始時間 1	使用しない / 使用する → 自動スリープ開始時間: 5分/10分/15分/20分/25分/30分 2	「使用する」を選択した場合、開始時間を設定します。コンピュータが動作しない状態になってから設定した時間が経過すると自動的にサスペンド、またはハイバネーションします。
HDD モータ制御 / 開始時間	使用しない / 使用する → HDD モータ制御開始時間: 5秒/30秒/45秒/1分/2分/4分/6分/8分/10分/15分	「使用する」を選択した場合、開始時間を設定します。ハードディスクのアクセスがなくなり、設定した時間が経過すると、ハードディスクのモータを停止します。

1 本ユーティリティでスタンバイモード制御、自動スリープ制御を使用する場合、次の点に注意してください。

- ・スタンバイモード制御
キー入力やハードディスクアクセス、フロッピーディスクアクセスが指定の時間行われなかった場合、自動的にスタンバイモードに移行します。
 - ・自動スリープ制御
スタンバイモード制御と同様ですが、スタンバイモード制御開始時間が設定されている場合は、スタンバイモード制御開始時間に設定した時間を経過したあと、スタンバイモードに移行し、さらに自動スリープ制御開始時間にて指定した時間が経過すると、自動的にスリープモードに移行します。
- 2 ハードディスクアクセスなどにより、スリープするまでの時間が自動スリープ制御開始時間に指定した値より遅れる場合があります。

画面制御 / 開始時間	使用しない / 使用する → 画面制御開始時間: 30秒/45秒/1分/2分/4分/ 6分/8分/10分/15分	「使用する」を選択した場合、開始時間を設定します。コンピュータが動作しない状態になってから設定した時間が経過すると、画面表示を停止します。
オーディオ制御	使用しない / 使用する	「使用する」を選択した場合、数秒後にオーディオ制御を開始します。
周辺機器インターフェース制御	使用しない / 使用する	省電力モードに応じて周辺機器への電源供給を制御するかどうかを設定します。
CPUスピード	100% / 50% / 25% / 12.50%	CPUスピードの設定を行います。

パワーセーブ

項目名	選択肢	備考
バックライト制御	最大光量 / 通常光量 / 自動認識 / ホットキー設定	バックライトの明るさを設定します。
AC電源時のパワーマネージメント	使用しない / 使用する	AC電源時にパワーマネージメントを有効にするか無効にするかを設定します。

「ホットキー設定」に設定し、システム起動したあとに、ホットキーで設定した明るさが保持されます。

スリープ

項目名	選択肢	備考
モード設定	サスペンド / ハイバネーション	サスペンドするか、ハイバネーションするかを選択します。
電源スイッチの設定 1	パワーオフ / スリープ	電源スイッチを電源のオン/オフとして使用するか、スリープ/レジュームとして使用するかを設定します。
LCD連動スリープ 2	使用しない / 使用する	LCD(液晶ディスプレイ)を閉じることでサスペンドまたはハイバネーションするかどうかを設定します。

- 1 「スリープ」を選択した場合でもコンピュータの電源が切れている時は、電源スイッチを入れることができます。
- 2 「BIOSセットアップユーティリティ」ウィンドウのLCD運動スリープの説明で、「LCD閉閉によるサスペンド / レジュームまたはハイバネーションを使用するかどうかを設定します。」と表示されますが、本機では液晶ディスプレイを開くことでレジュームすることはできません。

レジューム

項目名	選択肢	備考
モデム受信でレジューム 1	使用しない / 使用する	モデム経由でFAXなどの受信があった場合、レジュームするかどうかを設定します。 2
時刻指定でレジューム設定 / レジューム時刻	使用しない / 使用する →「レジューム時刻」	指定した時刻にレジュームするかどうかを設定します。使用する場合はその時刻を入力します。

- 1 FAXモデム内蔵モデルでのみ、この機能が有効になります。
- 2 モデム受信のレジュームを使用する場合は、Windows 95の「電源のプロパティ」の「電話が鳴ったらコンピュータを元の状態に戻す」を設定する前に設定してください。



システムディスクの起動順位(セットアップ - 起動)

項目名	選択肢	備考
起動順位	ハードディスク / フロッピーディスク / CD-ROM / ネットワーク 1 / スーパーディスク 2 3	システムを起動するディスク装置の順番を指定します。起動順位の最上位に指定したディスク装置から順番に起動されます。

- 1 本機では、ネットワークからの起動はサポートしていません。起動順位を指定しないでください。
- 2 既定値では、フロッピーディスク→ハードディスク→CD-ROMの順に設定されています。
- 3 スーパーディスクから起動する場合は、別途スーパーディスクドライブ(PC-VP-WU02)が必要となります。

添付アプリケーションの 削除と追加

本機に添付のアプリケーションを使うとどんなことができるか、また、それらを本機から削除したり、追加したりする方法を説明しています。

このPARTの内容

添付アプリケーションの紹介
アプリケーションの削除と追加
インターネットエクスプローラ
インターネットエクスプローラ関連プログラム
Outlook Express(Mail&News)
Microsoft NetMeeting
モバイルメール
VirusScan for Windows 95
IntelliSync97
NEC Soft MPEG1.0
プレーヤ-NX
CyberTrio-NX
CyberWarner-NX
英語モードフォントを利用する



添付アプリケーションの紹介

添付されている主なアプリケーションと本章の構成について説明します。

知っておきたい便利な機能とツール

機能	アプリケーション
● インターネットを利用する 電子メールを送受信する	インターネットエクスプローラ Outlook Express モバイルメール
● コンピュータウィルスを検出して除去する	VirusScan for Windows 95
● 赤外線 / シリアルケーブル接続で ファイルをシンク(同期)させる	IntelliSync97
● MPEG ファイルの再生を可能にする	NEC Soft MPEG1.0
● オーディオCD、ビデオCDなどを再生する	プレーヤ-NX
● 使用者のレベルに合わせて、OSの 操作可能な範囲を設定する	CyberTrio-NX
● OSが必要とするファイルを保護する	CyberWarner-NX
● 海外製アプリケーションの文字表示を 正しくする	英語モードフォント

このPARTの構成について

アプリケーションの起動、追加、削除の仕方について、アプリケーションごとに説明しています。アプリケーションによっては、ヘルプに詳しい説明がのっているものもあります。

- ・アプリケーションの起動方法
- ・アプリケーションの削除方法
- ・アプリケーションの追加方法

下記のアプリケーションについては、使い方も説明しています。

- ・IntelliSync97

 **チェック!!** アプリケーションをご購入時にインストールされていない場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」から本機にアプリケーションをインストールする必要があります。その場合は、はじめにアプリケーションの追加方法をお読みください。

ヘルプについて

各アプリケーションにはオンラインヘルプがついています。

操作方法や機能などがわからないときにご覧ください。

ヘルプを起動するには、各アプリケーションのメニューバーの「ヘルプ」をクリックします。

アプリケーションの削除と追加

アプリケーションの削除と追加に関する注意事項を説明します。

削除について

本機に標準でインストールされているアプリケーションの削除の手順を説明します。

- ✓チェック!!**
- ・アプリケーションを削除する場合は、ご利用にならないことをよくご確認のうえ、削除してください。
 - ・ご自分でインストールされたアプリケーションの削除については、そのアプリケーションに添付されたマニュアルをご覧ください。
 - ・ハードディスクの空き容量を増やしたい場合は、不要なアプリケーションを削除することによって空き容量を増やすことができます。
 - ・一部のアプリケーションでは、「削除の準備」を行ってから削除します。
 - ・アイコンを削除する場合は、「アイコン削除の準備」(→ p.109)を行ってから削除します。
 - ・CD-ROMを使用して削除した場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。

削除の準備

コントロールパネルを使って削除する場合は、次の手順を行ってください。
CD-ROMを使用する場合と、アプリケーションのアンインストール機能を使う場合は必要ありません。

- 1** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。

- 2** 「セットアップと削除」を選択する



チェック!!

- ・削除したとき、アプリケーションによってはフォルダやデスクトップ、スタートメニューにショートカットが残る場合があります。その状態でも、本機を操作する上では支障ありません。
- ・アイコンを削除するには、各アプリケーションの削除方法に従って操作してください。
- ・アプリケーションによっては、削除中に「共有ファイルを削除しますか?」「共有コンポーネント」などのウィンドウが表示される場合があります。このようなウィンドウは、インストールされているアプリケーションが共通で使用していると思われるファイルを削除しようとしたときに表示されます。このようなウィンドウが表示された場合は、「すべていいえ」や「すべて残す」などを選んで、ファイルを削除しないようにしてください。

アイコン削除の準備

アプリケーションを削除した後、デスクトップに残ったアイコンを削除する場合は、アイコンを削除する前に、次の手順を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリックする
- 2 「表示」メニュー→「フォルダオプション」をクリックする
- 3 「表示」タブの「詳細設定」の「ファイルの表示」で「すべてのファイルを表示」を選択する
- 4 「OK」ボタンをクリックする
その後、各アプリケーションの削除方法でアイコンを削除します。

追加について

次のような場合に、本機にアプリケーションを追加する方法を説明しています。

- ・添付のCD-ROMに入っているアプリケーションを本機に追加する場合
- ・本機に標準でインストールされているアプリケーション、または添付のCD-ROMから追加したアプリケーションを削除した後、再追加する場合

CD-ROMを使用して追加した場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。

一部のアプリケーションでは、次の「プロダクトの選択」(→ p. 110)を行ってから再追加します。

プロダクトの選択

添付の「アプリケーションCD-ROM」を使用して追加する場合は、次の手順を行ってください。

各アプリケーションのCD-ROMを使用する場合は必要ありません。

- 1** 本機のCD-ROMドライブに、添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする
- 3** 「セットアップと削除」タブを選択する
- 4** 「セットアップ」ボタンをクリックし、「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのセットアップ」を起動する
- 5** 「次へ」をクリックする
- 6** 「セットアッププログラムの実行」の「セットアッププログラムのコマンドライン」に「<CD-ROMドライブ名>:¥NSETUP.EXE」と入力する

例 CD-ROMドライブ名がQの場合
 Q: ¥NSETUP.EXE

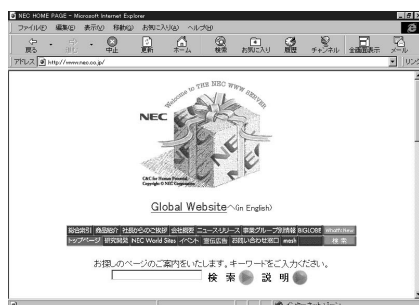
- 7** 「完了」をクリックする
「プロダクトの選択」が表示されます。

インターネットエクスプローラ

インターネット上のホームページを見るための「ブラウザ」と呼ばれるアプリケーションです。

起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の「Internet Explorer」をクリックする



削除

- 1 インターネットエクスプローラを削除する前に、ごみ箱に入っているファイルを削除してもよいか確認する
デスクトップ上の「ごみ箱」を開いて、保存したいファイルがあれば別の場所へ移動してください。
- 2 「削除の準備（→ p.108）の手順1～2を行う
- 3 「セットアップと削除」の画面の一覧から「Microsoft Internet Explorer 4.0」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 4 「Internet Explorer 4.0アクティブセットアップ」で「Internet Explorer 4.0とそのすべてのコンポーネントをアンインストールする」をチェックし、「詳細」ボタンをクリックする

- 5** 「Internet Explorer 4.0アクティブセットアップ」で「Internet Explorer 4.0と次のコンポーネントをアンインストールする」をチェックし、続けて次のすべてのコンポーネントにチェックマークを付け、「OK」ボタンをクリックする

Microsoft FrontPage Express

Microsoft Music Control

Microsoft NetMeeting 2.1

Microsoft Outlook Express

Microsoft VM for Java

Microsoft Web 発行ウィザード 1.51

VDOLive Player

必要に応じてスクロールボタン(▲▼)を使って表示します。また、モデルによっては含まれないコンポーネントがあります。

- 6** 「Microsoft Internet Explorer 4.0セットアップメンテナンスプログラムを始めます」のメッセージの後に、「Internet Explorer 4.0と共有コンポーネントを削除するには、[OK]をクリックしてください。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

- 7** 「Microsoft Internet Explorer 4.0を削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

「Internet Explorer 4.0により、ごみ箱の形式が変更されました。」と表示されることがあります。現在、ごみ箱に入っているファイルを保存する場合は、「キャンセル」ボタンをクリックして削除処理を終了し、手順1からやり直してください。ごみ箱に入っているファイルをすべて削除してもよい場合は、「OK」ボタンをクリックして削除処理を続けます。

削除が始まります。削除には数分かかります。

- 8** 「すべてのアプリケーションを閉じて、新しい設定でWindowsを再起動します」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 「自動的に閉じることのできなかったプログラムがいくつかあります」と表示されることがあります。このとき、実行中のプログラムでデータを処理しているものがある場合は、それらのデータを保存してプログラムをすべて終了し、「OK」ボタンをクリックしてください。

- 9 「コンピュータを再起動する必要があります」と表示されたら、
「OK」ボタンをクリックする
自動的に本機が再起動します。
- 10 「ユーザ名とパスワードを入力してください」と表示されたら、ユーザ名とパスワードを入力する
- 11 「ファイルの種類をActive Movieに関連付け、すべて再生できるようにしますか?」というメッセージが表示された場合は、「はい」ボタンをクリックする
- 12 次のコンポーネントに対して、そのコンポーネント用の個人設定を削除するよう表示されたら、必要に応じて「はい」ボタンか「いいえ」ボタンをクリックする
 - Microsoft Internet Explorer 4.0
 - Windows デスクトップのアップデートコンポーネント
 - インターネット接続ウィザード
 - Microsoft NetMeeting 2.1
 - Microsoft Outlook Express
 - VDOLive Player
 - Microsoft FrontPage Express

追加

インターネットからInternet Explorerの最新版をダウンロードできます。ダウンロードするときは、インターネットエクスプローラを起動して、「お気に入り」メニューの「Internet Explorer 4.0のダウンロード」をクリックしてください。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックして「コントロールパネル」を開く
- 2 「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックする
- 3 「セットアップ」をクリックする

- 4** 「次へ」をクリックする
- 5** 「セットアッププログラムのコマンドライン」に次のように入力する
C:¥Option¥Other¥IE401¥Iestart.bat
- 6** 「完了」をクリックする
- 7** 「Internet Explorer 4.0アクティブセットアップ」で「セットアップの開始」メッセージが表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
使用許諾契約書が表示されます。
- 8** よく読んでから、同意する場合は「同意する」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする
- 9** 「インストールオプション」で「完全インストール」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 10** 「デスクトップのアップデート」で「インストールしますか?」と表示されたら、「はい」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする
- 11** 「Active Channelの選択」と表示されたら「日本」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
「お気に入り」メニューの「Internet Explorer 4.0のダウンロード」から最新版がダウンロードできます。

12 「インストール先フォルダ」で、インストール先を指定する

購入時と同じフォルダにインストールする場合

「参照」ボタンをクリックして、「フォルダの参照」画面を表示させ、次のフォルダを選んでから「OK」ボタンをクリックし、「次へ」ボタンをクリックしてください。

C:\Program Files\Internet Explorer

購入時とは別のフォルダにインストールする場合

すでに存在するフォルダにインストールするときは、「参照」をクリックして、「フォルダの参照」画面を表示させ、インストールしたいフォルダを選択してから「OK」ボタンをクリックし、「次へ」ボタンをクリックしてください。

新規にフォルダを作成する場合は、インストールフォルダに直接フォルダ名を入力し、「次へ」ボタンをクリックします。入力したフォルダが存在しないため「フォルダを作成しますか?」と表示されるので、「はい」ボタンをクリックしてください。

13 「新しいコンポーネントをアップグレードしますか?」と表示されたら、「すべてのコンポーネントを再インストール」をチェックし、「OK」ボタンをクリックする

インストールが始まります。インストールには10数分かかります。

14 「コンポーネントのインストールは完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

「自動的に閉じるのでできなかったプログラムがいくつかあります」と表示されることがあります。このとき、実行中のプログラムでデータを処理しているものがある場合は、それらのデータを保存してプログラムをすべて終了し、「OK」ボタンをクリックしてください。

15 「コンピュータを再起動する必要があります」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

自動的に本機が再起動します。

16 「ユーザ名とパスワードを入力してください」と表示された場合、ユーザ名とパスワードを入力する

Internet Explorer 4.0関連プログラムの設定、プログラムの個人用設定が行われます。この間、数分かかります。

- 17** CyberTrio-NXをお使いの場合は、「CyberTrio-NX」のモード設定を「アドバンスモード」に変更する
- 18** 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックし、「MS-DOSモードで再起動する」をクリックしてにし、「OK」ボタンをクリックする
- 19** キーボードから次のように入力する
cd¥options¥other¥ie401【Enter】
- 20** キーボードから次のように入力する
niesetup【Enter】
- 21** 「終了しました。」と表示されたらexitと入力し、【Enter】を押す
本機が再起動します。

最新のコンポーネントを追加する

インターネットエクスプローラに最新のコンポーネントを追加するには、次の手順でインストールします。いずれも同じWebサイトにつなげて、最新のアプリケーション(コンポーネント)をダウンロードします(現状のコンポーネントは、インストールモジュールで可能)。

- ・インターネットエクスプローラの「ヘルプ」→「製品更新」をクリックする
- ・「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」で追加する

- 1** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックする
- 2** 「Microsoft Internet Explorer 4.0」を選び「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3** 「コンポーネントをInternet Explorerに追加する」で選び「OK」ボタンをクリックする

Add-on pageにあるコンテンツ一覧(1998年4月現在)

前ページの手順でダウンロード可能なアプリケーション(コンポーネント)は、次のとおりです。

「Microsoft Internet Explorer 4.0」

- Internet Explorer 4.0 Webブラウザ
- Windows デスクトップのアップデート
- Microsoft VM for Java
- インターネット接続ウィザード

「通信コンポーネント」

- Microsoft NetMeeting
- Microsoft Outlook Express
- Microsoft Chat 2.0

「マルチメディア コンポーネント」

- Microsoft NetShow
- Microsoft インタラクティブ ミュージック コントロールと MSシンセサイザ
- Microsoft VRML 2.0ビューア
- DirectShow
- VDO Liveプレーヤー
- Microsoft Agent
- Macromedia Shockwave Director
- Macromedia Shockwave Flash
- RealPlayer by Progressive Networks

「オーサリング コンポーネント」

- Microsoft FrontPage Express
- Microsoft Web発行ウィザード

「エクスプローラ用追加コンポーネント」

- Microsoft Wallet
- 追加Webフォント
- Internet Explorerサウンドパック
- タスク スケジューラ

「複数の言語サポート」

- ・ 日本語サポート
- ・ 韓国語サポート
- ・ ヨーロッパ各国語サポート
- ・ 繁体字中国語サポート
- ・ 簡体字中国語サポート

インターネットエクスプローラ 関連プログラム

インターネットエクスプローラをより使いやすくするためのプログラムです。

インターネットエクスプローラ関連プログラムとして次の3つがあります。

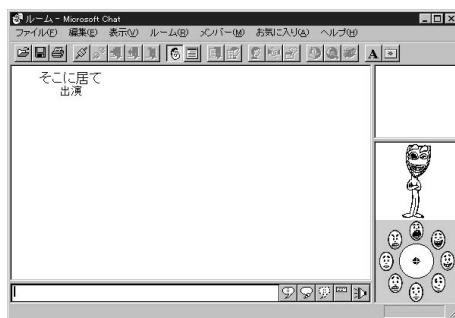
- Microsoft Chat 2.0
- Microsoft NetShow プレーヤー
- RealPlayer 4.0

Microsoft Chat 2.0

インターネット上で、従来のテキストでの会話に加えグラフィックスを組み合わせた会話ができるチャットプログラムです。

起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の「Microsoft Chat」をクリックする



削除

- 1 「削除の準備(→p.108)の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「Microsoft Chat 2.0」を選び、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「Microsoft Chat 2.0を削除します。Microsoft Chatのアプリケーションが実行されていないことを確認してください。」というメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 4 「Microsoft Chat 2.0は正常に削除されました。」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする

追加

Microsoft Chat 2.0は、「インターネットエクスプローラの追加」と同じ手順で追加することができます。

参照 ▶ インターネットエクスプローラの追加(→p.113)

Microsoft NetShow プレーヤー

NetShowに対応したWebサイトからインターネット経由で送られるマルチメディアデータがすべてダウンロードされるのを待つことなく受信しながら再生できるプログラムです。

起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の「NetShow プレーヤー」をクリックする



削除

- 1 「削除の準備」(→ p.108)の手順1~2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「Microsoft NetShow Player 2.0」を選び、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「Microsoft NetShow プレーヤーをアンインストールしますか?」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする

追加

Microsoft NetShow プレーヤーは、「インターネットエクスプローラの追加」と同じ手順で追加することができます。

参照 インターネットエクスプローラの追加(→ p.113)

RealPlayer 4.0

RealPlayerに対応したWebサイトからインターネット経由で送られる音声 / 映像データを受信し、再生するプログラムです。

起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の「RealPlayer」をクリックする



削除

- 1** 「削除の準備 (→ p.108)」の手順1～2を行う
- 2** 「セットアップと削除」の一覧から「RealPlayer 4.0」を選び、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3** 「RealPlayer 4.0の全てのコンポーネントを削除してもよろしいですか?」または「Are you sure you want to completely remove RealPlayer and all of its components?」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 4** 「RealPlayer 4.0のアンインストールが完了しました。」または「Uninstallation of the RealPlayer has been successfully completed.」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする

追加

RealPlayer 4.0は、「インターネットエクスプローラの追加」と同じ手順で追加することができます。

参照 インターネットエクスプローラの追加(→ p.113)

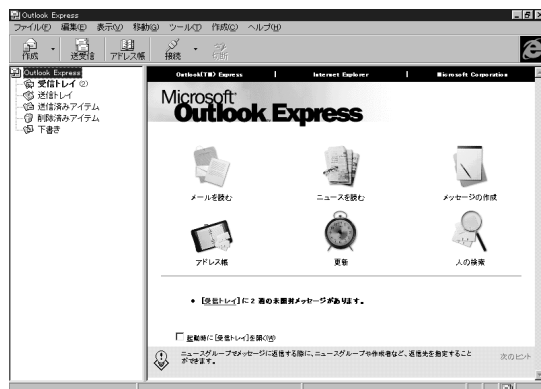
Outlook Express(Mail & News)

電子メールを送受信したり、インターネットニュースを見ることができます。

起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の「Outlook Express」をクリックする
Outlook Expressのウィンドウが表示されます。

主画面



チェック!! Outlook Expressの削除と再追加については「インターネットエクスプローラ」の「削除」および「追加」を参照してください。「インターネットエクスプローラ」の「削除」または「追加」の手順を行うことにより、「Outlook Express」も削除または再追加されます。

参照 インターネットエクスプローラの削除 (→ p.111)
インターネットエクスプローラの追加 (→ p.113)

Microsoft NetMeeting

Microsoft NetMeetingを利用すると、インターネットを経由して、主催者と複数の参加者によるネットワーク会議を行うことができます。

起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Internet Explorer」の「Microsoft NetMeeting」をクリックする
Microsoft NetMeetingのウィンドウが表示されます。

主画面



チェック!! Microsoft NetMeetingの削除と再追加については「インターネットエクスプローラ」の「削除」および「追加」を参照してください。「インターネットエクスプローラ」の「削除」または「追加」の手順を行うことにより、「Microsoft NetMeeting」も削除または再追加されます。

参照 インターネットエクスプローラの削除 (→ p.111)
インターネットエクスプローラの追加 (→ p.113)

モバイルメール

モバイルメールは、パソコンを携帯して外出先で簡単に電子メールのやりとりができるアプリケーションです。利用環境の変化に応じて簡単に通信環境を切り替えることができるほか、オフィスや自宅にあるもう一台のパソコン上のモバイルメールのメールアドレスと簡単に同期をとることができます。モバイルメールについては、本機に添付の『モバイルメール ファーストステップガイド』もあわせてご覧ください。

✓チェック!! 本機には、モバイルメールはインストールされていません。モバイルメールを使用する場合は、添付の「アプリケーション CD-ROM」を使ってインストールします。インストールの方法は「追加」(→p.126)をご覧ください。

モバイルメールでは、「モバイルメール」のほかにメールアドレスなどの個人情報登録できる「モバイルアドレス帳」。利用環境の変化に応じて通信環境をワンタッチで切り替えることにより、Microsoft Internet Explorerなどで設定しているダイヤルアップネットワークを自動的に切り替えることができる「通信設定」なども利用できます。

起動

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「モバイルメール」の「モバイルメール」をクリックする



削除

1 「削除の準備」(→p.108)の手順1～2を行う

2 「セットアップと削除」の一覧から「モバイルメール(削除のみ)」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする

- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
- 4 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
メールフォルダは削除されません。フォルダに残ったファイルを削除する場合は、「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」で「<ドライブ名> : ¥MM Folder」にあるファイルを削除してください。

追加

- 1 「プロダクトの選択 (→ p. 110) の手順1~7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「モバイルメール」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「コンポーネントの選択」でインストールするアプリケーションを選択する
- 5 インストール先ディレクトリを指定して「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「メールフォルダ選択」でメールフォルダを作成するドライブを選択して「OK」ボタンをクリックする
- 7 「設定確認」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
インストールが始まります。
- 8 「Windowsの再起動」が表示されたら、設定内容を確認後「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、「OK」ボタンをクリックする
Windows 95が再起動します。



チェック!! モバイルメールをインストールせずにモバイルボイスメールをインストールした場合、モバイルボイスメールの「メール登録」機能は使用できません。

VirusScan for Windows 95

コンピュータウィルスの検出、識別、および除去を行います。

起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「VirusScan」をクリックする



ウィルス監視機能を有効にする

VirusScanには、Windowsで操作するファイルがウィルスに汚染されていないか監視する機能もあります。この機能を使うには、次の手順を行います。

- ✓チェック!!** ウィルス監視機能を有効にすると、ディスクアクセス時にウィルス検査を実行するため、アプリケーションなどの実行が遅くなります。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「VirusScanコンソール」をクリックする
VirusScan Consoleが起動します。
- 2 一覧に表示されている「McAfee VShield」をクリックした後、メニューバーの「タスク」→「プロパティ」をクリックする
「タスクプロパティ」が起動します。
- 3 「タスクプロパティ」の「プログラム」タブの「詳細設定」ボタンをクリックする
VShield設定が起動します。

- 4 「スキャン」タブの「情報」の「スタートアップ時に起動」をクリックしてチェックを付け、「OK」ボタンをクリックする
- 5 「今すぐに読み込みを行いますか?」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 6 「タスクプロパティ」の「OK」ボタンをクリックし、「タスクプロパティ」を終了する
- 7 VirusScan Consoleのメニューバーの「タスク」→「終了」をクリックし、VirusScan Consoleを終了する

ウィルス監視機能を解除する

- 1 「ウィルス監視機能を有効にする (→ p.127) の手順1～3を行う
VShield設定が起動します。
- 2 「スキャン」タブの「情報」の「スタートアップ時に起動」をクリックしてチェックを外し、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「今すぐに読み込みを解除しますか?」というメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 4 「タスクプロパティ」の「OK」ボタンをクリックし、「タスクプロパティ」を終了する
- 5 VirusScan Consoleのメニューバーの「タスク」→「終了」をクリックし、VirusScan Consoleを終了する

削除

- 1 「削除の準備 (→ p.108) の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「McAfee VirusScan v3.1.0 (ブレインストール版)」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする

- 3 「VirusScanの削除が選択されました。本当にVirusScanを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 4 「削除後にシステムを再起動することをお勧めします。続行しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が前面に表示されたときは「OK」ボタンをクリックし、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」を終了します。
- 5 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは、「すべていいえ」を選んでください。
- 6 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 7 本機を再起動する

追加

- 1 「プロダクトの選択 (→ p. 110) の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「McAfee VirusScan」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする
セットアッププログラムが起動し、「McAfeeソフトウェアの使用許諾契約書」ウィンドウが表示されます。
- 3 契約内容に同意の上、「はい」ボタンをクリックする
「セットアップへようこそ」ウィンドウが表示されます。
- 4 「次へ」ボタンをクリックする

- 5** 「セットアップ方法」で「カスタム」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックして、表示されたウインドウの「パス」にインストール先を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。
- 6** 「コンポーネントの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 7** 「オプションの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 8** 「DOSスキャナ インストール オプション選択」画面で「ブート時にシステムをスキャン」および「エマージェンシーディスクを作成」のチェックマークを外し、「次へ」ボタンをクリックする
「ブート時にシステムをスキャン」のチェックを外さずにインストールした場合、MS-DOS用アプリケーションが動作しなくなる場合があります。
エマージェンシーディスクは、「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「エマージェンシーディスク作成」をクリックして作成することができます。
なお、エマージェンシーディスクの作成には、フォーマット済みのフロッピーディスクが2枚必要です。
- 9** 「プログラムフォルダの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 10** 「インストール設定の確認」で「次へ」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが始まります。
- 11** 「システム領域のスキャンが完了しました」のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 12** 「この製品についての最新の情報を表示しますか？」のメッセージが表示されるので、このまま最新の情報を読む場合は「はい」ボタンをクリックし、読まない場合は「いいえ」ボタンをクリックする
最新の情報は「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「ウィルスデータベースの内容」をクリックして読むことができます。

- 13** インストールが終了すると、「インストールが完了しました」ウィンドウが表示されるので、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選び、「終了」ボタンをクリックする
Windows 95が再起動します。
- 14** Windows 95再起動後、「ウイルス監視機能を解除する」(→ p.128)の手順1～5行う
ウイルス監視機能を有効にすると、ディスクアクセス時にウイルス検査を実行するため、アプリケーションなどの実行が遅くなります。

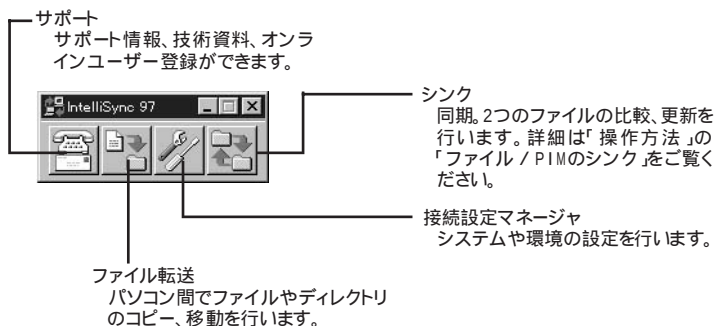
IntelliSync97

ケーブル接続や赤外線接続を通して、パソコン間でファイルのやりとりを簡単に行うことができます。詳しくは「操作方法」(→ p.135)をご覧ください。なお、「モバイルメール」(→ p.125)を使うと、パソコン間でもモバイルメールのメールデータを簡単に同期させることができます。

- ✓チェック!!** ・本機には、IntelliSync97はインストールされていません。IntelliSync97を使用する場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールします。インストールの方法は、「追加」(→ p.137)をご覧ください。
- ・通信相手のパソコンとして、他のPC98-NXシリーズやPC-9800シリーズを使う場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使って、相手のパソコンにIntelliSync97をインストールする必要があります。インストールの方法は、「追加」(→ p.137)をご覧ください。

起動

- 1 「スタート ボタン」→「プログラム」→「IntelliSync 97 for Windows」の「IntelliSync 97エージェント」をクリックする
- 2 「IntelliSync97 for Windowsへようこそ」の画面が表示されるので、「OK」ボタンをクリックする
「IntelliSync97ランチャー」が表示されます。



ローカルシステムの設定

パソコン間でデータのやりとりをするには、はじめに各パソコンで接続システムの設定を行います。

- 1 IntelliSync97ランチャーを起動する
- 2 ランチャーの「接続設定マネージャ」をクリックする

 **チェック!!** 初回起動時には使用許諾画面が表示されます。

- 3 「ローカルデバイス」をクリックし、デバイスを選択する
デバイスの詳細は「接続設定」をご覧ください。
- 4 「プロパティ」をクリックする
- 5 「プロパティ」のウィンドウで「接続可能にする」にチェックを付け、
「OK」ボタンをクリックする

接続設定

パソコン間を赤外線、シリアルポートで接続できます。

赤外線 (IR) 接続設定

本機に内蔵されている赤外線デバイスを使用する場合は、手順2から設定を行ってください。別売の赤外線デバイスを使うときは、次の手順で設定を行ってください。

- 1 COMポートに赤外線デバイスを接続する
詳細は各デバイス添付のマニュアルをご覧ください。
- 2 二つのシステムの赤外線ポート (IRポート) が向かい合うようにパソコンを設置する

 **参照** 設置時の注意 → 「赤外線通信機能」(p.52)

- 3** 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする
- 4** 「赤外線デバイス」を右クリックする
- 5** 「IRウィザード」をクリックする
- 6** 現在の設定が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
- 7** デバイスのリストから使用するデバイスを選ぶ
本機内蔵の赤外線デバイスを使う場合は、「NEC FIR port model 01」を選んでください。別売の赤外線デバイスを使う場合で一覧にデバイス名がない場合は「Generic」を選んでください。
- 8** ポートのリストから赤外線デバイスが接続されているCOMポートを選び、「次へ」ボタンをクリックする
ポートが一つの場合、表示されません。
- 9** ボーレートの一覧が表示されたら、ボーレートを選び、「次へ」ボタンをクリックする
ボーレートが一つの場合、表示されません。
- 10** 設定内容が表示されるので、確認して「完了」ボタンをクリックする
- 11** 「IRセットアップウィザード」画面が表示されるので、「OK」ボタンをクリックする

シリアルケーブル接続設定

使用するパソコン両方に同じ設定をします。

- 1** COMポート(シリアルポート)にシリアルケーブルを接続する
ケーブルの長さは6m以下にしてください。
- 2** 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする
- 3** シリアルケーブルの+をクリックする

4 COMポートが表示されるので、「COMポート」を選び、「プロパティ」をクリックする

5 「接続を可能にする」にチェックを付け、「OK」ボタンをクリックする

接続状態のチェック

接続状況をチェックします。接続がうまくいかないときに確認してください。

1 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする

2 接続状態をチェックしたいデバイスの + をクリックする
表示されたマークで確認します。

マーク	マークの意味
	使用可能なポートがない
	接続設定が不可になっている
	他のパソコンと接続されてない(赤信号)
	接続中(黄信号)
	接続されている(青信号)

操作方法

ファイル / PIMのシンク

1 IntelliSync97ランチャーを起動し、「シンク」をクリックする

2 「新規ジョブの作成」アイコンをダブルクリックする

3 「次へ」ボタンをクリックする

4 ジョブを選ぶ

2台のパソコン間でシンクする場合

「リモートジョブ」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。

1台のパソコン内で別々のドライブなどをシンクする場合

「ローカルジョブ」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。

5 タイプを選択する

「フォルダ」や「ドライブ」をシンクさせる場合

「ファイルのシンク」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。

PIM(パーソナルインフォメーションマネージャ)間でシンクさせる場合

「PIMのシンク」を選び、「次へ」ボタンをクリックします。

6 ウィンドウの指示で情報を入力し、「次へ」ボタンをクリックする

7 ジョブ名をつけて、「次へ」ボタンをクリックする

「オートシンクの始動」を選ぶと、IntelliSync97のシンクを起動、またはIntelliSync97を起動し、パソコンどうしを接続するたびに自動的にジョブを実行します。

8 「完了」ボタンをクリックする

削除

1 「削除の準備 (→ p.108) の手順1～2を行う

2 「セットアップと削除」の一覧から「IntelliSync97 for Windows」をクリックし「追加と削除」をクリックする

- 3** 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」をクリックし、「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは「すべていいえ」をクリックする
削除が始まります。
- 4** 「アンインストールが完了しました」というメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする

追加

以下の操作を行う場合には、「赤外線通信機能」(→ p.52)の「赤外線通信機能を使うようにする」を行ってください。

- 1** 「プロダクトの選択」(→ p.110)の手順1～7を行う
- 2** 「プロダクトの選択」で「IntelliSync97 for Windows」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3** 「ようこそ」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 4** 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 5** 「プログラムフォルダの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 6** 「スタートアップグループオプション」で「いいえ」ボタンをクリックする
- 7** 「セットアップ」で「はい」ボタンをクリックする
- 8** 「赤外線の設定-現在のデバイス」で「次へ」ボタンをクリックする
- 9** 「赤外線の設定-デバイスの選択」で「NEC FIR port model 01」を選び、「次へ」ボタンをクリックする

- 10** 「赤外線の設定-ボーレートの選択」で「4000000」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 11** 「赤外線の設定-現在のデバイス」で「完了」ボタンをクリックする
- 12** 「IRセットアップウィザード」が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

NEC Soft MPEG1.0

ビデオCDなどのMPEGファイルの再生を行います。

✓チェック!! 本機には、NEC Soft MPEG1.0はインストールされていません。利用する場合は、「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールします(→p.140)

起動

- 1** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」の「メディアプレーヤー」をクリックする
- 2** 「デバイス」メニューから「NEC Soft MPEG1.0」を選ぶ
- 3** 「ファイルを開く」ダイアログボックスで、再生したいMPEGファイルを選び、「開く」ボタンをクリックする
- 4** 「再生」ボタンをクリックする
再生が始まります。

✓チェック!! MPEGファイルとしては、拡張子が[※] .mpg のもののほかにビデオCD内の拡張子が[※] .dat のファイルを再生することができます。

NEC Soft MPEG1.0に関する注意事項

- ・ビデオのみのデータあるいはビデオCDの静止画を含むデータは、現在の再生位置を示すスクロールバーの位置と実際の再生位置は必ずしも一致しません。
- ・メディアプレーヤーのスクロールバーの右側にある小さなボタンは、インジケータがフレームのときのみ、コマ送りとなります(順方向ボタン)。逆再生方向のボタンは戻る場合と戻らない場合があります。
- ・画質優先モードで再生時、画像サイズを変更すると再生が遅くなる場合があります。
- ・メディアプレーヤー、プレーヤ-NXでプルダウンメニューを表示すると再生が停止します。再生中にキーボードから【Alt】を押したときも同様に停止します。

削除

NEC Soft MPEG1.0の削除は「コントロールパネル」の「マルチメディア」を使用して行います。

- 1** メディアプレーヤーなど、NEC Soft MPEG1.0を使用するアプリケーションが起動していないことを確認する
- 2** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」を起動する
- 3** 「マルチメディア」アイコンをダブルクリックする
- 4** 「マルチメディアのプロパティ」から「詳細設定」タブを選ぶ
- 5** 「メディアコントローラデバイス」の左のプラス記号(+)をクリックして、デバイスドライバの一覧を表示させる
- 6** 「NEC Soft MPEG1.0」をダブルクリックして、「NEC Soft MPEG1.0のプロパティ」で「削除」ボタンをクリックする
- 7** 「削除」が表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 8** 「デバイスは削除されました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 9** 削除後、再起動を促すメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 10** 本機を再起動する

追加

NEC Soft MPEG1.0の追加は「コントロールパネル」の「ハードウェア」を使用して行います。

- 1** CD-ROMドライブに本機添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」を起動する

- 3 「ハードウェア」をダブルクリックし、「ハードウェアウィザード」を起動する
- 4 「次へ」ボタンをクリックする
- 5 新しいハードウェアを自動的に検出する選択画面では「いいえ」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 6 インストールするハードウェアの種類に「その他のデバイス」を選んで「次へ」ボタンをクリックする
- 7 「ディスクを使用」をクリックし、「フロッピーディスクからインストール」ダイアログボックスのコマンドラインに CD-ROMドライバ名 : ¥NECMPEGと入力し、「OK」ボタンをクリックする
- 8 画面に「NEC Soft MPEG1.0」と表示されるので、「次へ」ボタンをクリックする
- 9 「完了」ボタンをクリックする
ファイルのコピーが開始されます。
- 10 ファイルのコピー終了後、再起動を促すメッセージが表示されたら、「はい」ボタンをクリックしてWindowsを再起動する

プレーヤ-NX

音楽CD、ビデオCD、カラオケCD、フォトCDを再生表示します。

プレーヤ-NXで利用できるCD

- ・音楽(オーディオCD)
- ・ビデオCD(Ver1.1) 、ビデオCD(Ver2.0) /カラオケCD(Ver1.1)
- ・フォトCD
- ・フォトCDポートフォリオ

起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」で「プレーヤ-NX(CDプレーヤー)」をクリックする

音楽CDの場合



ビデオCDの場合



フォトCDの場合



削除

- 1 「削除の準備 (→ p. 108) の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「プレーヤ-NX」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする削除が始まります。

 **チェック!!** 「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたら「すべていいえ」ボタンをクリックする

- 4 「アンインストールが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

追加

- 1 「プロダクトの選択 (→ p. 110) の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「プレーヤ-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ! プレーヤ-NXの世界へ」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「Folder Selection」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックするインストールが自動的に始まります。
- 5 「プレーヤ-NXは正しくインストールされました」のメッセージが表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** プレーヤ-NXでビデオCDを再生する場合には、NEC Soft MPEG1.0が必要です。p. 140をご覧ください。



CyberTrio-NX

使用者のレベルに合わせて、OSの操作可能な範囲を設定することができます。



チェック!!

本機には、CyberTrio-NXはインストールされていません。CyberTrio-NXを使用する場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールします。インストールの方法は、「追加」→p.147をご覧ください。

CyberTrio-NXの機能

CyberTrio-NXは、Windows 95の利用環境を設定するアプリケーションです。使用者のレベルに合わせて機能を制限できるので、システムへ影響を与えてしまうような使用者の操作を未然に防ぐことができます。

次のモードから選ぶことができます。

- ・カスタムモード

「マイプログラム」や「デスクトップ」に登録してあるアプリケーションのみを使うことができます。

- ・ベーシックモード

システムへ影響を与える機能の動作を制限し、コンピュータやソフトウェアへの予期しないダメージを防ぎます。

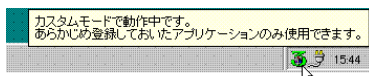
- ・アドバンスモード

Windows 95へのフルアクセスが可能です。

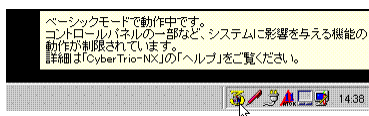
アイコンでモードを見分ける

CyberTrio-NXが今、何のモードになっているかは、タスクバーに表示されているアイコンで知ることができます。

- ・「カスタムモード」のとき：アイコンの色が緑色になっています。アイコンをポイントすると次のように表示されます。



- ・「ベーシックモードのとき」：アイコンの色が黄色になっています。アイコンをポイントすると次のように表示されます。



- ・「アドバンスモード」のとき：アイコンの色が赤色になっています。アイコンをポイントすると次のように表示されます。



モードの変更

1 「スタート」ボタン→「プログラム」でモードを選ぶ

カスタムモードにする場合

「Go toカスタムモード」をクリックします。

ベーシックモードにする場合

「CyberTrio-NX」→「Go toベーシックモード」をクリックします。

アドバンスモードにする場合

「CyberTrio-NX」→「Go toアドバンスモード」をクリックします。

現在のモードがベーシックモードまたはアドバンスモードの場合は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「CyberTrio-NXメニュー」をクリックしてから、各モードを選ぶこともできます。

CyberTrio-NXで行う設定

設定できる項目には、パスワードの設定や利用できる環境の設定があります。

パスワードは「ベーシックモード」または「アドバンスモード」で設定できます。

パスワードの設定

パスワードを設定することで、パスワードを知らない人がカスタムモードを勝手に別のモードに変更するのを防ぎます。パスワードは、8文字内の英数字で設定可能です。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「CyberTrio-NXセットアップ」をクリックする
- 2 「パスワードの設定」タブをクリックし、「パスワードを設定する」をチェックする
- 3 パスワードを入力する
パスワードは、8文字内の英数字で入力します。
- 4 パスワードの確認のため、もう一度同じパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックする
これで、カスタムモード使用者は、パスワードを入力しないと他のモードへ移行できないようになります。

 **チェック!!** 入力したパスワードは忘れないようにしてください。万一パスワードを忘れてしまった場合は、次のパスワードを入力し、「ベーシックモード」か「アドバンスモード」に設定してから、もう一度パスワードを設定し直してください。

緊急用パスワード: 71709981

そのほかCyberTrio-NXには、カスタムモードで利用できるプログラムやWindows 95の使用環境をカスタマイズできる機能があります。詳しくは、「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「CyberTrio-NXヘルプ」をご覧ください。

削除

- 1 「削除の準備 (→ p.108) の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「CyberTrio-NX」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
- 4 「CyberTrio-NXアンインストール」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックして再起動する

追加

- 1 「プロダクトの選択 (→ p.110) の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「CyberTrio-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「CyberTrio-NX セットアップへようこそ!」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「インストール先の選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「インストール」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。



CyberWarner -NX

OSが必要とするファイルを保護します。

✓チェック!! 本機には、CyberWarner -NXはインストールされていません。CyberWarner -NXを使用する場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールします。インストールの方法は「追加」(→p.151)をご覧ください。

Windows 95の動作に影響を与えてしまうファイルを監視し、ユーザが操作中に削除または変更を行おうとすると警告を行います。また、ログファイルを採取して、保守時に使うことができます。「CyberWarner -NX」は起動時に常駐するアプリケーションです。

CyberWarner -NXを常駐させる

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「CyberWarner -NX」アイコンをダブルクリックする

2 「スタートアップ」タブの「開始」ボタンをクリックする

CyberWarner -NXの常駐を終了する

1 タスクバーの右端に表示されている「CyberWarner -NX」アイコンをクリックする

2 「終了」をクリックする

3 「CyberWarner -NXのシャットダウン」の画面が表示されたら「はい」ボタンをクリックする

ログファイルについて

CyberWarner-NX LogViewer

ログ対象ファイルに対して操作(移動、削除、修正、名前の変更)が行われたとき、CyberWarner-NXは、その操作内容をログファイルに保存します。ログファイルに書き込まれた情報を参照するときは、CyberWarner-NX LogViewerを使います。

✓チェック!! 採取されたログファイルは、CyberWarner-NX LogViewerの「保守モード」でのみ操作できます。保守モードはNECの担当員から指示があったときのみ使用してください。通常は使用することはできません。

ログファイルの種類

ログファイルには、プライマリログファイルとバックアップログファイルの2種類があります。どちらもファイル内容は同じものですが、保存されている期間に違いがあります。ログ対象ファイル进行操作(移動、削除、修正、名前の変更)が行われると、その操作内容がログファイルに保存されます。

ログ対象ファイル

ログ対象ファイルには、「Critical File」「Non Critical File」「Special」の3種類があります。

CriticalFile

次のファイル进行操作した場合、操作の警告画面が表示され、操作しようとしたファイルが自動的に復旧(元の状態に戻る)されます。

¥command.com	¥windows¥rundll.exe
¥io.sys	¥windows¥rundll32.exe
¥himem.sys	¥windows¥progman.exe
¥windows¥win.com	¥windows¥control.exe
¥windows¥notepad.exe	¥windows¥winfile.exe
¥windows¥regedit.exe	¥windows¥taskman.exe
¥windows¥explorer.exe	¥windows¥aztpnp.exe
¥windows¥system¥vmm32¥*. *	¥windows¥winsock.dll
¥windows¥command.com	¥windows¥system.dat
¥windows¥himem.sys	¥windows¥user.dat
¥windows¥system¥sysedit.exe	
¥windows¥system¥iosubsys¥*. *	

Non Critical File

次のファイル进行操作した場合、操作の確認画面が表示されます。

¥autoexec.bat

¥config.sys

¥msdos.sys

¥windows¥command¥*.*

¥windows¥system¥*.dll

¥windows¥system¥*.vxd

Special

次のファイル进行操作すると、操作の確認画面が表示されます。また、アプリケーションをインストールしたときにこれらのファイルに修正が加わると、自動的に修正前の状態がログファイルに保存されます。

¥windows¥win.ini

¥windows¥system.ini

削除

 **チェック!!** 「CyberWarner-NX」を常駐させていない場合は、手順3から行ってください。

- 1** タスクバーにある「CyberWarner-NX」アイコンをクリックし、「終了」をクリックする
- 2** 「CyberWarner-NXのシャットダウン」ウィンドウで、「はい」ボタンをクリックする
- 3** 「削除の準備（→p.108）の手順1～2を行う
- 4** 「セットアップと削除」の一覧から「CyberWarner-NX（2.5.0.2.1）」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 5** 「CyberWarner-NXのアンインストール」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 6** 「CyberWarner-NX」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

- 1** 「プロダクトの選択」(→p.110)の手順1～7を行う
- 2** 「プロダクトの選択」で「CyberWarner-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3** 「CyberWarner-NX セットアップへようこそ!」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
- 4** 「インストール先の選択」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする
- 5** 「セットアップへようこそ!」の画面が表示された場合は、「次へ」ボタンをクリックする
- 6** 「インストール」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

英語モードフォントを利用する

海外製Windows 95アプリケーションを日本語版Windows 95で使用する
場合、文字が正しく表示されません。文字モードを変換する必要があります。

日本語モードフォントを使用したまま、本機で海外製Windows 95アプリケーションを利用する場合、著作権(©)や登録商標(®)(\)が正しく表示されません。そのため、使用するフォントの一部を英語モードフォントに切り替えて、正しく表示する必要があります。また、その逆に英語モードフォントを使用したまま、本機で日本語版Windows 95のアプリケーションを利用する場合、「ㇿ」「ヨ」「¥」が正しく表示されないことがあります。そのときは、英語モードフォントを日本語モードフォントに切り替えます。

それぞれのモードでの表示状態については、次のとおりです。

	海外製Windows 95 アプリケーションを使用	日本語版Windows 95 アプリケーションを使用
日本語モードフォント	「©」→「ㇿ」「®」→「ヨ」 「\」→「¥」	正しく表示される
英語モードフォント	正しく表示される	「ㇿ」→「©」「ヨ」→「®」 「¥」→「\」

英語モードフォントへの切り替え

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「フォント」アイコンをダブルクリックする
- 2 「ファイル」の「新しいフォントのインストール」を選択する
- 3 CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 4 「フォントの追加」の「ドライブ」に「アプリケーションCD-ROM」をセットしたドライブ(通常はQ: ¥)を指定する
- 5 「フォルダ」で「usfont」フォルダをダブルクリックする

- 6 「フォントの一覧」に「EnglishModeFixedSys(Set#6)」「EnglishModeSystem(Set#6)」「EnglishModeTerminal (Set#6)」が表示されたら「すべてを選択」をクリックし「OK」をクリックする

✓チェック!! 使用しているフォントが英語モードフォントのままで、日本語版Windows 95アプリケーションをWindows 95で使用すると、「うゝ」「ヨゝ」「¥」が正しく表示されなくなります。この場合、英語モードフォントを日本語モードフォントに切り替えてください。

日本語モードへの切り替え

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「フォント」アイコンをダブルクリックする
- 2 「FONTS」フォルダ内の「EnglishModeFixedSys(Set#6)」「EnglishModeSystem(Set#6)」「EnglishModeTerminal (Set#6)」(短く表示されることもあります)を選択し「ファイル」の「削除」を選ぶ
- 3 「これらのフォントを削除してもよろしいですか?」と表示されたら「はい」をクリックする

✓チェック!! 使用しているフォントが日本語モードフォントのままで、海外版Windows 95アプリケーションをWindows 95で使用すると、著作権(©)や登録商標(®)が正しく表示されなくなります。この場合、日本語モードフォントを英語モードフォントに切り替えてください。

P A R T

5

他のOSを利用する

Windows NT 4.0を本機で使用方法を説明しています。

このPARTの内容

Windows NT 4.0を使う



Windows NT 4.0を使う

本機でWindows NT 4.0を使う場合は、次の点に注意してください。

- ・Windows NT 4.0はUSB機器をサポートしていません。
- ・Windows NT Server 4.0は使用できません。
- ・Windows NT 4.0では、次のような場合はサスペンドをしないでください。

PCカードを使用中

ハードディスク、CD-ROMドライブ、フロッピーディスクにアクセス中

プリンタへ出力中

通信用アプリケーションを実行中

音声または動画を再生中

Windows NTのシャットダウン中

また、サスペンド/レジュームで問題が発生する場合は、サスペンド/レジューム機能を無効にしてください。BIOSセットアップユーティリティの「省電力」で次のように設定します。

パワーマネジメント : 使用しない

電源スイッチの設定 : パワーオフ

LCD連動スリープ : 使用しない

- ・別売のスーパーディスクドライブで1.2Mバイトフォーマットのコピーディスクを使用する場合は、C:\¥NT40¥Readme.txtをご覧ください、ドライバとフォーマットユーティリティをセットアップしてください。

Windows NT 4.0のセットアップについて

本機でWindows NT 4.0をセットアップするには、次の手順で行います。

1. Windows NT 4.0のセットアップ

- 1-1 Windows NT 4.0をアップデートするためのディスクを作成する
- 1-2 Windows NT 4.0をセットアップする前の確認事項
- 1-3 Windows NT 4.0をセットアップする
- 1-4 ドライバをアップデートする

2. 内蔵アクセラレータの利用

3. 内蔵サウンドの利用

4. NXパッドの拡張

5. BIOSセットアップユーティリティのセットアップ

6. Windows NT 4.0アップデートサービス「Service Pack 3」の利用

 **チェック!** ・ドライバのアップデートはシステム管理者が行ってください。

- ・本機に添付されているドライバは本機専用です。他機種では使用できません。
- ・ここでは、Windows 95がインストールされているドライブ :CDドライブ、フロッピーディスクドライブ :A ドライブとして説明します。実際と異なる場合は読み替えてください。
- ・セットアップの前に1.44Mバイトフォーマット済みのフロッピーディスク5枚を用意し、それぞれのラベル に「システム修復ディスク」「Windows NT 4.0アップデートディスク1」「Windows NT 4.0アップデートディスク2」「Windows NT 4.0アップデートディスク3」「Windows NT 4.0用BIOSセットアップユーティリティ」と記入しておいてください。

1. Windows NT 4.0のセットアップ

1-1 Windows NT 4.0をアップデートするためのディスクを作成する

ここでは、「Windows NT 4.0アップデートディスク1」、「Windows NT 4.0アップデートディスク2」、「Windows NT 4.0アップデートディスク3」、「Windows NT 4.0用BIOSセットアップユーティリティ」を作成します。
内蔵ハードディスクにはWindows NT 4.0のドライバがコピーされています。
これらのドライバを次の手順でフロッピーディスクにコピーします。

- 1** Windows 95の「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」でMS-DOSプロンプトを起動する
- 2** 用意した「Windows NT 4.0アップデートディスク1」のラベルのフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットする
- 3** MS-DOSプロンプトから次のように入力する
C:【Enter】
CD ¥NT40【Enter】

4 カレントディレクトリが「NT40」であることを確認し、MS-DOSプロンプトから次のように入力する

このとき、フロッピーディスクのドライブ名にコロン「:」は付けないでください。

CDNTUP A【Enter】

5 画面の表示に従ってファイルをコピーする

作成したフロッピーディスクは、今後Windows NT 4.0をセットアップする際に必要となりますので、大切に保管してください。

1-2 Windows NT 4.0をセットアップする前の確認事項

本機にWindows NT 4.0を新規に組み込む場合は、セットアップ前に「Windows NT 4.0アップデートディスク1」のルートディレクトリに格納された「README.TXT」を必ずお読みください。

また、Windows NT 4.0のマニュアルも必ずお読みください。



チェック! 本機では別売のスーパーディスクドライブを使用することができますが、スーパーディスクドライブを使ってWindows NT 4.0のセットアップを行う場合は、Windows NT 4.0に付属のフロッピーディスクを使ったセットアップは行えません。CD-ROMブートでのセットアップを行ってください。CD-ROMブートを行うには、BIOSセットアップメニューを使って次の手順で設定します。

1 本機の電源を入れる

2 「NEC」のロゴが表示されたら【F2】を押す

3 【→】を押して、BIOSセットアップメニューを起動する

4 「Boot Device Setup」を選ぶ

5 【↓】を押して「1st Boot Device」を選ぶ

6 【PgUp】または【PgDn】を押して、1st Boot Deviceを「CD-ROM」にする

7 【Esc】を押してBIOSセットアップメニューに戻る

8 【F10】を押すと、「Save current settings and exit(Y/N)?」と表示されたら、「Y」を入力する

これでCD-ROMブートが行われますので、あらかじめWindows NT 4.0のCD-ROMをセットしておきます。

1-3 Windows NT 4.0をセットアップする

Windows NT 4.0のマニュアルをご覧になり、Windows NT 4.0のセットアップを行ってください。

 **チェック!** Windows NT 4.0のセットアップを始める前に、CD-ROMドライブをNXノートベイに取り付け、フロッピーディスクドライブは専用FDD外付ケーブルと専用FDD外付アダプタを使って接続してください。

1-4 ドライバをアップデートする

次の手順でドライバのアップデートをします。

 **チェック!** ドライバをアップデートする前にMicrosoft Windows NT 4.0アップデートサービス「Service Pack 3」をインストールしてください(→p.164)

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「コマンドプロンプト」をクリックして、コマンドプロンプトを起動する

2 「Windows NT 4.0アップデートディスク1」をフロッピーディスクドライブにセットする

3 Windows NT 4.0のコマンドプロンプトから次のように入力する

A:【Enter】

CD ¥【Enter】

カレントディレクトリがAドライブのルートディレクトリであることを確認して、次のように入力する

UPDATE【Enter】

4 画面に表示されるメッセージ内容をよく確認しながら画面の指示に従う

以上でWindows NT 4.0のセットアップは終了しました。アップデートしたドライバは再起動後に有効になります。

再起動するときは、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出してください。

2. 内蔵アクセラレータの利用

内蔵アクセラレータを利用するには、次の手順でセットアップを行います。

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする

2 「ディスプレイの設定」タブをクリックする

3 「ディスプレイの種類」ボタンをクリックする

4 「変更」ボタンをクリックする

5 「ディスク使用」ボタンをクリックする

6 「Windows NT 4.0アップデートディスク1」をフロッピーディスクドライブにセットし、フロッピーディスクを入れたドライブのTRIDENTディレクトリを指定して(A:¥TRIDENT)「OK」ボタンをクリックする

7 「ディスプレイ」リストボックスから「Trident Video Accelerator」を選ぶ

8 「OK」ボタンをクリックする
当社以外のドライバ組み込み確認のメッセージが表示されます。

9 「はい」ボタンをクリックする
ドライバ組み込みの結果が表示されます。

10 「OK」ボタンをクリックする

11 「閉じる」ボタンをクリックする

12 「閉じる」ボタンをクリックする

「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか?」というメッセージが表示されます。

13 フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、「はい」ボタンをクリックする

以上でアクセラレータドライバのセットアップが終了しました。次回起動時から、アクセラレータドライバが有効になります。

3. 内蔵サウンドの利用

次の手順でセットアップを行います。

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「マルチメディア」アイコンをダブルクリックする

2 「デバイス」タブをクリックし、「追加」ボタンをクリックする

3 ドライバの一覧から「一覧にない、または更新されたドライバ」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする

4 ドライバのインストール画面が表示されたら、「Windows NT 4.0 アップデートディスク2」をフロッピーディスクドライブにセットする

5 フロッピーディスクドライブ名とディレクトリ名を指定して(A:\MAESTRO2E-A)「OK」ボタンをクリックする

6 ドライバの一覧に「ESS Maestro PCI Driver 4.00.13」が選択されていることを確認してから「OK」ボタンをクリックする

- 再起動に関するメッセージが表示されるので、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出して、「再起動する」ボタンをクリックする

Windows NTが再起動します。再起動後にドライバが有効になります。

4. NXパッドの拡張

NXパッド対応の拡張ドライバを利用することにより、オートジャンプ、タッピングなど、NXパッドの機能を拡張することができます。

次の手順でセットアップを行います。

- 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックする
- 「全般」タブをクリックする
- 「変更」ボタンをクリックする
- 「デバイスの選択」ウィンドウで、「ディスク使用」をクリックする
- ドライバのインストール画面になったら、「Windows NT 4.0 アップデートディスク2」をフロッピーディスクドライブにセットする
- フロッピーディスクドライブ名とSLIDEPADディレクトリ(A: ¥ SLIDEPAD)を指定して「OK」ボタンをクリックする
- モデルの一覧から「NX PAD」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする
- 「デバイスのインストールの確認」画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- ファイルのコピーが終了したら、「マウスのプロパティ」で「閉じる」ボタンをクリックする

- 10 再起動に関するメッセージが表示されるので、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、「はい」ボタンをクリックしてWindows NTを再起動させる
再起動後にドライバが有効になります。

NXパッドの拡張機能の設定は、次の手順で行います。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックする
- 2 必要に応じて設定を行う
設定方法については、オンラインヘルプをご覧ください。
- 3 設定が終了したら、「マウスのプロパティ」で「OK」ボタンをクリックする
「マウスのプロパティ」が閉じて、設定が有効になります。

5. BIOSセットアップユーティリティのセットアップ

BIOSセットアップユーティリティを利用するため、次の手順でセットアップします。

- 1 「Windows NT 4.0用BIOSセットアップユーティリティ」をフロッピーディスクドライブにセットする
- 2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 3 「ファイル名を指定して実行」画面で「A: ¥SETUP」と入力して、「OK」ボタンをクリックする
インストール画面が表示されます。
- 4 「ようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「インストール先の選択」画面で、「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「ファイルコピーの開始」画面で、「次へ」ボタンをクリックする

- 7** 「セットアップ完了」画面で、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出して、「終了」ボタンをクリックする
これでBIOSセットアップユーティリティのセットアップは完了です。

 **チェック!!** Windows NT 4.0用BIOSセットアップユーティリティを起動するには、「スタート」ボタン→「プログラム」→「BIOSセットアップユーティリティ」をクリックします。

6. Windows NT 4.0アップデートサービス Service Pack 3の利用

Microsoft Windows NT4.0アップデートサービス「Service Pack 3」を適用する場合は、必ず次の手順で行ってください。

- 1** Service Pack 3の「README.TXT」を読む
- 2** Service Pack 3のインストールを行う
再起動のメッセージが表示されますが、再起動せずにドライバのアップデートを行います。
- 3** 「1-4 ドライバをアップデートする (→p.159) をご覧になり、アップデートする

 **チェック!!** ファイルコピーの途中で、「コピー先には、コピー元より新しいファイルが存在します。上書きしますか?」のメッセージが表示された場合は、「すべて上書きしない」を選択してください。

- 4** コンピュータを再起動する
設定は、本機の再起動後に有効になります。

付録

ここでは、本機の機能に関連した補足情報を記載してあります。

このPARTの内容

Windows 95でMS-DOSモードを利用する

本機のお手入れ

コンピュータウイルス対策

機能一覧

割り込みレベル・DMA チャンネル

領域の確保とフォーマット



Windows 95でMS-DOSモードを利用する

Windows 95のMS-DOSモードを利用するときの注意事項を説明しています。

MS-DOSモードを利用する

MS-DOSモードを利用すると、従来のMS-DOSで起動したときと同じような環境で本機を使うことができます。

本機をMS-DOSモードで再起動する

MS-DOSモードを利用するには、次のように操作します。

1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする

2 「MS-DOSモードで再起動する」をクリックして、「OK」をクリックする

本機がMS-DOSモードで再起動します。

MS-DOSモードを終了する

1 コマンドプロンプトの画面から、次のように入力する

EXIT【Enter】

Windows 95が再起動します。

MS-DOSモードとMS-DOSプロンプトの違い

MS-DOSを利用するには、「MS-DOSモード」と「MS-DOSプロンプト」とがあります。「MS-DOSモード」は、他のアプリケーションと一緒に使うことはできません。「MS-DOSプロンプト」は、MS-DOSをWindows 95上でマルチタスクのアプリケーションとして使用できるようにしたものです。「MS-DOSプロンプト」を利用するには、次のように操作します。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリックする

「MS-DOSプロンプト」ウィンドウが表示されます。なお、「MS-DOSモード」または「MS-DOSプロンプト」からは使用できないコマンドやアプリケーションもあります。

CD-ROMドライバ(内蔵CD-ROMドライブ)

本機は、ご購入時の設定では、MS-DOSモードでCD-ROMドライブを使用することはできません。MS-DOSモードで内蔵のCD-ROMドライブを使用する場合は、次の手順が必要です。

現在のMS-DOSモードで内蔵のCD-ROMドライブを使う場合

現在のMS-DOS設定を使う場合で、MS-DOSモード上でCD-ROMを使うときには、次の手順を行ってください。

1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする

2 「MS-DOSモードで再起動する」を選択して、「OK」をクリックする 本機がMS-DOSモードで再起動します。

3 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

SETCD /A【Enter】

CD-ROMドライバが、CONFIG.SYS、DOSSTART.BATに追加され、SETCD実行前のCONFIG.SYS、DOSSTART.BATは、拡張子「.SCD」として保存されます。

4 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

EXIT【Enter】

Windows 95が再起動します。

5 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする

- 6 「再起動する」を選択して、「OK」をクリックする
本機を再起動します。
- 7 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする
- 8 「MS-DOSモードで再起動する」を選択して、「OK」をクリックする
MS-DOSモードが起動し、CD-ROMドライブがQドライブにアサインされます。

新しいIMS-DOS設定を指定する場合

新しいIMS-DOS設定を指定する

新しいIMS-DOS設定を指定する場合、MS-DOSモード上でCD-ROMドライブを使用するには、次の手順で行ってください。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」でエクスプローラを起動する
「エクスプローラ」ウィンドウが表示されます。
- 2 COMMAND.COM をクリックする
プログラム名が反転表示されます。
- 3 「エクスプローラ」の「ファイル」メニューから「プロパティ」をクリックする
「プロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 4 「プログラム」タブをクリックして、「詳細設定」ボタンをクリックする
「プログラムの詳細設定」ウィンドウが表示されます。
- 5 「MS-DOSモード」をクリックして、「新しいIMS-DOS設定を指定する」チェックボックスにチェックをつける
CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの内容が編集できるようになります。

- 6** 「OK」ボタンをクリックする
「プログラムの詳細設定」ウィンドウが閉じます。
- 7** 「OK」ボタンをクリックする
「プロパティ」ウィンドウが閉じます。
- 8** 「エクスプローラ」で新しいMS-DOS設定したプログラムをダブルクリックする
MS-DOSモードが起動します。
- 9** コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

SETCD /A【Enter】

CD-ROMドライバがCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATに追加され、SETCD実行前のCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATは拡張子「.SCD」として保存されます。
- 10** コマンドプロンプトの画面から次のように入力する
EXIT【Enter】
Windows 95が再起動します。
- 11** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」でエクスプローラを起動する
「エクスプローラ」ウィンドウが表示されます。
- 12** 「エクスプローラ」で新しいMS-DOS設定したプログラムをダブルクリックする
MS-DOSモードが起動し、CD-ROMドライブがQドライブにアサインされます。

本機のお手入れ

ここでは、パソコンのお手入れの方法を説明しています。

準備するもの

汚れが軽いとき

乾いたやわらかい素材のきれいな布

汚れがひどいとき

水か中性洗剤を含ませ堅くしぼったきれいな布

機器クリーニング用のフキンも汚れを拭き取るのに便利です。

機器クリーニング用のフキンについてはご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションに問い合わせてください。



参照 NECの問い合わせ先→『NEC PCあんしん サポートガイド』または『メンテナンス&サポートのご案内』

パソコンのお手入れをはじめる前に

⚠注意



感電注意

- お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードをACコンセントから抜いてください。
電源を切らずにお手入れをはじめると、感電することがあります。

パソコンのお手入れをはじめる

パソコンのお手入れをするときは、次のことに注意してください。



チェック!!

- ・水や中性洗剤は、絶対に本機に直接かけないでください。本機の傷みや故障の原因になります。
- ・シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や化学ぞうきんなどは使わないでください。本機の傷みや故障の原因になります。

液晶ディスプレイ

乾いたやわらかい素材のきれいな布で拭いてください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんは使わないでください。

電源コード

電源コードのプラグを長期間に渡ってACコンセントに接続したままにしていると、プラグにほこりがたまることがあります。定期的にはこりを拭き取るようにしてください。

フロッピーディスクドライブ

クリーニングディスク(別売)を使ってフロッピーディスクドライブをクリーニングします。ひと月に一回を目安にクリーニングしてください。

NXパッド

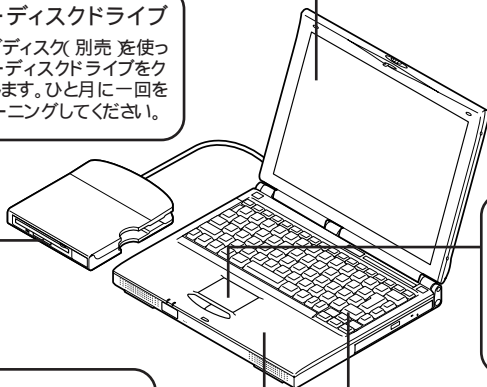
乾いたやわらかい素材のきれいな布で拭いてください。汚れがひどいときは、水かうすめた中性洗剤を布に含ませ、堅くしぼったきれいな布で拭きます。

本体

乾いたやわらかい素材のきれいな布で拭いてください。汚れがひどいときは、水か中性洗剤を布に含ませ、堅くしぼったきれいな布で拭きます。

キーボード

乾いたやわらかい素材のきれいな布で拭いてください。汚れがひどいときは、水か中性洗剤を布に含ませ、堅くしぼったきれいな布で拭きます。キーのすきまにゴミが入ったときは、掃除機などで吸い出します。ゴミが取れないときは、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションに問い合わせてください。NECのお問い合わせ先:『NEC PCあんしんサポートガイド』または『メンテナンス&サポートのご案内』





コンピュータウィルス対策

ここでは、コンピュータウィルスとはどんなものか、また、ウィルスの予防法や検査するためのアプリケーションについて説明しています。

用語 コンピュータウィルス

コンピュータウィルスとはプログラムの一種です。ユーザ（使用者）が気がつかないうちにシステムに入り込み、異常なメッセージを表示するものや、プログラムやデータの一部を破壊するものなど、さまざまなものがあります。

コンピュータウィルスの種類

コンピュータウィルスが「ウィルス」と呼ばれるのは、外部から正常なシステムに入りこんだり、障害が発生するまで潜伏期間があったりするところが、本物のウィルスと類似しているからです。システムに入り込まれてしまうことを感染、プログラムに障害が発生することを発病と言います。

ウィルスは、その感染方法によって次の三種類に分けられます。

・ファイル感染型ウィルス

一般に、実行型ファイル（拡張子が .EXE や .COM ）に感染するタイプのウィルスです。ファイル感染型ウィルスに感染したファイルを実行すると、他の実行型ファイルにウィルスプログラムの本体であるウィルスコードを付着させます。

・マクロ感染型ウィルス

アプリケーションのマクロ機能を使って作られたウィルスのことです。マクロ機能は、ワープロ文書や表計算ソフトなどでいくつかの操作をまとめて、データを一括して処理する機能のことです。マクロ感染型ウィルスは、マクロ機能が実行されることで他のデータファイルに感染します。

・ブートセクタ型ウィルス

コンピュータの起動時に最初に読み込まれるハードディスクやフロッピーディスクの領域をブートセクタ（IPL）といいます。ブートセクタ型ウィルスは、この領域に感染するタイプのウィルスです。本来のブートセクタの内容をウィルス自体と置き換えることにより、コンピュータ起動時にメモリの中に常駐して感染活動を行います。

コンピュータウィルスの感染を防ぐために

フロッピーディスクやネットワークを利用して、プログラムやデータのやりとりを繰り返していると、ウィルスに感染したプログラムやデータを受け取る可能性があります。ウィルスの感染を少しでも防止するために、次の方法を参考にしてください。

- ・フロッピーディスクのマスター(オリジナル)は、ライトプロテクト(書き込み防止)をして保管する。
- ・出所が不明なフロッピーディスクやプログラムは使用しない。
- ・入手したプログラムはウィルス検査をすませてから使用する。
- ・パーソナルコンピュータのウィルス検査は定期的に行う。

本機には、ウィルスチェッカー「VirusScan for Windows 95」が用意されています。ウィルスチェッカーを定期的に利用して、ウィルスに感染していないかどうか、チェックされることをおすすめします。また、新種のウィルスに対応できるよう、ウィルスチェッカーは定期的に最新のものに更新してください。

参照

➤ VirusScanの使い方 → 「VirusScan for Windows 95」(p.127)

万一、コンピュータウィルスに感染してしまった場合は、最寄りのNECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。

また、定期的にディスク全体のバックアップを作成しておくことをおすすめします。万一ウィルスに感染してしまったときにも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。

コンピュータウィルスを発見したら

ウィルスの駆除には、該当ファイルを削除して、アプリケーションのオリジナル媒体またはバックアップから再インストールすることが一番安全で確実な方法です。なお、感染したウィルスがブートセクタ型の場合、またはブートセクタがウィルスに感染した可能性がある段階ではこの方法は使えません。

また、2次感染を防ぐため、ウィルスが発見された場合は、使用した媒体(フロッピーディスク、ハードディスクなど)をすべてウィルス検査する必要があります。

コンピュータウィルスの被害届について

日本では、企業でも個人でもウィルスを発見した場合は、所定の機関に届けることが義務づけられています。ウィルスの届け出先として、情報処理振興事業協会という通産省の外郭団体(通称IPA)がウィルス技術調査室を設置しており、そこを届け出先として指定しています。これは、ウィルスの対策基準として平成7年7月に通産省から官報で告知されたもので(平成7年7月7日付通商産業省告示第429号)、届け出をしなくても罰則の規定はありませんが、今後の対策や被害状況を正しく把握するためにも積極的に報告してください。届け出の内容は、今後の被害対策のための貴重な情報となります。

届け出先(IPA)

〒105-0011

IPA本部 東京都港区芝公園3丁目1番地38号
秀和芝公園3丁目ビル

電話 03-3437-2301 FAX 03-3437-5386

ホームページアドレス <http://www.ipa.go.jp/>



機能一覧

型番の読み方と機能仕様(VersaProシリーズのみ)

PC-VA 2 3DTXA A [↓]★[↓]★ 3

ハードウェア種別2(メモリ容量)

N : 64Mバイト

R : 96Mバイト

ハードディスク容量

2 : 約2.1Gバイト

3 : 約3.2Gバイト

4 : 約4Gバイト

6

付
録

仕様一覧

VersaProシリーズ本体機能仕様

型番・型名の*のところは、前項の「型番の読み方と機能仕様」をご覧ください。

の項目の仕様は、ご使用のモデルによって異なります。

型 番	PC-VA23DTXAA**3
型 名	VA23D/TX model AA**3
CPU	Pentium® プロセッサ
周波数	233MHz
内蔵キャッシュメモリ	32Kバイト
セカンドキャッシュメモリ	512Kバイト
メモリ	ROM 256Kバイト(BIOSほか)
メインRAM	64Mバイト / 96Mバイト
最大	256Mバイト
ビデオRAM	2Mバイト
表示機能	表示素子 バックライト付14.1インチTFTカラー液晶ディスプレイ ¹
ウインドウアクセラレータ	Trident社製Cyber9388標準搭載(ビデオアクセラレーション機能対応) 640×480ドット(26万色中256色 / 65536色 / 1677万色 ²) 800×600ドット(26万色中256色 / 65536色 / 1677万色 ²) 1024×768ドット(26万色中256色 / 65536色) 1280×1024ドット(26万色中256色 ³) 1600×1200ドット(26万色中256色 ³)
別売のCRTディスプレイ接続時	640×480ドット(26万色中256色 / 65536色 / 1677万色) 800×600ドット(26万色中256色 / 65536色 / 1677万色) 1024×768ドット(26万色中256色 / 65536色) 1280×1024ドット(26万色中256色) 1600×1200ドット(26万色中256色)
サウンド機能	サウンドチップ ESSテクノロジー社製ES1788(Maestro2E搭載)
PCM録音・再生機能	内蔵 ステレオ、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート11.025KHz/22.05KHz/44.1KHz/48KHz)
WAVE Table音源機能	内蔵(拡張WAVE Table音源(WAVE Table音源最大64音))
スピーカ・マイク	ステレオスピーカ・マイクロホン内蔵
サラウンド	エンハンスド・ステレオ機能 3Dボジショニング機能
入力装置	キーボード 本体との一体型、JIS標準配列(英数・かな) Fnキー(ホットキー対応)、12ファンクションキー・Windowsキー・アプリケーションキー・Num Lockキー・右Ctrlキー付
ポインティングデバイス	NXパッド標準装備

補助記憶装置	フロッピーディスク	3.5インチフロッピーディスクドライブ×1(720K/1.2M/1.44Mバイトタイプの3モードに対応) ⁴
	固定ディスク(内蔵)	約2.1Gバイト/約3.2Gバイト/約4Gバイト
	CD-ROM	CAV方式、CD-DA(オーディオCD)、CD-ROM MODE1/2、CD-ROM XA MODE2 (FORM1/2)、マルチセッション対応 最大20倍速(平均14倍速)、データ転送速度はCD-ROMの最内周で8.5倍速、最外周で20倍速となります ⁵
インターフェイス		マウス/テンキーポート(PS/2タイプミニDIN6ピン、テンキーボードと外付けマウスをサポート)、パラレル(D-SUB25ピン)、シリアル(D-SUB9ピン、最高115.2Kbps対応)、ディスプレイ(アナログRGBセパレート信号出力、ミニD-SUB15ピン)、赤外線通信(IrDA規格準拠、データ転送速度4Mbps)、USB
サウンド関連		ライン入力(ステレオ、ミニジャック)、ヘッドホン出力/ライン出力共用(ステレオ、ミニジャック)、マイク入力(モノラル、ミニジャック) ライン入力インピーダンス10kΩ 入力レベル1Vrms マイク入力インピーダンス2.5kΩ 入力レベル5mVrms(バイアス2.5V) ヘッドホン出力インピーダンス34Ω
PCカードスロット		TYPE×2スロット(TYPE×1スロットとしても使用可) PC Card Standard 準拠、CardBus/ZVポート対応
パワーマネジメント		自動または任意設定可能
セキュリティ機能		ユーザーパスワード機能、スーパーバイザーパスワード機能、I/Oロック機能、盗難防止ロック(市販の盗難防止用ケーブルを使用)
バッテリー駆動時間 ⁶		約1.8~2.7時間(別売のセカンドバッテリー増設時:約3~4.7時間)
バッテリー充電時間 ⁶		約2時間(別売のセカンドバッテリー増設時:約4.3時間)
バッテリーによるサスペンド内容保持時間 ⁶ (バッテリー充電時)		約3日(別売のセカンドバッテリー増設時:約5.5日)
電源		リチウムイオンバッテリー(DC10.8V、3,600mAh) ⁷ またはAC100V±10%、50/60Hz(ACアダプタ経由 ⁸)
消費電力		約18W 内蔵オプション最大接続時 約60W
温湿度条件		10~35℃、20~80%RH(ただし、結露しないこと)
外形寸法(突起部は含まず)		305(W)×250.5(D)×32.9(H)mm(最上部分は37(H)mm)
重量		約2.19kg(NXノートベイクバー装着時)

1 液晶ディスプレイは消耗部品です。

液晶ディスプレイでは、明るさのむらや、微細な斑点が現れることがありますが、故障ではありません。

また、輝度の調整具合、表示モードと表示データの組み合わせによってはムラやちらつき、微細な斑点が現れることがありますが、故障ではありません。

2 ウィンドウアクセラレータのディザリング機能により実現。

3 パーチャルスクリン機能で実現。

4 NXノートベイクに内蔵、または外付けで使用。

5 NXノートベイクに内蔵して使用。

6 時間は本機のご利用状況やオプションの接続により変わる場合があります。

7 バッテリーパックは消耗品です。

8 ACアダプタ自体は、入力電圧AC240Vまでの安全認定を取得していますが、添付の電源コードはAC125V対応です。

9 18~28℃、45%~75%での使用を推奨。

LaVieシリーズ本体機能仕様

型 番	PC-LT2334A	
型 名	LT23/34A	
CPU	Pentium® プロセッサ	
周波数	233MHz	
内蔵キャッシュメモリ	32Kバイト	
セカンドキャッシュメモリ	512Kバイト	
メモリー	ROM	256Kバイト(BIOSほか)
	メインRAM	64Mバイト
	最大	256Mバイト
	ビデオRAM	2Mバイト
表示機能	表示素子	バックライト付14.1インチTFTカラー液晶ディスプレイ ¹
	ウインドウアクセラレータ	Trident社製Cyber9388標準搭載(ビデオアクセラレーション機能対応)
		640×480ドット(26万色中256色/65536色/1677万色 ²) 800×600ドット(26万色中256色/65536色/1677万色 ²) 1024×768ドット(26万色中256色/65536色) 1280×1024ドット(26万色中256色 ³) 1600×1200ドット(26万色中256色 ³)
	別売のCRTディスプレイ接続時	640×480ドット(26万色中256色/65536色/1677万色) 800×600ドット(26万色中256色/65536色/1677万色) 1024×768ドット(26万色中256色/65536色) 1280×1024ドット(26万色中256色) 1600×1200ドット(26万色中256色)
サウンド機能	サウンドチップ	ESSテクノロジー社製 ES1978S(Maestro2E搭載)
	PCM録音・再生機能	内蔵(ステレオ、量子化8ビット/16ビット、サンプリングレート11.025KHz/22.05KHz/44.1KHz/48KHz)
	WAVE Table音源機能	内蔵(拡張WAVE Table音源[WAVE Table音源最大64音])
	スピーカ・マイク	ステレオスピーカ・マイクロホン内蔵
	サラウンド	エンハンスド・ステレオ機能 3Dポジショニング機能
入力装置	キーボード	本体との一体型、JIS標準配列(英数・かな)Fnキー(ホットキー対応)、12ファンクションキー・Windowsキー・アプリケーションキー・Num Lockキー・右Ctrlキー付
	ポインティングデバイス	NXパッド標準装備

補助記憶装置	フロッピーディスク	3.5インチフロッピーディスクドライブ×1(720K/1.2M/1.44Mバイトタイプの3モードに対応) ⁴
	固定ディスク(内蔵)	約2.1GBバイト
	CD-ROM	CAV方式、CD-DA(オーディオCD)、CD-ROM MODE1/2、CD-ROM XA MODE2 (FORM1/2)、マルチセッション対応 最大20倍速(平均14倍速)、データ転送速度はCD-ROMの最内周で8.5倍速、最外周で20倍速となります ⁵
インターフェイス		マウス/テンキーポート(PS/2タイプミニDIN6ピン、テンキーボードと外付けマウスをサポート)、パラレル(D-SUB25ピン)、シリアル(D-SUB9ピン、最高115.2Kbps対応)、ディスプレイ(アナログRGBセパレート信号出力、ミニD-SUB15ピン)、赤外線通信(IrDA規格準拠、データ転送速度4Mbps)、USB
サウンド関連		ライン入力(ステレオ、ミニジャック)、ヘッドホン出力/ライン出力共用(ステレオ、ミニジャック)、マイク入力(モノラル、ミニジャック) ライン入力インピーダンス10k Ω 入力レベル1Vrms マイク入力インピーダンス2.5k Ω 入力レベル5mVrms(バイアス2.5V) ヘッドホン出力インピーダンス34 Ω
PCカードスロット		TYPE×2スロット(TYPE×1スロットとしても使用可) PC Card Standard 準拠、CardBus/ZVポート対応
パワーマネージメント		自動または任意設定可能
セキュリティ機能		ユーザーパスワード機能、スーパーバイザーパスワード機能、I/Oロック機能、盗難防止ロック(市販の盗難防止用ケーブルを使用)
バッテリー駆動時間 ⁶		約1.8~2.7時間(別売のセカンドバッテリー増設時:約3~4.7時間)
バッテリー充電時間 ⁶		約2時間(別売のセカンドバッテリー増設時:約4.3時間)
バッテリーによるサスペンド内容保持時間 ⁶ (バッテリー充電時)		約3日(別売のセカンドバッテリー増設時:約5.5日)
電源		リチウムイオンバッテリー(DC10.8V、3,600mAh)またはAC100V $\pm$ 10%、50/60Hz(ACアダプタ経由 ⁸)
消費電力		約18W 内蔵オプション最大接続時 約60W
温湿度条件		10~35、20~80% ϕ (ただし、結露しないこと)
外形寸法(突起部は含まず)		305(W)×250.5(D)×32.9(H)mm(最上部分は37(H)mm)
重量		約2.19kg(NXノートベिकाバー装着時)

1 液晶ディスプレイは消耗部品です。

液晶ディスプレイでは、明るさのむらや、微細な斑点が現れることがありますが、故障ではありません。

また、輝度の調整具合、表示モードと表示データの組み合わせによってはムラやちらつき、微細な斑点が現れることがありますが、故障ではありません。

2 ウィンドウアクセラレータのディザリング機能により実現。

3 パーチャルスクリン機能で実現。

4 NXノートベに内蔵、または外付けで使用。

5 NXノートベに内蔵して使用。

6 時間は本機のご利用状況やオプションの接続により変わる場合があります。

7 バッテリーパックは消耗品です。

8 ACアダプタ自体は、入力電圧AC240Vまでの安全認定を取得していますが、添付の電源コードはAC125V対応です。

9 18~28、45%~75%での使用を推奨。



割り込みレベル・DMAチャネル

割り込みレベル

IRQ	インターフェイス
0	システムタイマ
1	キーボード
2	割り込みコントローラ
3	(空き) ¹
4	通信ポート
5	オーディオコントローラ ビデオコントローラ CardBusコントローラ
6	フロッピーディスクコントローラ
7	パラレルポート
8	システムクロック
9	USBホストコントローラ
10	(空き)
11	(空き)
12	NXパッド
13	数値データプロセッサ
14	IDEコントローラ(プライマリ)
15	IDEコントローラ(セカンダリ)

1: 赤外線通信を「使用する」に設定すると、IRQを使用します。

DMAチャネル

DMA	インターフェイス
#0	赤外線通信 ^{*1}
#1	サウンド
#2	フロッピーディスクコントローラ

*1: 赤外線通信機能使用時

領域の確保とフォーマット

ハードディスクの領域の確保とフォーマットは、次の手順で行ってください。

領域の確保

- 1 パソコンの電源を入れる
Windows 95が起動します。
- 2 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」にポインタを合わせ、「MS-DOS プロンプト」をクリックする
「C: ¥WINDOWS >」が表示されます。
- 3 キーボードから「FDISK /x」と入力し、【Enter】を押す
「大容量ディスクのサポートを可能にしますか(Y/N)」と表示されます。
- 4 キーボードから「N」を入力し、【Enter】を押す
「FDISK オプション」画面が表示されます。

参照 「Y」を選択すると、FAT32で領域が作成されます。FAT32を利用するには、『困ったときのQ&A』のPART2「付録～FAT32ファイルシステムの利用」をご覧ください。

- 5 キーボードから「1」を入力し、【Enter】を押す
領域を作成する画面が表示されます。
- 6 キーボードから「2」を入力し、【Enter】を押す
「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください 拡張MS-DOS領域を作ります」と表示されます。
- 7 キーボードの【Enter】を押す
「拡張MS-DOS領域を作成しました。」と表示されます。
- 8 キーボードの【Esc】を押す
「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。」と表示されます。

- 9** サイズを入力して、【Enter】を押す
「論理MS-DOSドライブを作成しました。ドライブ名は変更または追加されました」と表示されます。
- 10** 拡張MS-DOS領域がなくなるまで、手順9を繰り返し、すべての拡張MS-DOS領域を論理ドライブに割り当てる
「拡張MS-DOS領域の使用可能な領域はすべて論理ドライブに割り当てられています」と表示されます。
- 11** キーボードの【Esc】を3回押す
「C: ¥WINDOWS >」の表示に戻ります。
- 12** キーボードから「EXIT」と入力し、【Enter】を押す
Windows 95の画面に戻ります。
- 13** 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリックする
「Windows 95の終了」画面が表示されます。
- 14** 「再起動する」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
Windows 95が再起動します。

フォーマット

続いてWindows 95で、ハードディスクをフォーマットします。

 **チェック!!** すでに使用されているドライブをフォーマットすると、その中に保存されていたすべてのデータが消えてしまいます。十分気をつけてください。

- 1** 「マイコンピュータ」をダブルクリックする
- 2** 新たに領域を確保したドライブをクリックする
- 3** 「マイコンピュータ」の「ファイル」メニューから「フォーマット」をクリックする
フォーマットの画面が表示されます。
- 4** 表示されたウィンドウで、「通常のフォーマット」をクリックする

- 5 「スタート」ボタンをクリックする
確認の画面が表示されます。
- 6 表示されたウィンドウで、「OK」ボタンをクリックする
しばらくするとフォーマットが終了し、フォーマットの結果が表示されます。
- 7 「閉じる」ボタンをクリックする
スキャンディスクの実行をうながす画面とヘルプが表示されます。

用語 スキャンディスク

スキャンディスクは、ハードディスクに壊れている部分がないか、問題なく使えるかをチェックするものです。破損している部分が見つかった場合には、自動的にその部分を使わないように設定します。

- 8 「OK」ボタンをクリックする
- 9 「フォーマット」の画面をクリックする
- 10 「閉じる」ボタンをクリックする
- 11 ヘルプの内容に従ってスキャンディスクを実行する
- 12 複数の領域を確保したいときは、手順2～手順11を繰り返す



索引

索引

英字

ACアダプタ 5
BIOSセットアップユーティリティ 94
CD-ROMドライブアクセスランプ 40
CD-ROMドライバ 167
CD-ROMドライブ 40
CDトレイジェクトボタン 40, 43
CRTディスプレイ 70
CyberTrio-NX 144
CyberWarner-NX 148
DCコネクタ 3
DMAチャネル 180
【Fn】(エフエヌキー) 22, 23, 24
IntelliSync97 132
I/Oロック 49, 98
Microsoft Chat 119
Microsoft NetMeeting 124
Microsoft NetShow 120
MS-DOSプロンプト 157
MS-DOSモード 18
NXノートベイ 2, 60, 84
NXノートベイアクセスランプ 21
NXノートベيرانロック 4, 85
NXノートベिकाバー 84
NXノートベイ補助ロック 4, 85
NXパッド 2, 28, 171
Outlook Express 123
PCカード 74
PCカードスロット 3, 61, 74
RAM 79
Real Player 121
USBコネクタ 3, 61, 91
VirusScan 127
Windows NT 4.0 156

あ行

アプリケーション 106

液晶ディスプレイ 2, 44, 171
オーディオ入力端子 3, 61
お手入れ 170
音量調節つまみ 3

か行

解像度 44, 45, 70
外部CRT用コネクタ 3, 61
外部ディスプレイ 70
拡張用コネクタ 3, 36, 61, 88
画面表示機能 44
キーボード 2, 22, 171
キャプスロックキーランプ 21
共有プリンタ 69
クリック 28
クリックボタン 28
固定ディスクドライブ 60, 84
コンピュータウイルス 172

さ行

サウンド 55
サスペンド機能 13, 14
システムディスクの起動順位 103
システムデバイス 100
充電 5
周辺機器 60
省電力 101
省電力機能 13
シリアルコネクタ 3, 90
シリアルポート 90, 98
スーパーディスクドライブ 60, 84
スーパーバイザーパスワード 48, 97
スキャンディスク 38, 183
スクロールロックランプ 21
スタンバイモード 13
スピーカ 2
スリープ 102
セカンドバッテリーパック 60, 84

赤外線通信ポート 2, 53
 赤外線通信機能 52
 セキュリティ機能 48
 セキュリティの設定 96
 専用FDD外付アダプタ 36
 専用FDD外付ケーブル 35
 増設RAM ボード 79

た行

タップ 28
 ダブルクリック 28
 ダブルタップ 28
 通風孔 3
 ツメ 3
 デバイスドライバ 63
 デフラグ 39
 テンキーボード 92
 電源コード 171
 電源スイッチ 2
 電源ランプ 20
 盗難防止用ロック 3
 ドラッグ 29

な行

内蔵マイクロホン 2
 日本語入力 27
 ニューメリックロックキーランプ 21

は行

ハードディスク 38
 ハードディスクアクセスランプ 21
 ハイパネーション機能 13, 16
 パスワード 48, 97
 バッテリーアンロック 4, 10
 バッテリー残量 7
 バッテリー充電ランプ 5, 21
 バッテリスロット 4, 10
 バッテリリフレッシュ 11
 パラレルコネクタ 3, 61, 90

パワーマネージメント 13, 19, 101
 非常時CD-ROM取り出し穴 40, 43
 表示色 44, 46, 70
 表示ランプ 2, 20
 フォーマット 38, 181
 プラグ&プレイ 63
 プリンタ 65
 プリンタケーブル 65
 プレーヤー-NX 142
 プロジェクタ 72
 フロッピーディスクイジェクトボタン 37
 フロッピーディスクドライブ 34, 171
 フロッピーディスクアクセスランプ 37
 ヘッドホン / オーディオ出力端子 .. 3, 61
 ポインティングデバイス 28
 ポインタ 28
 ポートバー 61, 87
 ホットキー機能 24

ま行

マイクロホン端子 3, 61
 マウス / テンキーボード用コネクタ . 3, 61, 92
 メモリ 79
 メモリスロット 4, 60, 80
 モバイルメール 125

や行

ユーザーパスワード 48, 97

ら行

領域の確保 38, 182
 レジューム 13, 14
 ロックレバー 2

わ行

割り込みレベル 180



活用ガイド

PC98-**NX** SERIES

VersaPro NX

LaVie NX

VA23D/TX・LT23/34A

2版 1998年7月

NEC

P



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙を使用しています。